

令和 4 年度 安乗保育所改修工事

(A 2 — A 3 71% 縮小版)

西 沢 建 築 設 計 事 務 所

図 面 リ ス ト							
A－00	図面表紙						
A－01	図面リスト 工事概要	A－26	保育室（E） 展開図	E－01	特記仕様書（電気：改修）	M－01	特記仕様書（機械：改修）（1）
A－02	特記仕様書（共通：仮設）（1）	A－27	乳児室 平面詳細図	E－02	照明器具姿図	M－02	特記仕様書（機械：改修）（2）
A－03	特記仕様書（建築：改修）（2）	A－28	乳児室 展開図	E－03	電灯設備・動力設備改修後 平面図	M－03	凡例 器具表
A－04	特記仕様書（建築：改修）（3）	A－29	給食室・踏込（B） 平面詳細図 展開図	E－04	電灯設備・動力設備改修前 平面図	M－04	衛生平面図 現況
A－05	特記仕様書（建築：改修）（4）	A－30	玄関ホール 平面詳細図	E－05	火災報知設備改修後 平面図	M－05	衛生平面図 改修後
A－06	特記仕様書（建築：改修）（5）	A－31	玄関ホール 展開図			M－06	給排水衛生平面詳細図 現況・改修後
A－07	特記仕様書（建築：改修）（6）	A－32	通路（1）（2）展開図			M－07	空調平面図現況
A－08	床面積 建築面積 求積図	A－33	建具指示図			M－08	空調平面図改修後
A－09	配置図 付近見取図 面積表	A－34	建具表（1）				
A－10	外部改修仕上表	A－35	建具表（2）			A－43	仮設計画図（1）配置図 参考図
A－11	内部改修仕上表	A－36	建具表（3）			A－44	仮設計画図（2）平面図 参考図
A－12	平面図（改修前）	A－37	建具表（4）			A－45	仮設計画図（3）立面図（1） 参考図
A－13	平面図（改修図）	A－38	屋根防水改修工事（1）屋根平面図			A－46	仮設計画図（4）立面図（2） 参考図
A－14	屋根平面図	A－39	屋根防水改修工事（2）断面図（1）			A－47	仮設計画図（5）立面図（3） 参考図
A－15	立面図	A－40	屋根防水改修工事（3）断面図（2）			A－48	仮設計画図（6）遊戯室及び玄関 壁塗装用足場 参考図
A－16	外壁改修工事（1）	A－41	屋根防水改修工事（4）断面図詳細図			K－01	概略工事工程表
A－17	外壁改修工事（2）	A－42	屋外付帯工事 駐車場側アコーデオン扉及びプール門扉改修工事				
A－18	断面図（1）					N－00	図面裏表紙
A－19	断面図（2）						
A－20	断面図（3）						
A－21	断面図（4）						
A－22	天井伏図						
A－23	遊戯室 平面詳細図						
A－24	遊戯室 展開図						
A－25	保育室（D）（E） 平面詳細図						

工事概要					
1. 工事場所	三重県志摩市阿児町安乗 629番地1	A 園舎改修建築工事	B 屋外付帯工事	C 電気設備改修工事	E 解体撤去工事
2. 改修建物用途	安乗保育所	A1 直接仮設工事		C1 電灯設備工事	
3. 改修建物規模	（園舎） 鉄筋コンクリート造平屋建 延床面積 876.08㎡	A2 屋根防水改修工事		C2 動力設備工事	
		A3 外壁改修工事		C3 火災報知設備工事	F 発生材運搬費
4. 改修内容		A4 樋改修工事			
A 園舎改修建築工事		A5 遊戯室改修工事			
B 屋外付帯工事		A6 保育室（E）改修工事		D 機械設備改修工事	G 発生材処分費
C 電気設備改修工事		A7 乳児室改修工事		D1 空調設備工事	
D 機械設備改修工事		A8 給食室改修工事		D2 換気設備工事	
E 解体撤去工事		A9 踏込（B）改修工事		D3 給水設備工事	
F 発生材運搬		A10 玄関ホール改修工事		D4 排水設備工事	
G 発生材処分		A11 新規鋼製建具及び既設建具改修工事			
		A12 木製建具改修工事			
		A13 飛散防止ガラスフィルム貼り工事			

【特記事項】	西 沢 建 築 設 計 事 務 所 一 級 建 築 士 No. 117422 西 沢 雅 彦		令和４年度 安乗保育所改修工事	図面リスト 工事概要	N/S	A－01

特記仕様書： 共通事項・仮設工事

1. 共通仕様
(1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、三重県公共工事共通仕様書及び「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(平成31年版)」による。(以下「標準仕様書」という。)による。
(2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。
(3) 改修工事を本工事に含む場合は、改修工事は改修工事の工事仕様書を適用する。
(4) 受注者は建築基準法第7条の定めによる完了検査(同法第7条の3の定めによる中間検査を含む)時には、特定行政庁(建築主事等)が求める検査に必要な資料(報告書等)を用意すること。

2. 特記仕様
(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
(2) 特記事項の中で選択する事項(○印の付いたもの)は、○印の付いたものを適用する。
(3) 特記事項に記載の[]内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
(4) 受注者は、南海トラフ地震防災対策推進地域における工事にあつては、南海トラフ地震に関連する情報(臨時)が気象庁から出された場合には、工事中断の措置をとるものとし、これに伴う必要な補強・落下防止等の保全処置を講じなければならない。
上記事実が発生した場合は、契約書第26条(臨機の措置)の規定による。
(5) 標準仕様書で「特記がなければ、」以降に具体的な材料・品質性能・工法・検査方法等を明示している場合において、それらが関係法令の改正等により(条例を含む)に抵触する場合には、関係法令等の遵守[1.1.13]の規定を優先する。

章 項目

特記事項

① 共通事項

① 適用基準等
建築工事標準詳細図 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修(平成28年版)各図面において、(○-○○-○)内の数字は適用する上記詳細番号を示す。
工事写真の撮り方(改訂第二版) 建築編 建設大臣官房官庁営繕部監修
・建築物解体工事共通仕様書同解説
国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(平成31年版)
・三重県建設副産物処理基準
[1.1.4]
請負代金額が500万円以上(消費税込み)の元請負人は、工事実績情報を(財)日本建設情報総合センターの工事実績情報システム(CORINS)に登録するものとする。
なお、登録内容を訂正する必要がある場合は、標準仕様書に記載された登録の手順に準じて訂正するものとする。
また、変更契約日と工事完了日の間が、10日に満たない場合は、変更契約時の登録を省略することができるものとする。
[1.2.1]
3 概成工期
総合試運転調整を行う上で、関連工事を含めた各工事が工期のおおむね()日前までに支障のない状態まで完了していること。
[1.3.3]
4 電気保安技術者
・適用する
[1.3.5]
5 施工条件
・施工時間 (・指定なし ○ 監督職員と協議)
・施工順序 (・指定なし ○ 図示)
・工事用車両の駐車場 (・指定なし ○ 図示)
・資機材置場 (・指定なし ○ 図示)
・現場事務所 (・指定なし ○ 図示)
・建設発生土仮置場 (・指定なし ・図示 ・ 現場内処分とする)
[1.3.11]
6 発生材の処理等
・引渡しを要するもの(・金属類 ・ PCB含有物 ・)
・特別管理産業廃棄物(・廃石棉 ・)
・現場において再利用を図るもの()
・引渡しを要するもの、再資源化を図るものについては調書を作成して監督職員へ提出すること。
○引き渡しに要する以外のものには、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、資材の有効な利用を促進する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令によるほか、「建設副産物適正処理推進要綱」に従い適切に処理し監督職員に報告する。
(マフラーA、B2、D、E票を提示し、集計表を提出すること。)

⑦ 環境への配慮

[1.4.1]
化学物質を放散させる建築材料等
本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の1)から5)を満たすものとする。
1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板及び仕上塗材は、ホルムアルデヒドを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。
2) 保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。
3) 接着剤はフタル酸ジブチル及びフタル酸ジエチルヘキシルを含有しない難燃発性の可塑性剤を使用し、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。
4) 塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。
5) 1)、3)及び4)の建築材料を使用して作られた家具、書架、実験台その他の什器等は、ホルムアルデヒドを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。
また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒド放散量は、次のとおりとする。
ホルムアルデヒド放散量 該当する材料
規制対象外 ①JIS及びJASのF☆☆☆☆品
②建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通省大臣認定品
③次の表示のあるJAS適合品
a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用
b. 接着剤等不使用
c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを発生しない材料使用
d. ホルムアルデヒドを発生しない塗料等使用
e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを発生しない塗料使用
f. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを発生しない塗料
第三種 ①JIS及びJASのF☆☆☆☆品
②建築基準法施行令第20条の7第3項による国土交通省大臣認定品
③旧JISのE0品
④旧JISのF0品

⑧ 材料の品質等

[1.4.2]
1) 本工事に使用する材料等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。
2) 備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品または同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承諾を受ける。

章 項目

特記事項

① 共通事項

3) 標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。
4) 本工事に使用する材料は、次の①～⑥の事項を満たすものとし、この証明となる資料(外部機関が発行する証明書等の写し等)を監督職員に提出し承諾を受ける。ただし、あらかじめ監督職員に承諾を受けた場合はこの限りでない。
①品質及び性能に関する試験データを整備していること。
②生産施設及び品質の監理を適切に行っていること。
③安定的な供給が可能であること。
④法令等で定める許可、認可、認定又は免許を所得していること。
⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。
⑥販売、保守等の営業体制を整えていること。
5) 製造業者等に関する資料等の提出を求める材料
・有 ○ 無
・ ()
・ ()
・ ()
・ ()
6) 製材等、フローリング又は再生木質ボードを仕様する場合は、三重県「環境物品等の調達方針」に従い、あらかじめ「木材・木材製品の合法性、持続性可能性の証明のためのガイドライン」に準拠した証明書を、監督職員に提出すること。
7) 本工事に使用する木材は、品質が求められる水準以上であれば、「志摩市公共建築物等木材利用方針」に基づく木材を最優先し、「三重の木」利用推進協議会が認証する「三重の木」やあかね材認証機構が認証する「あかね材」の優先利用にとつめること。

9 建設発生土の処理

・構外搬出適切処理
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
・

【特記事項】	西 沢 建 築 設 計 事 務 所 一 級 建 築 士 No. 117422 西 沢 雅 彦		令和 4 年度 安乗保育所改修工事	特記仕様書（１）		A — 02
				共通事項・仮設工事	N/S	

Ⅱ 建築改修工事仕様		① ⑤ 施工調査		① ⑩ 建設発生土の処理方法		3 防水改修工事		1 施工数量調査			
1. 共通仕様 (1) 図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官庁官庁営繕部制定の「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）平成31年版（平成31年制定）」（以下、「改修標準仕様書」という。）による。図面、本特記仕様書及び改修標準仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官庁官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）平成31年版（平成31年制定）」（以下「標準仕様書」という。）による。 (2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの工事特記仕様書を適用する。 (3) 本特記仕様書の表記 1) 項目は、番号に○の印の付いたものを適用する。 2) 特記事項に記載の〔 〕内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。 3) 特記事項に記載の（ ）内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。 4) 受注者は、南海トラフ地震防災対策推進地域における工事にあつては、南海トラフ地震に関連する情報（臨時）が気象庁から出された場合には、工事中断の措置をとるものとし、これに伴う必要な補強・落下防止等の保全処置を講じなければならない。 上記事実が発生した場合は、契約書第26条（臨時の措置）の規定による。		6 PCB含有シーリング材の調査		⑪ 完成写真		2 降雨等に対する養生方法（とい共）		2 既存防水の処理			
⑦ 化学物質の濃度判定		8 発生材の処理等		⑫ 既存部分の養生		4 仮設間仕切		4 既存下地の処理			
⑧ 測定対象室及び測定箇所数は次による。 測定対象室（ ） 測定箇所数（ ） ○A-02図による		⑨ 特定建設資材の処理		5 工事について		5 アスファルト防水		既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 ・行う（ ・M4AS ・M4AS1 ・M4C ・M4D1 ・L4X ） ・行わない			
⑨ 環境への配慮		5 材料の品質等		⑫ 既存部分の養生		5 アスファルト防水		既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 ・行う（ ・M4AS ・M4AS1 ・M4C ・M4D1 ・L4X ） ・行わない			
① ⑤ 適用基準		① ⑤ 図面、本特記仕様書、標準仕様書及び改修標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。 ・建築物解体工事共通仕様書（平成31年版）国土交通省大臣官庁官庁営繕部		② ⑤ 足場等		5 アスファルト防水		既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 ・行う（ ・M4AS ・M4AS1 ・M4C ・M4D1 ・L4X ） ・行わない			
2 適用区分		・建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 ・風圧力 風速（Vo＝ m/s） 地表面粗度区分（ ） ・積雪荷重 平成12年5月31日建設省告示第1455号における区域 別表（ ）		③ ⑤ 既存部分の養生		5 アスファルト防水		既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 ・行う（ ・M4AS ・M4AS1 ・M4C ・M4D1 ・L4X ） ・行わない			
③ 環境への配慮		① 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の i）から iv）を満たすものとする。 i）合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MD F、パーティクルボード、その他の木質建材、ウリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒド」「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ii）接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 iii）接着剤は、可塑性（フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等）を含有しない難燃発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。 iv）i）の材料を使用した作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。 ② 設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の i）又は ii）に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の iii）又は iv）に該当する材料を指す。 i）建築基準法施行令第20 条の7 第1 項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料 ii）建築基準法施行令第20 条の7 第4 項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 iii）建築基準法施行令第20 条の7 第1 項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料 iv）建築基準法施行令第20 条の7 第3 項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料		② ⑤ 本設計図書における「標準詳細図」とは、次の基準を指す。 建築工事標準詳細図（平成28年版）国土交通省大臣官庁官庁営繕部整備課		③ ⑤ 既存部分の養生		5 アスファルト防水		既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 ・行う（ ・M4AS ・M4AS1 ・M4C ・M4D1 ・L4X ） ・行わない	
⑤ 材料の品質等		① 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 ② 備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承諾を受ける。 ③ 標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。 ④ 本工事に使用する材料のうち、5) に指定する材料の製造業者等は、次の i) から vi) の事項を満たすものとし、その証明となる資料（外部機関が発行する証明書の写し等）を監督職員に提出しての承諾を受ける。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。 i) 品質及び性能に関する試験データを整備していること。 ii) 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。 iii) 安定的な供給が可能であること。 iv) 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 v) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 vi) 販売、保守等の営業体制を整えていること。 5) 製造業者等に関する資料等の提出を求める材料		① ⑤ 図面、本特記仕様書、標準仕様書及び改修標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。 ・建築物解体工事共通仕様書（平成31年版）国土交通省大臣官庁官庁営繕部		② ⑤ 足場等		5 アスファルト防水		既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 ・行う（ ・M4AS ・M4AS1 ・M4C ・M4D1 ・L4X ） ・行わない	
⑤ 材料の品質等		① ⑤ 図面、本特記仕様書、標準仕様書及び改修標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。 ・建築物解体工事共通仕様書（平成31年版）国土交通省大臣官庁官庁営繕部		② ⑤ 足場等		5 アスファルト防水		既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 ・行う（ ・M4AS ・M4AS1 ・M4C ・M4D1 ・L4X ） ・行わない			
⑤ 材料の品質等		① ⑤ 図面、本特記仕様書、標準仕様書及び改修標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。 ・建築物解体工事共通仕様書（平成31年版）国土交通省大臣官庁官庁営繕部		② ⑤ 足場等		5 アスファルト防水		既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 ・行う（ ・M4AS ・M4AS1 ・M4C ・M4D1 ・L4X ） ・行わない			
⑤ 材料の品質等		① ⑤ 図面、本特記仕様書、標準仕様書及び改修標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。 ・建築物解体工事共通仕様書（平成31年版）国土交通省大臣官庁官庁営繕部		② ⑤ 足場等		5 アスファルト防水		既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 ・行う（ ・M4AS ・M4AS1 ・M4C ・M4D1 ・L4X ） ・行わない			
⑤ 材料の品質等		① ⑤ 図面、本特記仕様書、標準仕様書及び改修標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。 ・建築物解体工事共通仕様書（平成31年版）国土交通省大臣官庁官庁営繕部		② ⑤ 足場等		5 アスファルト防水		既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 ・行う（ ・M4AS ・M4AS1 ・M4C ・M4D1 ・L4X ） ・行わない			
⑤ 材料の品質等		① ⑤ 図面、本特記仕様書、標準仕様書及び改修標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。 ・建築物解体工事共通仕様書（平成31年版）国土交通省大臣官庁官庁営繕部		② ⑤ 足場等		5 アスファルト防水		既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 ・行う（ ・M4AS ・M4AS1 ・M4C ・M4D1 ・L4X ） ・行わない			
⑤ 材料の品質等		① ⑤ 図面、本特記仕様書、標準仕様書及び改修標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。 ・建築物解体工事共通仕様書（平成31年版）国土交通省大臣官庁官庁営繕部		② ⑤ 足場等		5 アスファルト防水		既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 ・行う（ ・M4AS ・M4AS1 ・M4C ・M4D1 ・L4X ） ・行わない			
⑤ 材料の品質等		① ⑤ 図面、本特記仕様書、標準仕様書及び改修標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。 ・建築物解体工事共通仕様書（平成31年版）国土交通省大臣官庁官庁営繕部		② ⑤ 足場等		5 アスファルト防水		既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 ・行う（ ・M4AS ・M4AS1 ・M4C ・M4D1 ・L4X ） ・行わない			
⑤ 材料の品質等		① ⑤ 図面、本特記仕様書、標準仕様書及び改修標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。 ・建築物解体工事共通仕様書（平成31年版）国土交通省大臣官庁官庁営繕部		② ⑤ 足場等		5 アスファルト防水		既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 ・行う（ ・M4AS ・M4AS1 ・M4C ・M4D1 ・L4X ） ・行わない			
⑤ 材料の品質等		① ⑤ 図面、本特記仕様書、標準仕様書及び改修標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。 ・建築物解体工事共通仕様書（平成31年版）国土交通省大臣官庁官庁営繕部		② ⑤ 足場等		5 アスファルト防水		既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 ・行う（ ・M4AS ・M4AS1 ・M4C ・M4D1 ・L4X ） ・行わない			
⑤ 材料の品質等		① ⑤ 図面、本特記仕様書、標準仕様書及び改修標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。 ・建築物解体工事共通仕様書（平成31年版）国土交通省大臣官庁官庁営繕部		② ⑤ 足場等		5 アスファルト防水		既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 ・行う（ ・M4AS ・M4AS1 ・M4C ・M4D1 ・L4X ） ・行わない			
⑤ 材料の品質等		① ⑤ 図面、本特記仕様書、標準仕様書及び改修標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。 ・建築物解体工事共通仕様書（平成31年版）国土交通省大臣官庁官庁営繕部		② ⑤ 足場等		5 アスファルト防水		既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 ・行う（ ・M4AS ・M4AS1 ・M4C ・M4D1 ・L4X ） ・行わない			
⑤ 材料の品質等		① ⑤ 図面、本特記仕様書、標準仕様書及び改修標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。 ・建築物解体工事共通仕様書（平成31年版）国土交通省大臣官庁官庁営繕部		② ⑤ 足場等		5 アスファルト防水		既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 ・行う（ ・M4AS ・M4AS1 ・M4C ・M4D1 ・L4X ） ・行わない			
⑤ 材料の品質等		① ⑤ 図面、本特記仕様書、標準仕様書及び改修標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。 ・建築物解体工事共通仕様書（平成31年版）国土交通省大臣官庁官庁営繕部		② ⑤ 足場等		5 アスファルト防水		既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 ・行う（ ・M4AS ・M4AS1 ・M4C ・M4D1 ・L4X ） ・行わない			
⑤ 材料の品質等		① ⑤ 図面、本特記仕様書、標準仕様書及び改修標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。 ・建築物解体工事共通仕様書（平成31年版）国土交通省大臣官庁官庁営繕部		② ⑤ 足場等		5 アスファルト防水		既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 ・行う（ ・M4AS ・M4AS1 ・M4C ・M4D1 ・L4X ） ・行わない			
⑤ 材料の品質等		① ⑤ 図面、本特記仕様書、標準仕様書及び改修標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。 ・建築物解体工事共通仕様書（平成31年版）国土交通省大臣官庁官庁営繕部		② ⑤ 足場等		5 アスファルト防水		既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 ・行う（ ・M4AS ・M4AS1 ・M4C ・M4D1 ・L4X ） ・行わない			
⑤ 材料の品質等		① ⑤ 図面、本特記仕様書、標準仕様書及び改修標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。 ・建築物解体工事共通仕様書（平成31年版）国土交通省大臣官庁官庁営繕部		② ⑤ 足場等		5 アスファルト防水		既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 ・行う（ ・M4AS ・M4AS1 ・M4C ・M4D1 ・L4X ） ・行わない			
⑤ 材料の品質等		① ⑤ 図面、本特記仕様書、標準仕様書及び改修標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。 ・建築物解体工事共通仕様書（平成31年版）国土交通省大臣官庁官庁営繕部		② ⑤ 足場等		5 アスファルト防水		既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 ・行う（ ・M4AS ・M4AS1 ・M4C ・M4D1 ・L4X ） ・行わない			
⑤ 材料の品質等		① ⑤ 図面、本特記仕様書、標準仕様書及び改修標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。 ・建築物解体工事共通仕様書（平成31年版）国土交通省大臣官庁官庁営繕部		② ⑤ 足場等		5 アスファルト防水		既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 ・行う（ ・M4AS ・M4AS1 ・M4C ・M4D1 ・L4X ） ・行わない			
⑤ 材料の品質等		① ⑤ 図面、本特記仕様書、標準仕様書及び改修標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。 ・建築物解体工事共通仕様書（平成31年版）国土交通省大臣官庁官庁営繕部		② ⑤ 足場等		5 アスファルト防水		既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 ・行う（ ・M4AS ・M4AS1 ・M4C ・M4D1 ・L4X ） ・行わない			
⑤ 材料の品質等		① ⑤ 図面、本特記仕様書、標準仕様書及び改修標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。 ・建築物解体工事共通仕様書（平成31年版）国土交通省大臣官庁官庁営繕部		② ⑤ 足場等		5 アスファルト防水		既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 ・行う（ ・M4AS ・M4AS1 ・M4C ・M4D1 ・L4X ） ・行わない			
⑤ 材料の品質等		① ⑤ 図面、本特記仕様書、標準仕様書及び改修標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。 ・建築物解体工事共通仕様書（平成31年版）国土交通省大臣官庁官庁営繕部		② ⑤ 足場等		5 アスファルト防水		既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 ・行う（ ・M4AS ・M4AS1 ・M4C ・M4D1 ・L4X ） ・行わない			
⑤ 材料の品質等		① ⑤ 図面、本特記仕様書、標準仕様書及び改修標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。 ・建築物解体工事共通仕様書（平成31年版）国土交通省大臣官庁官庁営繕部		② ⑤ 足場等		5 アスファルト防水		既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 ・行う（ ・M4AS ・M4AS1 ・M4C ・M4D1 ・L4X ） ・行わない			
⑤ 材料の品質等		① ⑤ 図面、本特記仕様書、標準仕様書及び改修標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。 ・建築物解体工事共通仕様書（平成31年版）国土交通省大臣官庁官庁営繕部		② ⑤ 足場等		5 アスファルト防水		既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 ・行う（ ・M4AS ・M4AS1 ・M4C ・M4D1 ・L4X ） ・行わない			
⑤ 材料の品質等		① ⑤ 図面、本特記仕様書、標準仕様書及び改修標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。 ・建築物解体工事共通仕様書（平成31年版）国土交通省大臣官庁官庁営繕部		② ⑤ 足場等		5 アスファルト防水		既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 ・行う（ ・M4AS ・M4AS1 ・M4C ・M4D1 ・L4X ） ・行わない			
⑤ 材料の品質等		① ⑤ 図面、本特記仕様書、標準仕様書及び改修標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。 ・建築物解体工事共通仕様書（平成31年版）国土交通省大臣官庁官庁営繕部		② ⑤ 足場等		5 アスファルト防水		既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 ・行う（ ・M4AS ・M4AS1 ・M4C ・M4D1 ・L4X ） ・行わない			
⑤ 材料の品質等		① ⑤ 図面、本特記仕様書、標準仕様書及び改修標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。 ・建築物解体工事共通仕様書（平成31年版）国土交通省大臣官庁官庁営繕部		② ⑤ 足場等		5 アスファルト防水		既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 ・行う（ ・M4AS ・M4AS1 ・M4C ・M4D1 ・L4X ） ・行わない			
⑤ 材料の品質等		① ⑤ 図面、本特記仕様書、標準仕様書及び改修標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。 ・建築物解体工事共通仕様書（平成31年版）国土交通省大臣官庁官庁営繕部		② ⑤ 足場等		5 アスファルト防水		既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 ・行う（ ・M4AS ・M4AS1 ・M4C ・M4D1 ・L4X ） ・行わない			
⑤ 材料の品質等		① ⑤ 図面、本特記仕様書、標準仕様書及び改修標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。 ・建築物解体工事共通仕様書（平成31年版）国土交通省大臣官庁官庁営繕部		② ⑤ 足場等		5 アスファルト防水		既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 ・行う（ ・M4AS ・M4AS1 ・M4C ・M4D1 ・L4X ） ・行わない			
⑤ 材料の品質等		① ⑤ 図面、本特記仕様書、標準仕様書及び改修標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。 ・建築物解体工事共通仕様書（平成31年版）国土交通省大臣官庁官庁営繕部		② ⑤ 足場等		5 アスファルト防水		既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 ・行う（ ・M4AS ・M4AS1 ・M4C ・M4D1 ・L4X ） ・行わない			
⑤ 材料の品質等		① ⑤ 図面、本特記仕様書、標準仕様書及び改修標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。 ・建築物解体工事共通仕様書（平成31年版）国土交通省大臣官庁官庁営繕部		② ⑤ 足場等		5 アスファルト防水		既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 ・行う（ ・M4AS ・M4AS1 ・M4C ・M4D1 ・L4X ） ・行わない			
⑤ 材料の品質等		① ⑤ 図面、本特記仕様書、標準仕様書及び改修標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。 ・建築物解体工事共通仕様書（平成31年版）国土交通省大臣官庁官庁営繕部		② ⑤ 足場等		5 アスファルト防水		既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 ・行う（ ・M4AS ・M4AS1 ・M4C ・M4D1 ・L4X ） ・行わない			
⑤ 材料の品質等		① ⑤ 図面、本特記仕様書、標準仕様書及び改修標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。 ・建築物解体工事共通仕様書（平成31年版）国土交通省大臣官庁官庁営繕部		② ⑤ 足場等		5 アスファルト防水		既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 ・行う（ ・M4AS ・M4AS1 ・M4C ・M4D1 ・L4X ） ・行わない			
⑤ 材料の品質等		① ⑤ 図面、本特記仕様書、標準仕様書及び改修標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。 ・建築物解体工事共通仕様書（平成31年版）国土交通省大臣官庁官庁営繕部		② ⑤ 足場等		5 アスファルト防水		既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 ・行う（ ・M4AS ・M4AS1 ・M4C ・M4D1 ・L4X ） ・行わない			
⑤ 材料の品質等		① ⑤ 図面、本特記仕様書、標準仕様書及び改修標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。 ・建築物解体工事共通仕様書（平成31年版）国土交通省大臣官庁官庁営繕部		② ⑤ 足場等		5 アスファルト防水		既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 ・行う（ ・M4AS ・M4AS1 ・M4C ・M4D1 ・L4X ） ・行わない			
⑤ 材料の品質等		① ⑤ 図面、本特記仕様書、標準仕様書及び改修標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。 ・建築物解体工事共通仕様書（平成31年版）国土交通省大臣官庁官庁営繕部		② ⑤ 足場等		5 アスファルト防水		既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 ・行う（ ・M4AS ・M4AS1 ・M4C ・M4D1 ・L4X ） ・行わない			
⑤ 材料の品質等		① ⑤ 図面、本特記仕様書、標準仕様書及び改修標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。 ・建築物解体工事共通仕様書（平成31年版）国土交通省大臣官庁官庁営繕部		② ⑤ 足場等		5 アスファルト防水		既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 ・行う（ ・M4AS ・M4AS1 ・M4C ・M4D1 ・L4X ） ・行わない			
⑤ 材料の品質等		① ⑤ 図面、本特記仕様書、標準仕様書及び改修標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。 ・建築物解体工事共通仕様書（平成31年版）国土交通省大臣官庁官庁営繕部		② ⑤ 足場等		5 アスファルト防水		既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 ・行う（ ・M4AS ・M4AS1 ・M4C ・M4D1 ・L4X ） ・行わない			
⑤ 材料の品質等		① ⑤ 図面、本特記仕様書、標準仕様書及び改修標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。 ・建築物解体工事共通仕様書（平成31年版）国土交通省大臣官庁官庁営繕部		② ⑤ 足場等		5 アスファルト防水		既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 ・行う（ ・M4AS ・M4AS1 ・M4C ・M4D1 ・L4X ） ・行わない			
⑤ 材料の品質等		① ⑤ 図面、本特記仕様書、標準仕様書及び改修標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。 ・建築物解体工事共通仕様書（平成31年版）国土交通省大臣官庁官庁営繕部		② ⑤ 足場等		5 アスファルト防水		既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 ・行う（ ・M4AS ・M4AS1 ・M4C ・M4D1 ・L4X ） ・行わない			
⑤ 材料の品質等		① ⑤ 図面、本特記仕様書、標準仕様書及び改修標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。 ・建築物解体工事共通仕様書（平成31年版）国土交通省大臣官庁官庁営繕部		② ⑤ 足場等		5 アスファルト防水		既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 ・行う（ ・M4AS ・M4AS1 ・M4C ・M4D1 ・L4X ） ・行わない			
⑤ 材料の品質等		① ⑤ 図面、本特記仕様書、標準仕様書及び改修標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。 ・建築物解体工事共通仕様書（平成31年版）国土交通省大臣官庁官庁営繕部		② ⑤ 足場等		5 アスファルト防水		既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 ・行う（ ・M4AS ・M4AS1 ・M4C ・M4D1 ・L4X ） ・行わない			
⑤ 材料の品質等		① ⑤ 図面、本特記仕様書、標準仕様書及び改修標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。 ・建築物解体工事共通仕様書（平成31年版）国土交通省大臣官庁官庁営繕部		② ⑤ 足場等		5 アスファルト防水		既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 ・行う（ ・M4AS ・M4AS1 ・M4C ・M4D1 ・L4X ） ・行わない			
⑤ 材料の品質等		① ⑤ 図面、本特記仕様書、標準仕様書及び改修標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。 ・建築物解体工事共通仕様書（平成31年版）国土交通省大臣官庁官庁営繕部		② ⑤ 足場等		5 アスファルト防水		既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 ・行う（ ・M4AS ・M4AS1 ・M4C ・M4D1 ・L4X ） ・行わない			
⑤ 材料の品質等		① ⑤ 図面、本特記仕様書、標準仕様書及び改修標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。 ・建築物解体工事共通仕様書（平成31年版）国土交通省大臣官庁官庁営繕部		② ⑤ 足場等		5 アスファルト防水		既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 ・行う（ ・M4AS ・M4AS1 ・M4C ・M4D1 ・L4X ） ・行わない			
⑤ 材料の品質等		① ⑤ 図面、本特記仕様書、標準仕様書及び改修標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。 ・建築物解体工事共通仕様書（平成31年版）国土交通省大臣官庁官庁営繕部		② ⑤ 足場等		5 アスファルト防水		既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 ・行う（ ・M4AS ・M4AS1 ・M4C ・M4D1 ・L4X ） ・行わない			
⑤ 材料の品質等		① ⑤ 図面、本特記仕様書、標準仕様書及び改修標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。 ・建築物解体工事共通仕様書（平成31年版）国土交通省大臣官庁官庁営繕部		② ⑤ 足場等		5 アスファルト防水		既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 ・行う（ ・M4AS ・M4AS1 ・M4C ・M4D1 ・L4X ） ・行わない			
⑤ 材料の品質等		① ⑤ 図面、本特記仕様書、標準仕様書及び改修標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。 ・建築物解体工事共通仕様書（平成31年版）国土交通省大臣官庁官庁営繕部		② ⑤ 足場等		5 アスファルト防水		既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 ・行う（ ・M4AS ・M4AS1 ・M4C ・M4D1 ・L4X ） ・行わない			
⑤ 材料の品質等		① ⑤ 図面、本特記仕様書、標準仕様書及び改修標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。 ・建築物解体工事共通仕様書（平成31年版）国土交通省大臣官庁官庁営繕部		② ⑤ 足場等		5 アスファルト防水		既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 ・行う（ ・M4AS ・M4AS1 ・M4C ・M4D1 ・L4X ） ・行わない			
⑤ 材料の品質等		① ⑤ 図面、本特記仕様書、標準仕様書及び改修標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。 ・建築物解体工事共通仕様書（平成31年版）国土交通省大臣官庁官庁営繕部		② ⑤ 足場等		5 アスファルト防水		既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 ・行う（ ・M4AS ・M4AS1 ・M4C ・M4D1 ・L4X ） ・行わない			
⑤ 材料の品質等		① ⑤ 図面、本特記仕様書、標準仕様書及び改修標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。 ・建築物解体工事共通仕様書（平成31年版）国土交通省大臣官庁官庁営繕部		② ⑤ 足場等		5 アスファルト防水		既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 ・行う（ ・M4AS ・M4AS1 ・M4C ・M4D1 ・L4X ） ・行わない			
⑤ 材料の品質等		① ⑤ 図面、本特記仕様書、標準仕様書及び改修標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。 ・建築物解体工事共通仕様書（平成31年版）国土交通省大臣官庁官庁営繕部		② ⑤ 足場等		5 アスファルト防水		既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 ・行う（ ・M4AS ・M4AS1 ・M4C ・M4D1 ・L4X ） ・行わない			
⑤ 材料の品質等		① ⑤ 図面、本特記仕様書、標準仕様書及び改修標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。 ・建築物解体工事共通仕様書（平成31年版）国土交通省大臣官庁官庁営繕部		② ⑤ 足場等		5 アスファルト防水		既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 ・行う（ ・M4AS ・M4AS1 ・M4C ・M4D1 ・L4X ） ・行わない			
⑤ 材料の品質等		① ⑤ 図面、本特記仕様書、標準仕様書及び改修標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。 ・建築物解体工事共通仕様書（平成31年版）国土交通省大臣官庁官庁営繕部		② ⑤ 足場等		5 アスファルト防水		既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 ・行う（ ・M4AS ・M4AS1 ・M4C ・M4D1 ・L4X ） ・行わない			
⑤ 材料の品質等		① ⑤ 図面、本特記仕様書、標準仕様書及び改修標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。 ・建築物解体工事共通仕様書（平成31年版）国土交通省大臣官庁官庁営繕部		② ⑤ 足場等		5 アスファルト防水		既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 ・行う（ ・M4AS ・M4AS1 ・M4C ・M4D1 ・L4X ） ・行わない			
⑤ 材料の品質等		① ⑤ 図面、本特記仕様書、標準仕様書及び改修標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。 ・建築物解体工事共通仕様書（平成31年版）国土交通省大臣官庁官庁営繕部		② ⑤ 足場等		5 アスファルト防水		既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 ・行う（ ・M4AS ・M4AS1 ・M4C ・M4D1 ・L4X ） ・行わない			
⑤ 材料の品質等		① ⑤ 図面、本特記仕様書、標準仕様書及び改修標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。 ・建築物解体工事共通仕様書（平成31年版）国土交通省大臣官庁官庁営繕部		② ⑤ 足場等		5 アスファルト防水		既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 ・行う（ ・M4AS ・M4AS1 ・M4C ・M4D1 ・L4X ） ・行わない			
⑤ 材料の品質等		① ⑤ 図面、本特記仕様書、標準仕様書及び改修標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。 ・建築物解体工事共通仕様書（平成31年版）国土交通省大臣官庁官庁営繕部		② ⑤ 足場等		5 アスファルト防水		既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 ・行う（ ・M4AS ・M4AS1 ・M4C ・M4D1 ・L4X ） ・行わない			
⑤ 材料の品質等		① ⑤ 図面、本特記仕様書、標準仕様書及び改修標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。 ・建築物解体工事共通仕様書（平成31年版）国土交通省大臣官庁官庁営繕部		② ⑤ 足場等		5 アスファルト防水		既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 ・行う（ ・M4AS ・M4AS1 ・M4C ・M4D1 ・L4X ） ・行わない			
⑤ 材料の品質等		① ⑤ 図面、本特記仕様書、標準仕様書及び改修標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。 ・建築物解体工事共通仕様書（平成31年版）国土交通省大臣官庁官庁営繕部		② ⑤ 足場等		5 アスファルト防水		既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 ・行う（ ・M4AS ・M4AS1 ・M4C ・M4D1 ・L4X ） ・行わない			
⑤ 材料の品質等		① ⑤ 図面、本特記仕様書、標準仕様書及び改修標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。<									

【特記事項】	西 沢 建 築 設 計 事 務 所 一 級 建 築 士 No. 117422 西 沢 雅 彦	令和 4 年度 安 乗 保 育 所 改 修 工 事			A — 04
			特記仕様書(建築:改修)(3)	N/S	

[illegible]

【特記事項】	西 沢 建 築 設 計 事 務 所 一 級 建 築 士 No. 117422 西 沢 雅 彦	令和 4 年度 安乗保育所改修工事			A — 05
			特記仕様書(建築：改修) (4)	N/S	

【特記事項】	西 沢 建 築 設 計 事 務 所 一 級 建 築 士 No. 117422 西 沢 雅 彦	令和 4 年度 安乗保育所改修工事			A — 06
			特記仕様書(建築：改修) (5)	N/S	

⑤

⑬

ガラス

フロート板ガラス
品種及び厚さの呼びによる種類
○建具表による

型板ガラス
厚さによる種類
○建具表による

網入板ガラス及び線入板ガラス
網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類
・建具表による

合わせガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ
・建具表による
形状による種類
・平面合わせガラス
・曲面合わせガラス
落球衝撃はく離特性並びにショットバック衝撃特性による種類
・Ⅰ類
・Ⅱ－Ⅰ類
・Ⅱ－Ⅱ類
・Ⅲ類

強化ガラス
形状による種類、材料板ガラスの種類による名称
・建具表による
破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類
・Ⅰ類
・Ⅲ類

熱線吸収板ガラス
板ガラスによる種類、厚さによる種類
・建具表による
性能による種類
・Ⅰ種
・Ⅱ種

複層ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ
・建具表による
断熱性による区分
・TⅠ
・TⅡ
・TⅢ
・TⅣ
・TⅤ
・TⅥ
日射取得性、日射遮蔽性による区分
・G
・S
乾燥気体の種類
・空気
・アルゴン

熱線反射ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類
・建具表による
日射熱遮へい性による区分
・Ⅰ種
・Ⅱ種
・Ⅲ種
耐久性による区分（日射熱遮蔽性による区分がⅡ種の場合）
・A類
・B類
映像調整
・行わない
・行う

倍強度ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類
・建具表による

ガラスの留め材及び溝の大きさ

⑥

⑦

内装改修工事

①改修範囲
既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲
・壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
・図示
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲
・壁面より両側 600mm 程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
・図示
既存天井の撤去に伴う取合い部の壁面の改修
・既存のまま
・図示

②既存床の撤去及び下地補修

3 既存壁の撤去及び下地補修

4 木下地等の表面仕上げ

5 製材

⑧

⑨

造作用集成材

①「製材の日本農林規格」による下地用針葉樹製材

②「製材の日本農林規格」による造作用針葉樹製材

③「製材の日本農林規格」による広葉樹製材

④「製材の日本農林規格」以外の製材

⑤「集成材の日本農林規格」による造作用集成材

⑥「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成材

⑦「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成材

⑧「集成材の日本農林規格」による特殊加工化粧合板

⑨「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成材

⑩「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

⑪「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

⑫「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

⑬「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

⑭「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

⑮「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

⑯「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

⑰「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

⑱「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

⑲「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

⑳「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㉑「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㉒「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㉓「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㉔「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㉕「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㉖「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㉗「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㉘「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㉙「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㉚「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㉛「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㉜「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㉝「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㉞「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㉟「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㊱「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㊲「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㊳「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㊴「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㊵「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㊶「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㊷「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㊸「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㊹「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㊺「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㊻「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㊼「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㊽「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㊾「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㊿「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㋀「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㋁「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㋂「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㋃「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㋄「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㋅「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㋆「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㋇「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㋈「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㋉「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㋊「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㋋「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㋌「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㋍「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㋎「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㋏「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㋐「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㋑「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㋒「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㋓「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㋔「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㋕「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㋖「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㋗「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㋘「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㋙「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㋚「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㋛「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㋜「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㋝「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㋞「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㋟「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㋠「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㋡「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㋢「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㋣「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㋤「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㋥「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㋦「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㋧「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㋨「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㋩「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㋪「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㋫「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㋬「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㋭「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㋮「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㋯「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㋰「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㋱「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㋲「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㋳「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㋴「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㋵「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㋶「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㋷「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㋸「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㋹「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㋺「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㋻「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㋼「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㋽「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㋾「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㋿「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㌀「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㌁「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㌂「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㌃「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㌄「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㌅「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㌆「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㌇「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㌈「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㌉「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㌊「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㌋「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㌌「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㌍「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㌎「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㌏「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㌐「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㌑「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㌒「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㌓「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㌔「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㌕「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㌖「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㌗「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㌘「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㌙「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㌚「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㌛「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㌜「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㌝「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㌞「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㌟「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㌠「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㌡「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㌢「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㌣「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㌤「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㌥「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㌦「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㌧「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㌨「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㌩「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㌪「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㌫「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㌬「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㌭「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㌮「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㌯「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㌰「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㌱「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㌲「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㌳「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㌴「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㌵「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㌶「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㌷「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㌸「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㌹「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㌺「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㌻「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㌼「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㌽「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㌾「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㌿「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㍀「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㍁「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㍂「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㍃「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㍄「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㍅「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㍆「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㍇「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㍈「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㍉「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㍊「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㍋「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㍌「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㍍「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㍎「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㍏「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㍐「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㍑「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㍒「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㍓「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㍔「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㍕「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㍖「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㍗「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㍘「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㍙「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㍚「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㍛「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㍜「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㍝「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㍞「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㍟「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㍠「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㍡「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㍢「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㍣「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㍤「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㍥「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㍦「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㍧「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㍨「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㍩「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㍪「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㍫「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㍬「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㍭「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㍮「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㍯「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㍰「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㍱「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㍲「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㍳「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㍴「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㍵「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㍶「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㍷「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㍸「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㍹「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㍺「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㍻「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㍼「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㍽「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㍾「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㍿「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㏀「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㏁「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㏂「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㏃「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㏄「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㏅「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㏆「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㏇「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㏈「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㏉「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㏊「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㏋「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㏌「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㏍「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㏎「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㏏「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㏐「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㏑「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㏒「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㏓「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㏔「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㏕「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㏖「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㏗「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㏘「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㏙「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㏚「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㏛「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㏜「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㏝「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㏞「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㏟「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㏠「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㏡「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㏢「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㏣「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㏤「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㏥「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㏦「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㏧「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㏨「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㏩「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㏪「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㏫「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㏬「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㏭「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㏮「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㏯「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㏰「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㏱「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㏲「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㏳「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㏴「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㏵「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㏶「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㏷「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㏸「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㏹「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㏺「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㏻「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㏼「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㏽「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㏾「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㏿「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㐀「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㐁「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㐂「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㐃「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㐄「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㐅「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㐆「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㐇「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㐈「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㐉「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㐊「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㐋「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㐌「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㐍「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㐎「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㐏「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㐐「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㐑「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㐒「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㐓「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㐔「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㐕「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㐖「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㐗「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㐘「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㐙「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㐚「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㐛「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㐜「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㐝「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㐞「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㐟「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㐠「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㐡「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㐢「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㐣「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㐤「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㐥「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㐦「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㐧「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㐨「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㐩「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㐪「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㐫「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㐬「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㐭「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㐮「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㐯「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㐰「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㐱「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㐲「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㐳「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㐴「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㐵「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㐶「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㐷「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㐸「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㐹「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㐺「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㐻「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㐼「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㐽「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㐾「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㐿「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㑀「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㑁「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㑂「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㑃「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㑄「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㑅「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㑆「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㑇「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㑈「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㑉「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㑊「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㑋「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㑌「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㑍「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㑎「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㑏「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㑐「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㑑「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㑒「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㑓「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㑔「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㑕「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㑖「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㑗「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㑘「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㑙「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㑚「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㑛「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㑜「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㑝「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㑞「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㑟「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㑠「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㑡「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㑢「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㑣「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㑤「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㑥「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㑦「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㑧「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㑨「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㑩「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㑪「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㑫「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㑬「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㑭「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㑮「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㑯「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㑰「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㑱「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㑲「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㑳「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㑴「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㑵「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㑶「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㑷「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㑸「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㑹「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㑺「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㑻「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㑼「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㑽「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㑾「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㑿「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㒀「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㒁「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㒂「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㒃「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㒄「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㒅「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㒆「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㒇「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㒈「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㒉「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㒊「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㒋「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㒌「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㒍「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㒎「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㒏「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㒐「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㒑「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㒒「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㒓「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㒔「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㒕「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㒖「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㒗「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㒘「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㒙「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㒚「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㒛「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㒜「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㒝「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㒞「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㒟「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㒠「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㒡「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㒢「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㒣「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㒤「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㒥「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㒦「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㒧「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㒨「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㒩「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㒪「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㒫「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㒬「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㒭「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㒮「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㒯「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㒰「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㒱「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㒲「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㒳「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㒴「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㒵「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㒶「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㒷「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㒸「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㒹「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㒺「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㒻「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㒼「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㒽「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㒾「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㒿「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㓀「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㓁「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㓂「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㓃「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㓄「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㓅「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㓆「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㓇「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㓈「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㓉「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㓊「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㓋「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㓌「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㓍「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㓎「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㓏「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㓐「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㓑「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㓒「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㓓「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㓔「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㓕「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㓖「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㓗「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㓘「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

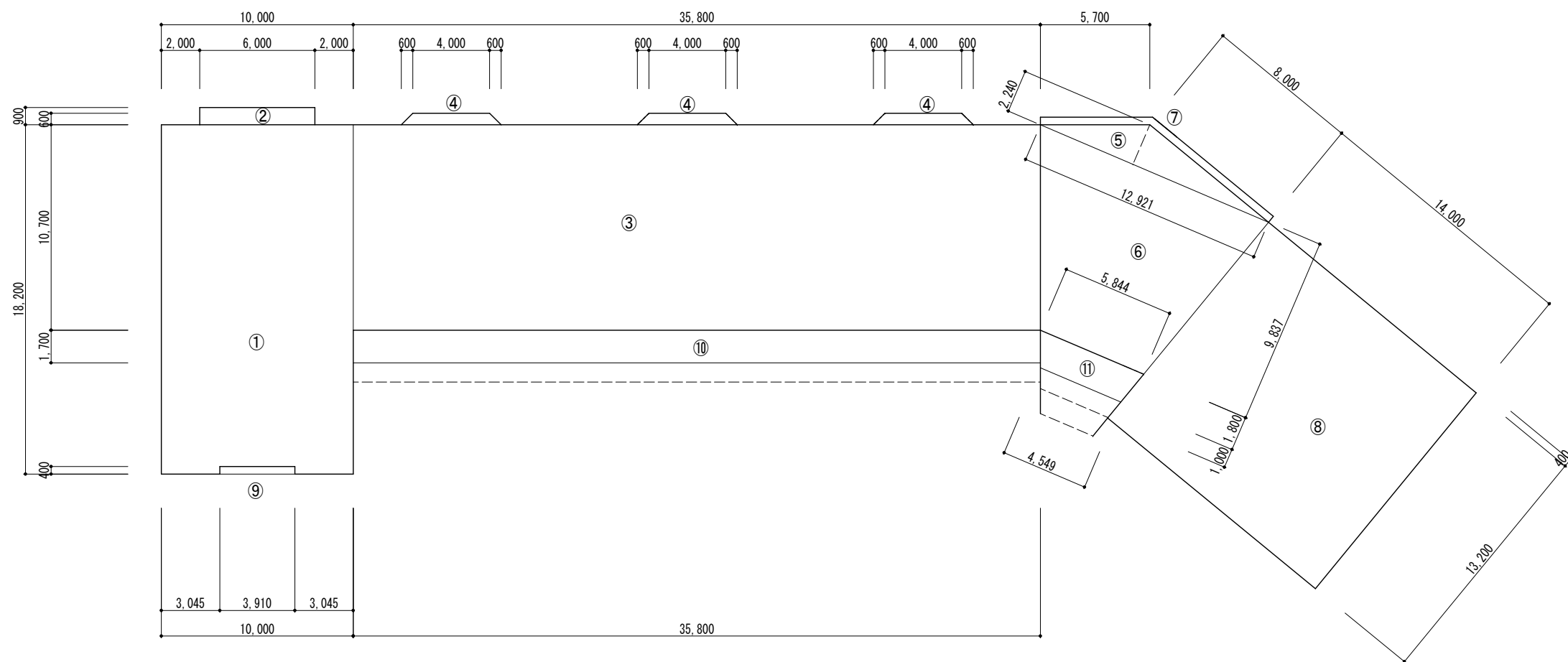
㓙「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㓚「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

㓛「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

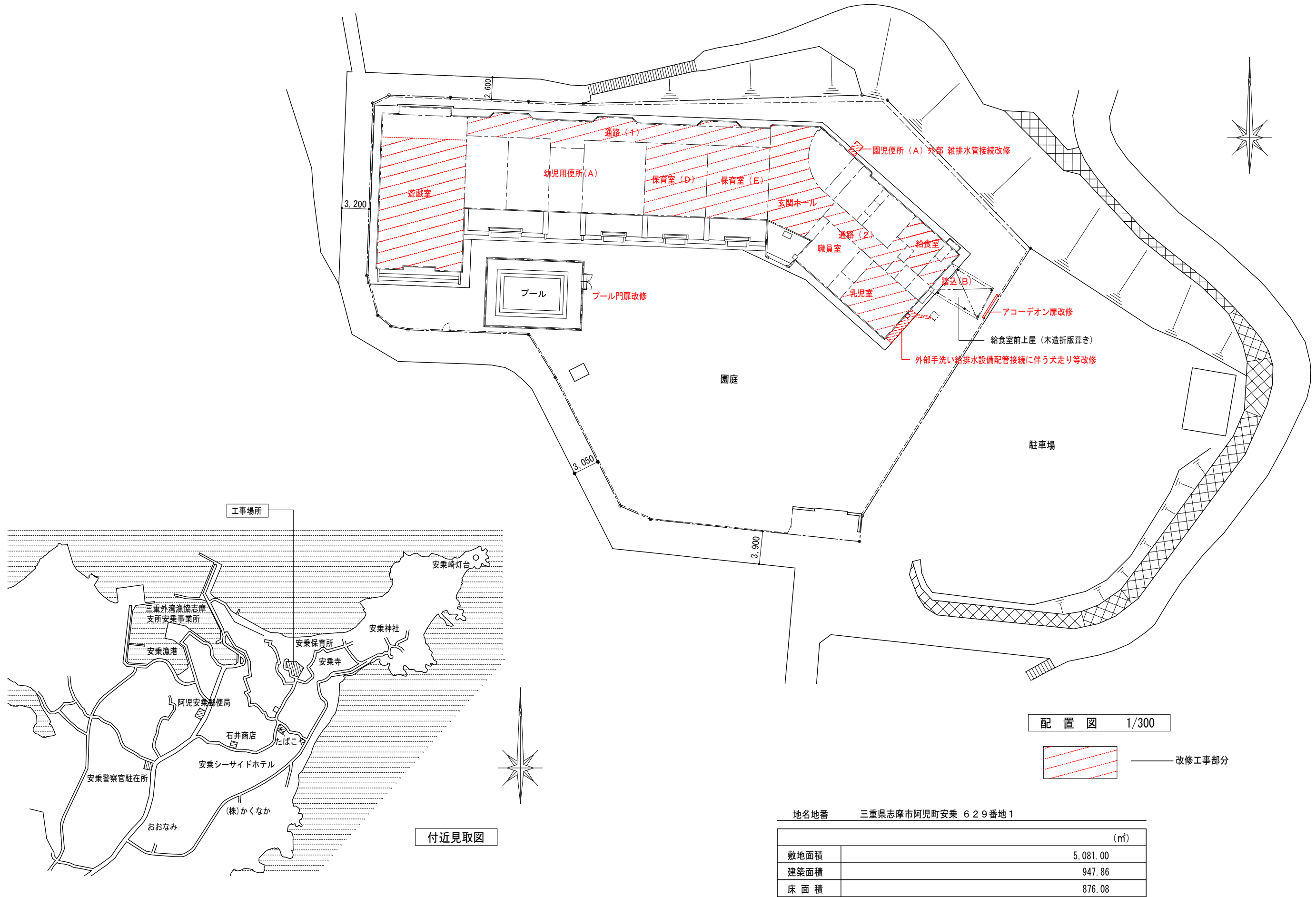
㓜「集成

【特記事項】	西 沢 建 築 設 計 事 務 所 一 級 建 築 士 No. 117422 西 沢 雅 彦	令和 4 年度 安乗保育所改修工事			A — 07
			特記仕様書(建築：改修) (6)	N/S	



床面積・建築面積 求積図 1/200

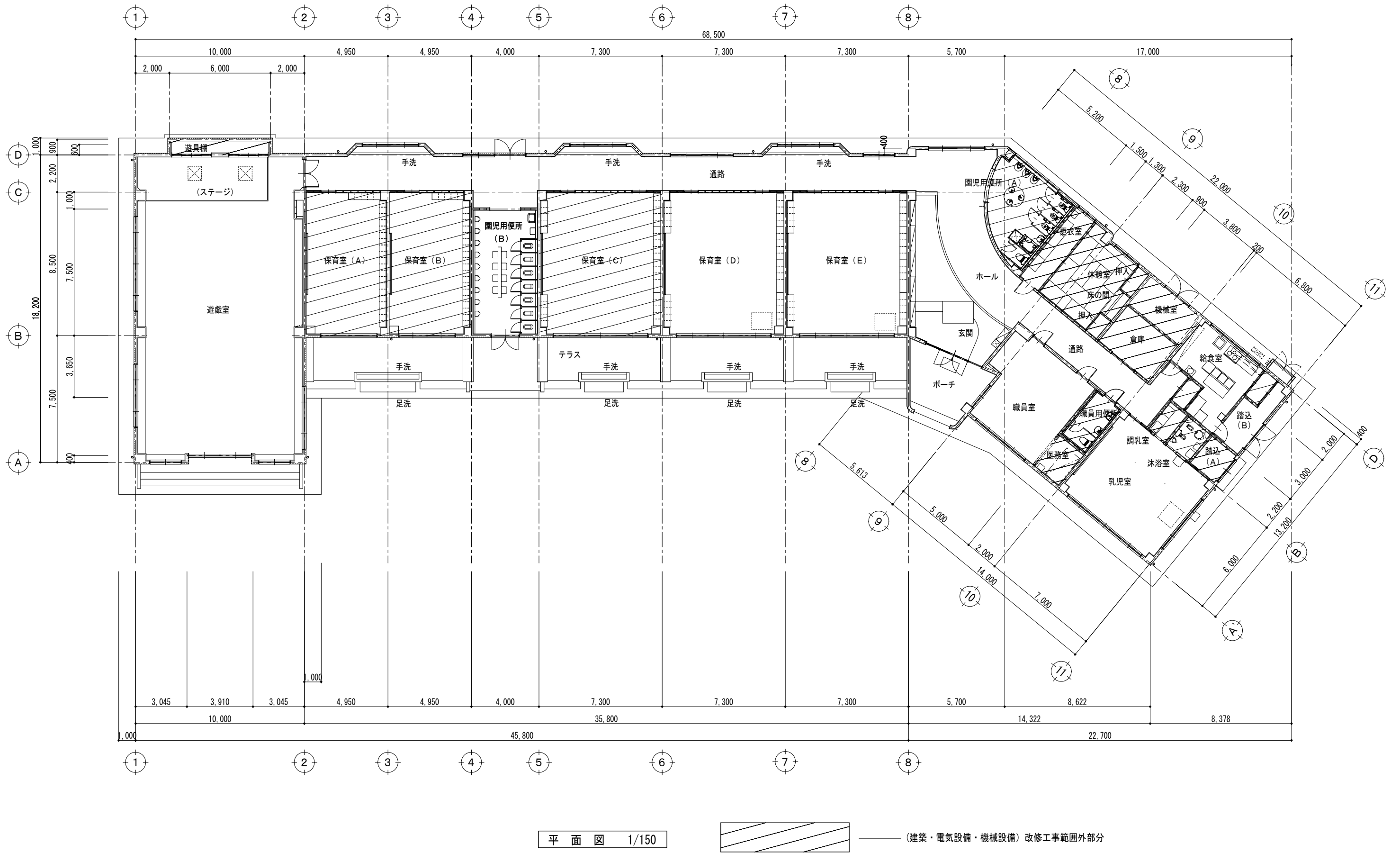
床面積				
①	(10.000×18.200)－(3.912×0.400)	=	180.4352	
②	5.000 × 0.900	=	4.500	
③	35.800 × 10.700	=	383.060	
④	(5.200+4.000) × 0.600 × 1/2 × 4	=	11.040	
⑤	12.921 × 2.240 × 1/2	=	14.47152	
⑥	(12.921+5.844) × 9.837 × 1/2	=	92.2956525	
⑦	(5.700+8.000) × 0.400	=	5.480	
⑧	13.200 × 14.000	=	184.800	
合計			876.0823725	(876.08) m ²
建築面積算入部分				
⑨	3.910 × 0.400	=	1.564	
⑩	35.800 × 1.700	=	60.860	
⑪	(5.844+4.549) × 1.800 × 1/2	=	9.3537	
合計			71.7777	(71.78) m ²
建築面積	876.08+71.78=947.86			(947.86) m ²



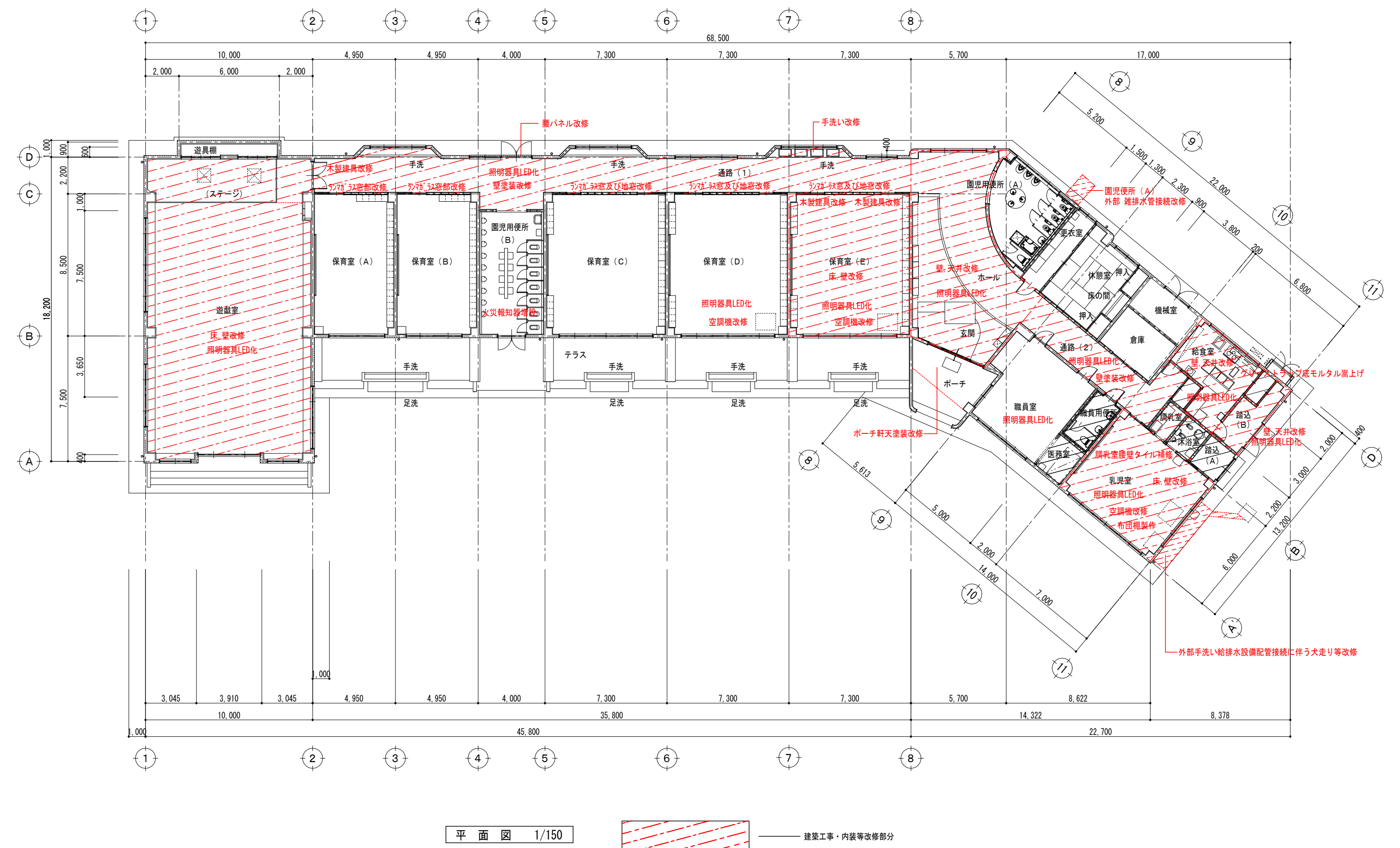
【特記事項】	西 沢 建 築 設 計 事 務 所 一 級 建 築 士 No. 117422 西 沢 雅 彦	令和４年度 安乗保育所改修工事	配 置 図	A2 : 1/300 A3 : 1/422	A — 09
			付近見取図		
			面 積 表		

外部改修仕上表				
部位	個所	既設仕上表		改修仕上表
屋根	玄関・廊下屋根 乳児室屋根	コンクリート金コテ下地 ナルファルト防水 保護モルタル金コテ押え目地切（W=20）仕上げ		既設保護モルタル金コテ押え目地切（W=20）仕上げの上
		パラペット立上り壁 コンクリート打放し補修 シリコン2回吹付け仕上げ		高圧ポンプ水洗い洗浄（10～15MPa）
		笠木：防水モルタル金コテ仕上げ		既設伸縮目地（W=20）清掃のうえ 目地シーリング（20×10） 既設立上り巾木部 モルタル詰め 防水端末及び笠木横防水端末シーリング 変成シリコーン 10×10
				下地調整 全面ポリマーセメントペースト塗布 （平場） ウレタン塗膜防水（X-1）絶縁工法 カラートップ仕上げ
				パラペット立上り及び笠木 下地調整 ポリマーセメントペースト塗布 （立上り）ウレタン塗膜防水（X-2）密着工法 カラートップ仕上げ
				ステンレス脱気装置 改修用ドレン（鉛製 横型 Φ100） 既設立上りコンクリート壁研り撤去
外壁	玄関ポーチ廻り	巾木：モルタル金コテ仕上げ H=400		既設巾木及び外壁モルタル刷毛引き下地 吹付けタイル面・玄関ポーチ廻りタイル面
		壁：ポータータイル貼り		施工調査（目視、打診、計測、図面記入） 施工に先立ち、外壁調査を行い、改修工法の協議を行うこと。
		天井：ラワン t=12 板貼り CL		高圧ポンプ水洗い洗浄
				注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 （9穴/㎡ ピン50mm）
	モルタルコテ仕上げ面	巾木：モルタル金コテ仕上げ H=550 モルタル刷毛引下地 吹付タイル仕上げ		（既設巾木モルタル 外壁モルタル刷毛引下地 吹付けタイル面） 可とう形改修塗材（RE）ローラー塗り（薄付 シリコン系）
				（ポーチ天井部） 既設ラワン t=12 板貼りの上 下地調整(RC種） WP(キシラデコール）塗装(B種)
	コンクリート打放し面	コンクリート打放し下地 ロック吹付（厚付）仕上げ		既設コンクリート打放し下地 ロック吹付（厚付）面
				施工調査（目視、打診、計測、図面記入） 施工に先立ち、外壁調査を行い、改修工法の協議を行うこと。
				高圧ポンプ水洗い洗浄
				クラック 0.1～1.0mm 以下 自動低圧式樹脂注入工法 クラック 1.0mm 以上 ボンドUカットシーล材充填工法
				給食室窓 既設メッシュ取外し及び外壁工事後復旧
	縦樋	VP Φ125 塗装仕上げ		既設VP Φ125撤去 新規カラーVP Φ125・ステンレス掴み金物・大型飾り柵(300角タイプ）取替え改修
外部開口部				改修部 サッシ廻りシーリング（シリコーン 10×10）
				外壁面 全面サッシ ガラスシーリング改修（既設ガラスビード外部側片面撤去）
				全面鋼製アルミ建具、木製建具ガラス 飛散防止フィルム貼り
				一部既設サッシ腰アルミパネル撤去、網入り磨き板ガラス t=6.8 に入替え
屋外工事				アコーディオン扉改修 乳児室外部手洗い給排水設備配管接続に伴う犬走り等改修 園児便所（A）外部雑排水管接続改修

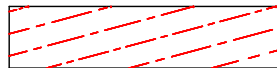
内部改修仕上表					
室 名	部 位	既設仕上表	改修仕上表	照明器具LED化工事	空調設備工事
遊 戯 室	床	パイルフロアーパーケット t=15	既設床板解体撤去 一部転ばし床組改修（改修範囲調査） 全面床及びベンチ部分 合板カラーフロアー t=15 貼り	LED化	
	巾木	ラワン H=80 SOP	既設巾木 H=80 塗装改修下地調整（RC種） SOP塗装（A種）		
	腰	シナベニヤ t=6 目スカシ貼り SOP ラワン t=12 板貼り CL	既設シナベニヤ t=5.5 目スカシ貼り の上 下地調整（RC種）SOP塗装（A種） 既設ラワン板の上 下地調整（RC種）CL塗装（B種）		
	壁	シナベニヤ t=6 目スカシ貼り SOP ラワン t=12 板貼り CL 上部壁ダイロートン（リブ柄） t=12 貼り	既設シナベニヤ t=5.5 目スカシ貼り の上 下地調整（RC種）SOP塗装（A種） 既設ラワン板の上 下地調整（RC種）CL塗装（B種） 既設梁型モルタル下地調整（RC種）合成樹脂エマルジョンペイント（EP）塗装（B種） 既設上部壁ダイロートン部下地調整（RC種）合成樹脂エマルジョンペイント（EP）塗装（B種）		
	天井	ジブトーン t=9（不燃第1013）貼り	存置		
保 育 室（E）	床	パルフロアーパーケット t=15	既設床板解体撤去 一部転ばし床組改修（改修範囲調査） 合板カラーフロアー t=15 貼り	保育室（D） LED化	保育室（D） 既設空調機撤去 新規空調機設置
	巾木	ラワン H=80 SOP	既設ラワン H=80 の上 下地調整（RC種）SOP塗装（A種）	保育室（E） LED化	保育室（E） 既設空調機撤去 新規空調機設置
	腰	シナベニヤ t=5.5 目スカシ貼り SOP	既設シナベニヤ t=5.5 目スカシ貼り の上 下地調整（RC種）SOP塗装（A種） （ロッカー）下地調整（RC種）CL塗装（B種）		
	壁	シナベニヤ t=5.5 目スカシ貼り SOP	既設シナベニヤ t=5.5 目スカシ貼り の上 下地調整（RC種）SOP塗装（A種） （掲示板）掲示板用クロス貼替え		
	天井	ジブトーン t=9（不燃第1013）貼り	存置		
乳 児 室	床	パルフロアーパーケット t=15	既設床板解体撤去 一部転ばし床組改修（改修範囲調査）アンダーレイシート t=3.0 敷き クッションーフロアー t=2.3 貼り（既設撤去）	LED化	既設空調機撤去 新規空調機設置
	巾木	ラワン H=80 SOP	既設ラワン H=80 の上 下地調整（RC種）SOP塗装（A種）		
	腰	シナベニヤ t=5.5 目スカシ貼り SOP	既設シナベニヤ t=5.5 目スカシ貼り の上 下地調整（RC種）SOP塗装（A種） 布団棚製作 調乳室腰壁タイル補修		
	壁	シナベニヤ t=5.5 目スカシ貼り SOP	既設シナベニヤ t=5.5 目スカシ貼り の上 下地調整（RC種）SOP塗装（A種）		
	天井	ジブトーン t=9（不燃第1013）貼り	存置		
給 食 室	床	モルタル金コテ押え	存置 グリーストラップ底モルタル嵩上げ	LED化	
	巾木	_____	_____		
	腰	100角タイル貼り H=1,000	存置		
	壁	モルタル金コテ仕上げ（カンレイシャ貼り） EP	既設壁モルタル下地調整（RC種）合成樹脂エマルジョンペイント（EP）塗装（B種）		
	天井	ジブトーン t=9（不燃第1013）貼り	既設天井 下地調整（RC種）合成樹脂エマルジョンペイント（EP）塗装（B種）		
踏 込 （B）	床	モルタル金コテ押え	存置	LED化	
	巾木	モルタルコテミガキ H=200	既設モルタル巾木 下地調整（RC種）合成樹脂エマルジョンペイント（EP）塗装（B種）		
	腰	モルタル金コテ仕上げ（カンレイシャ貼り） EP	既設壁モルタル 下地調整（RC種）合成樹脂エマルジョンペイント（EP）塗装（B種）		
	壁	モルタル金コテ仕上げ（カンレイシャ貼り） EP	既設壁モルタル 下地調整（RC種）合成樹脂エマルジョンペイント（EP）塗装（B種）		
	天井	ジブトーン t=9（不燃第1013）貼り	既設天井 下地調整（RC種）合成樹脂エマルジョンペイント（EP）塗装（B種）		
玄 関 ホ ー ル	床	モルタル金コテ下地アロンフロアー t=2.0貼り	存置	LED化	
	巾木	ラワン H=80 SOP	既設モルタル巾木 下地調整（RC種）合成樹脂エマルジョンペイント（EP）塗装（B種） 既設木巾木 下地調整（RC種）SOP塗装（A種）		
	腰	モルタル金コテ仕上げ（カンレイシャ貼り） EP	既設壁モルタル 下地調整（RC種）合成樹脂エマルジョンペイント（EP）塗装（B種）		
	壁	モルタル金コテ仕上げ（カンレイシャ貼り） EP 一部ビニールクロス貼り	既設壁モルタル 下地調整（RC種）合成樹脂エマルジョンペイント（EP）塗装（B種）		
	天井	ジブトーン t=9（不燃第1013）貼り	既設天井 下地調整（RC種）合成樹脂エマルジョンペイント（EP）塗装（B種）		
通路 （1）（2）	床	複層ビニル床シート t=2.0 貼り	存置	LED化	
	巾木	ラワン H=80 SOP 手洗い廻り モルタルコテミガキ H=150 VP	既設ラワン H=80 の上 下地調整（RC種）SOP塗装（A種） 既設モルタル巾木 下地調整（RC種）合成樹脂エマルジョンペイント（EP）塗装（B種）		
	腰	シナベニヤ t=5.5 目スカシ貼り SOP 手洗い廻り モルタル金コテい上げ（カンレイシャ貼りり）EP	既設シナベニヤ t=5.5 目スカシ貼り の上 下地調整（RC種）SOP塗装（A種）		
	壁	シナベニヤ t=5.5 目スカシ貼り SOP 手洗い廻り モルタル金コテい上げ（カンレイシャ貼りり）EP	既設シナベニヤ t=5.5 目スカシ貼り の上 下地調整（RC種）SOP塗装（A種）		
	天井	ジブトーン t=9（不燃第1013）貼り	存置		



【特記事項】			【改修前】		
西 沢 建 築 設 計 事 務 所			令 和 4 年 度 安 乗 保 育 所 改 修 工 事		
一 級 建 築 士 No. 117422 西 沢 雅 彦			平 面 図	A2 : 1/150 A3 : 1/211	A — 12

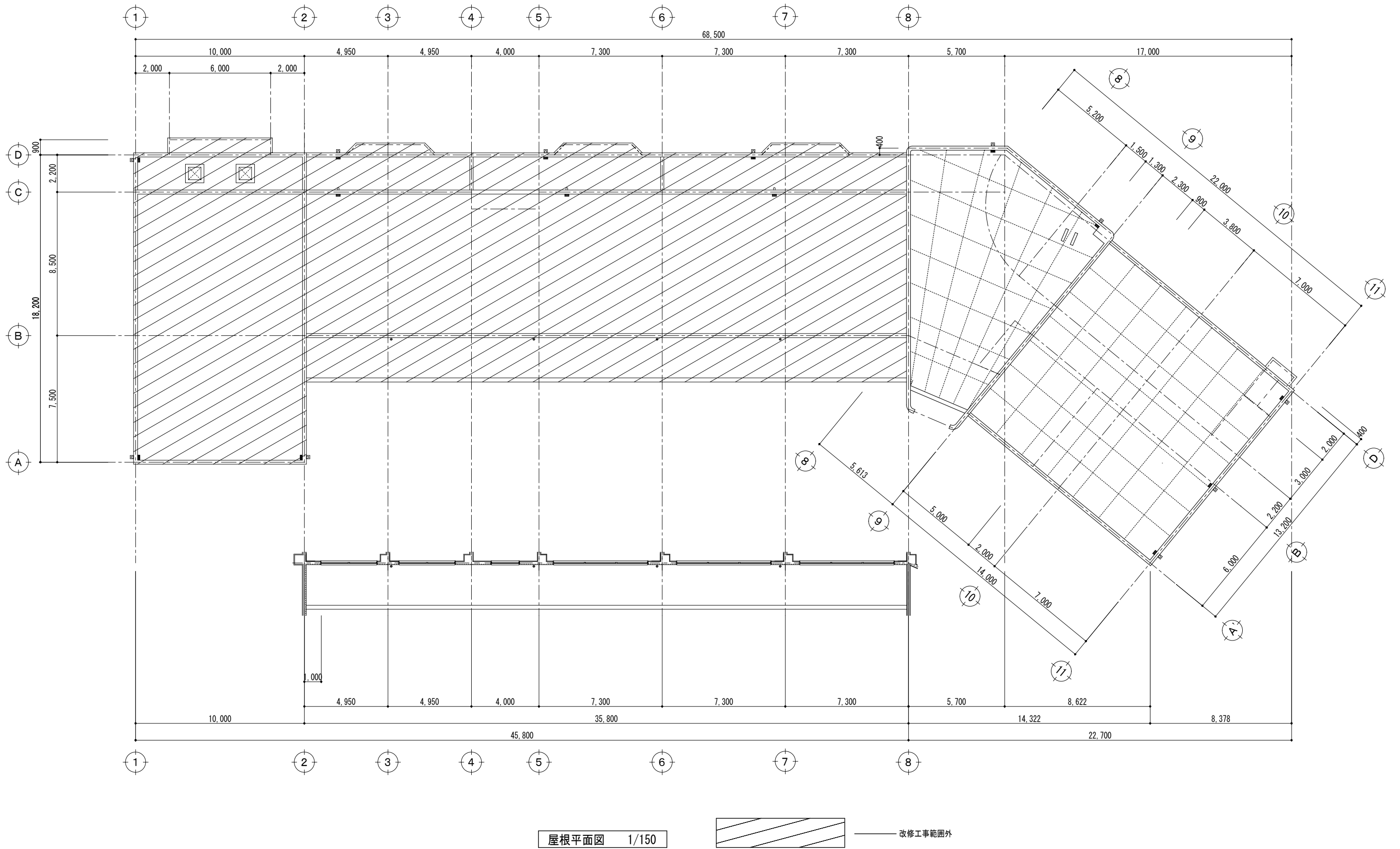


平面図 1/150



——— 建築工事・内装等改修部分

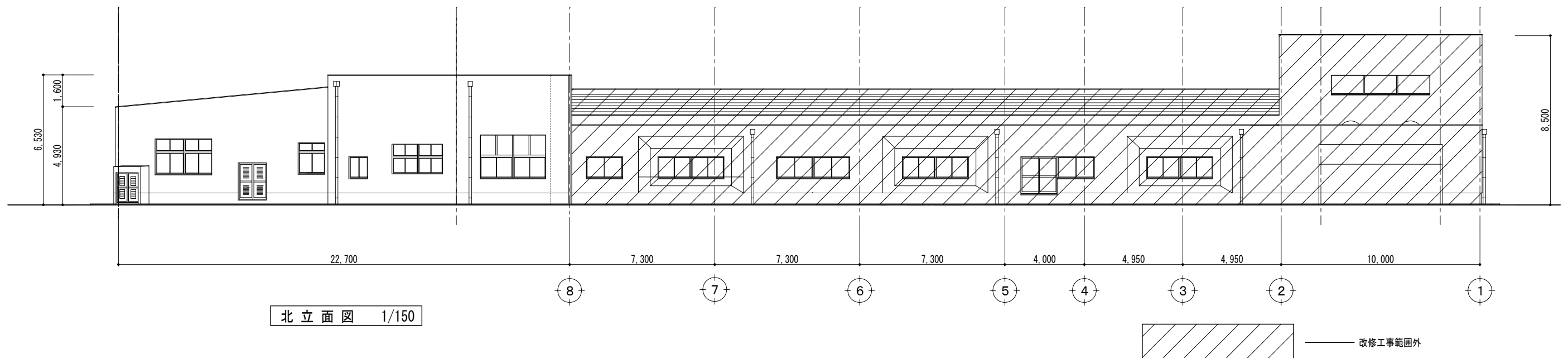
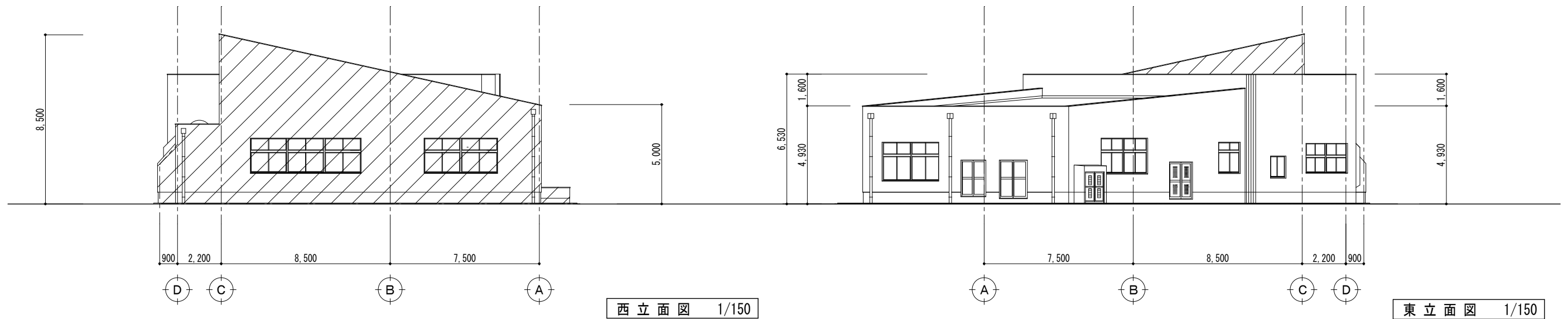
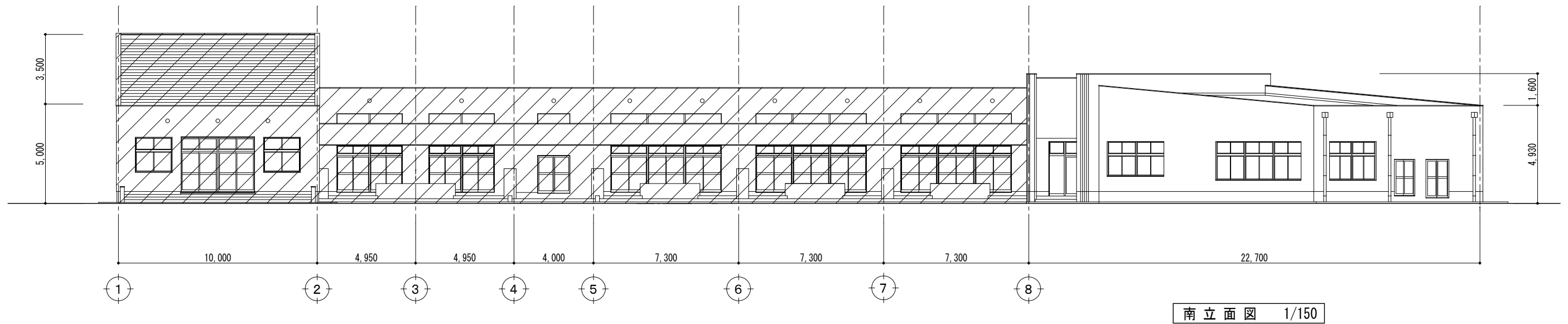
【特記事項】		西 沢 建 築 設 計 事 務 所		令和４年度 安乗保育所改修工事		【改修図】	
		一 級 建 築 士 No. 117422 西 沢 雅 彦				平 面 図	A2 : 1/150 A3 : 1/211
							A — 13



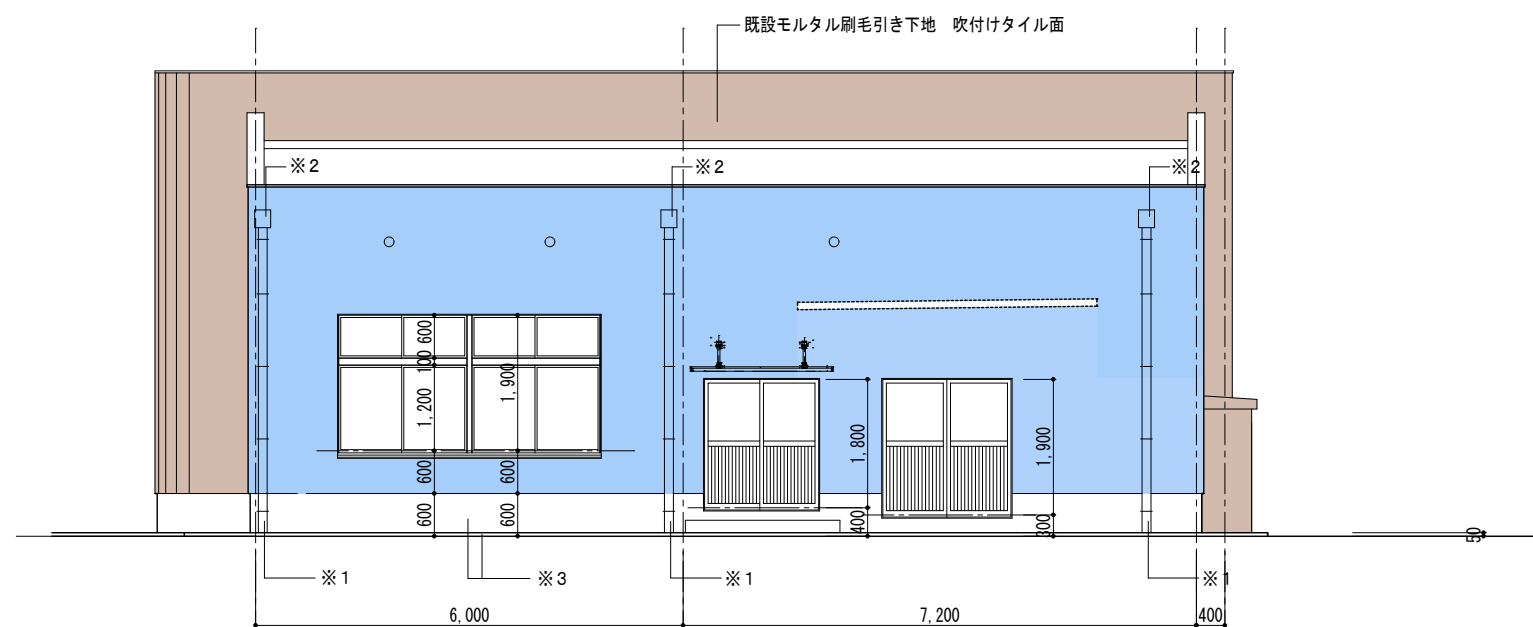
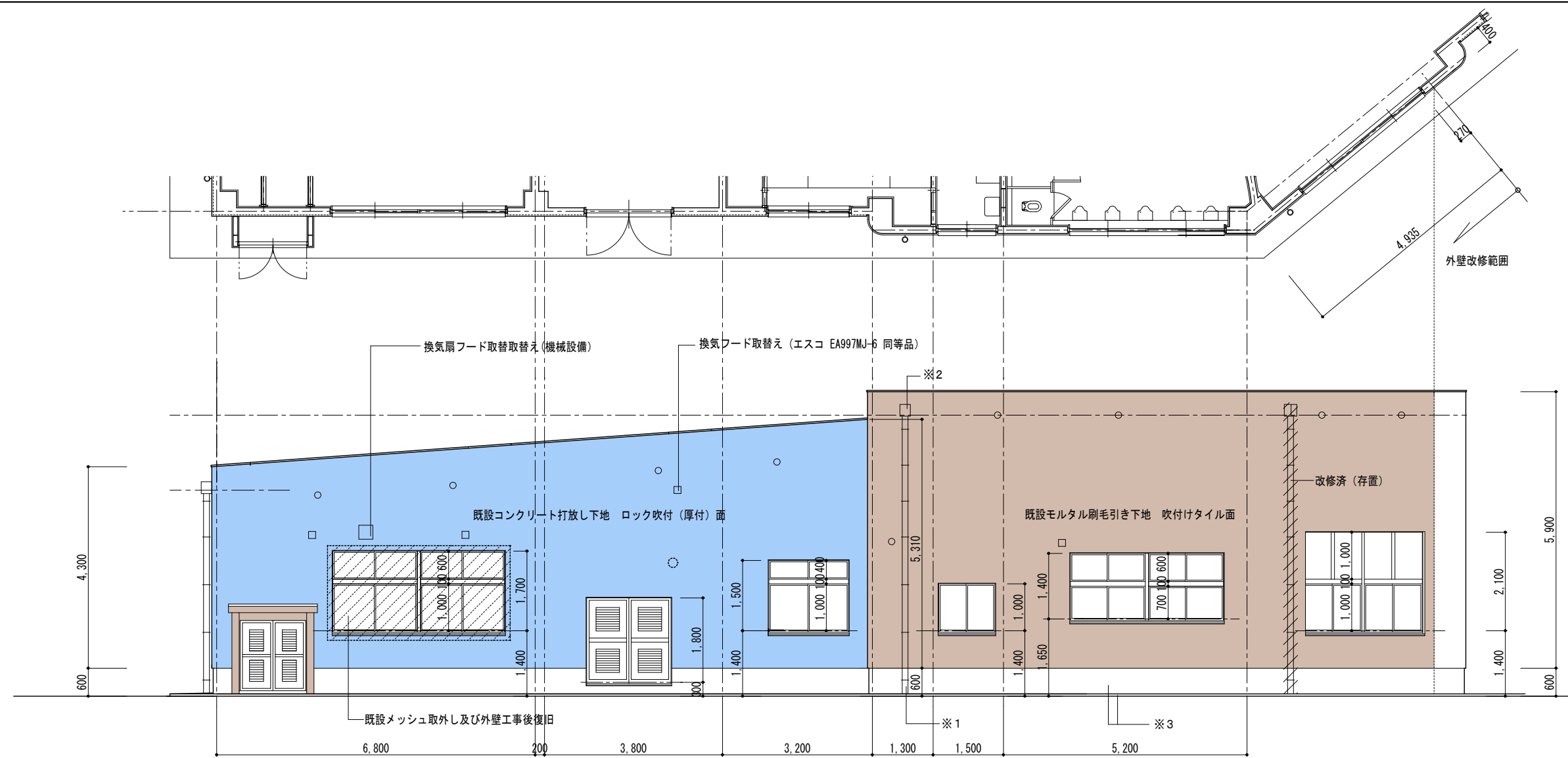
屋根平面図 1/150

改修工事範囲外

【特記事項】	西 沢 建 築 設 計 事 務 所 一 級 建 築 士 No. 117422 西 沢 雅 彦	令 和 4 年 度 安 乗 保 育 所 改 修 工 事	屋根平面図	A2 : 1/150 A3 : 1/211	A — 14

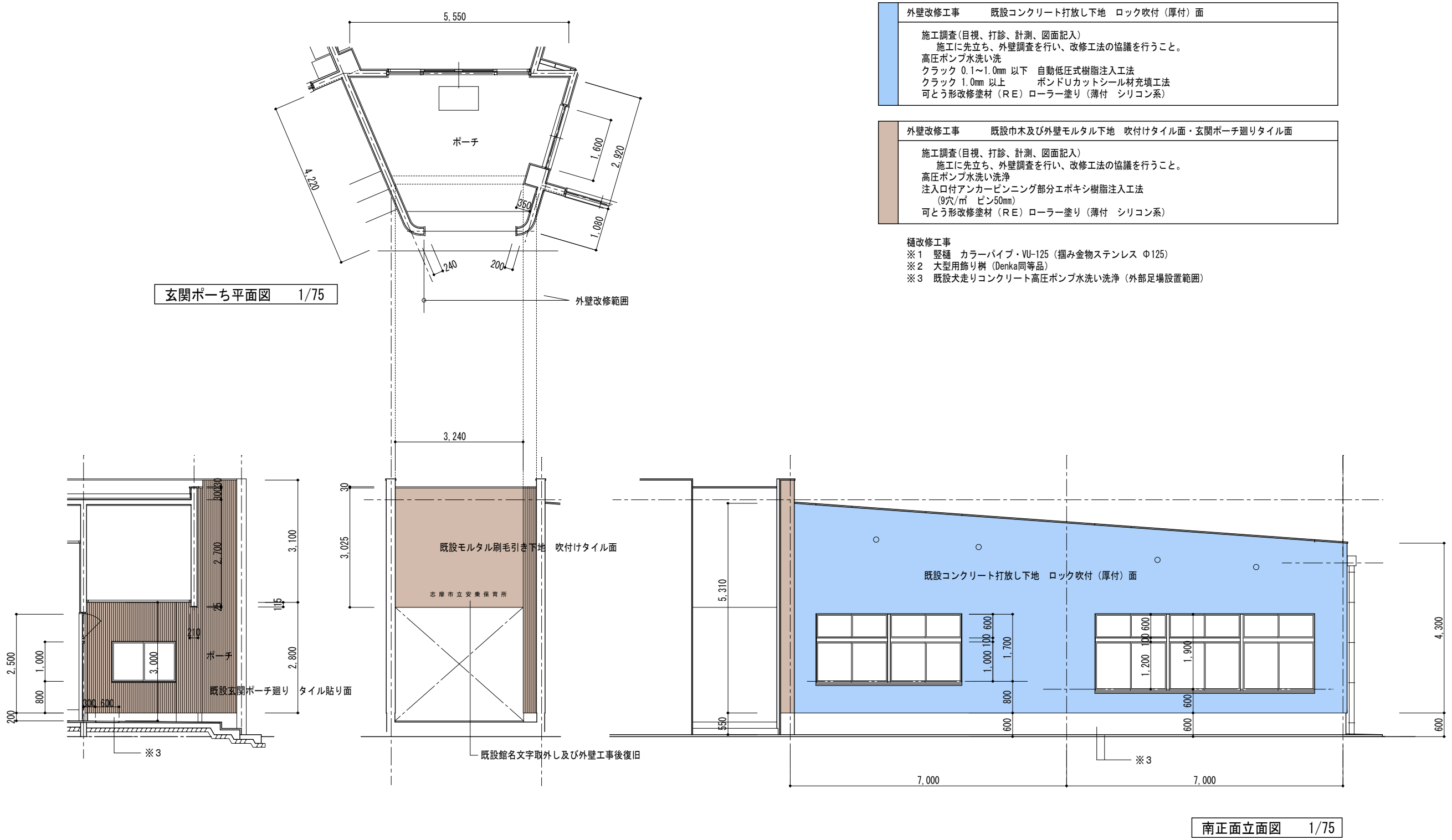


【特記事項】	西 沢 建 築 設 計 事 務 所 一 級 建 築 士 No. 117422 西 沢 雅 彦	令 和 4 年 度 安 乗 保 育 所 改 修 工 事	立 面 図	A2 : 1/150 A3 : 1/211	A — 15



外壁改修工事	既設コンクリート打放し下地 ロック吹付（厚付）面
<p>施工調査（目視、打診、計測、図面記入）</p> <p>施工に先立ち、外壁調査を行い、改修工法の協議を行うこと。</p> <p>高圧ポンプ水洗い洗</p> <p>クラック 0.1～1.0mm 以下 自動低圧式樹脂注入工法</p> <p>クラック 1.0mm 以上 ポンドUカットシール材充填工法</p> <p>可とう形改修塗材（ＲＥ）ローラー塗り（薄付 シリコン系）</p>	
外壁改修工事	既設巾木及び外壁モルタル下地 吹付けタイル面・玄関ポーチ廻りタイル面
<p>施工調査（目視、打診、計測、図面記入）</p> <p>施工に先立ち、外壁調査を行い、改修工法の協議を行うこと。</p> <p>高圧ポンプ水洗い洗淨</p> <p>注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法</p> <p>（9穴/㎡ ビン50mm）</p> <p>可とう形改修塗材（ＲＥ）ローラー塗り（薄付 シリコン系）</p>	
<p>植改修工事</p> <p>※1 堅樫 カラーパイプ・VU-125（掴み金物ステンレス Φ125）</p> <p>※2 大型用飾り樹（Denka同等品）</p> <p>※3 既設犬走りコンクリート高圧ポンプ水洗い洗淨（外部足場設置範囲）</p>	

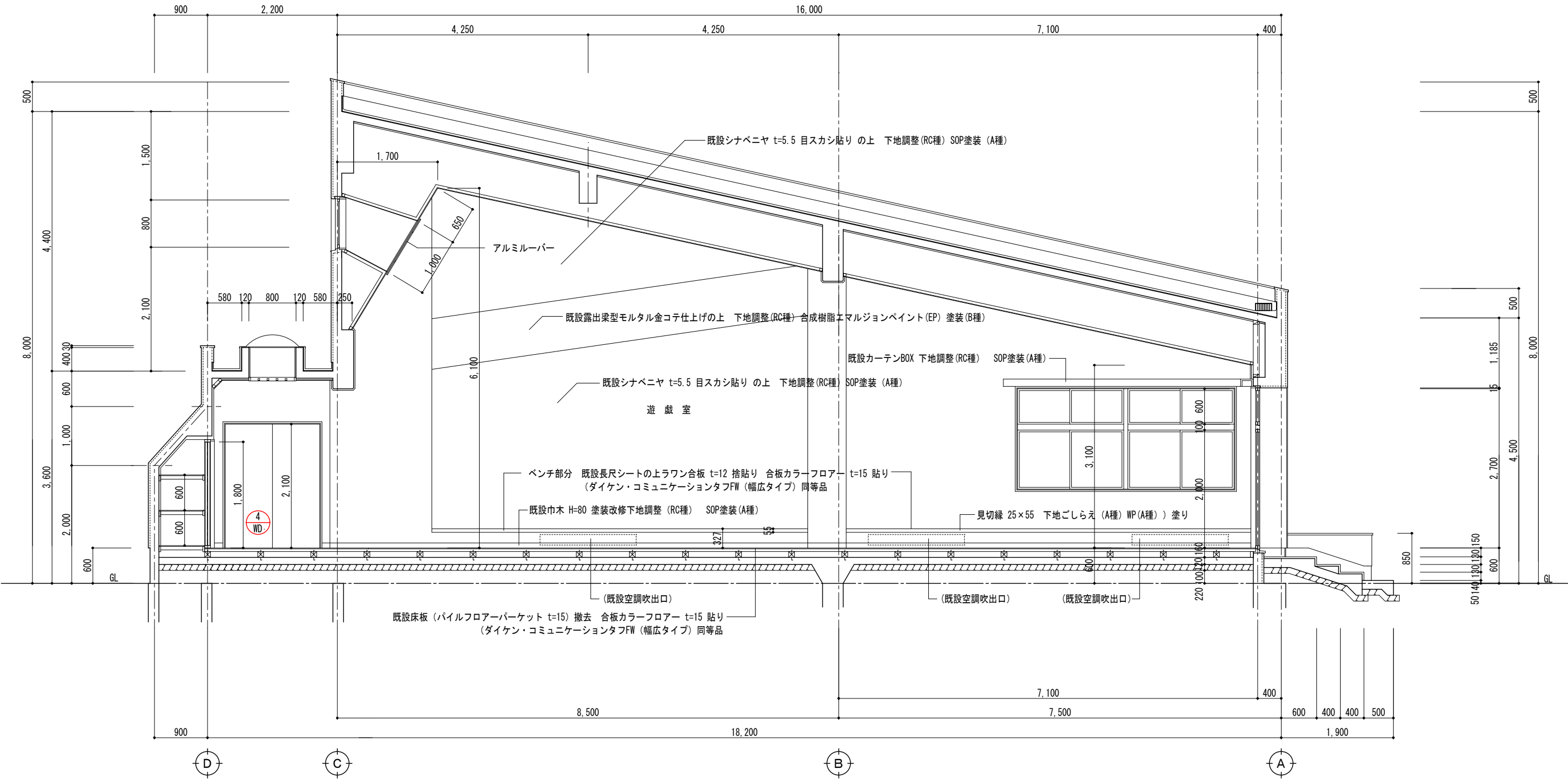
樋改修工事
※1 竖樋 カラーパイプ・VU-125 (掴み金物ステンレス Φ125)
※2 大型用飾り樹 (Denka同等品)
※3 既設犬走りコンクリート高圧ポンプ水洗い洗浄 (外部足場設置範囲)



外壁改修工事	既設コンクリート打放し下地 ロック吹付（厚付）面
施工調査（目視、打診、計測、図面記入） 施工に先立ち、外壁調査を行い、改修工法の協議を行うこと。 高圧ポンプ水洗い洗 クラック 0.1～1.0mm 以下 自動低圧式樹脂注入工法 クラック 1.0mm 以上 ボンドUカットシール材充填工法 可とう形改修塗材（RE）ローラー塗り（薄付 シリコン系）	

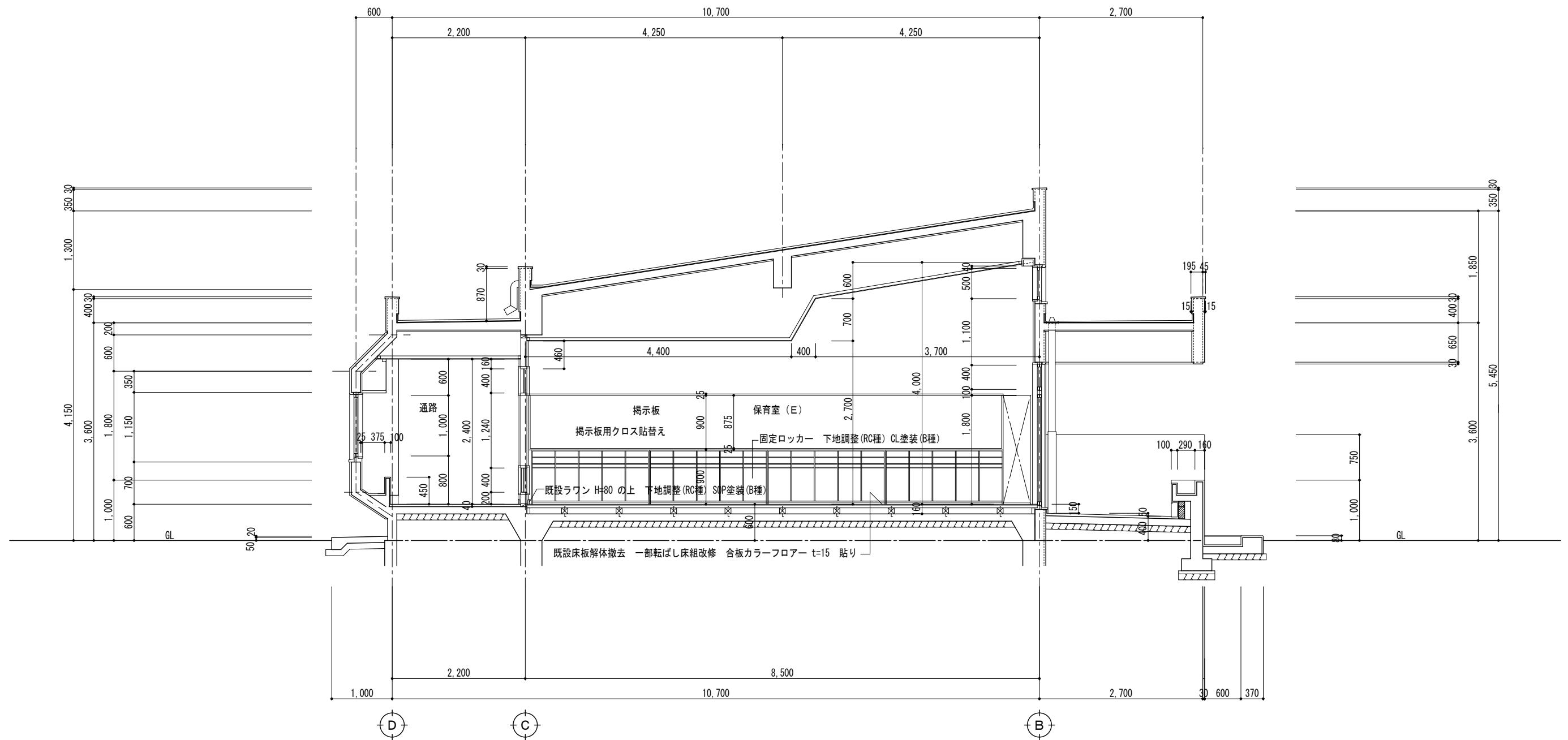
外壁改修工事	既設巾木及び外壁モルタル下地 吹付けタイル面・玄関ポーチ廻りタイル面
施工調査（目視、打診、計測、図面記入） 施工に先立ち、外壁調査を行い、改修工法の協議を行うこと。 高圧ポンプ水洗い洗 注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 （9穴/m ² ピン50mm） 可とう形改修塗材（RE）ローラー塗り（薄付 シリコン系）	

- 樋改修工事
※1 縦樋 カラーパイプ・VU-125（掴み金物ステンレス Φ125）
※2 大型用飾り樹（Denka同等品）
※3 既設犬走りコンクリート高圧ポンプ水洗い洗（外部足場設置範囲）



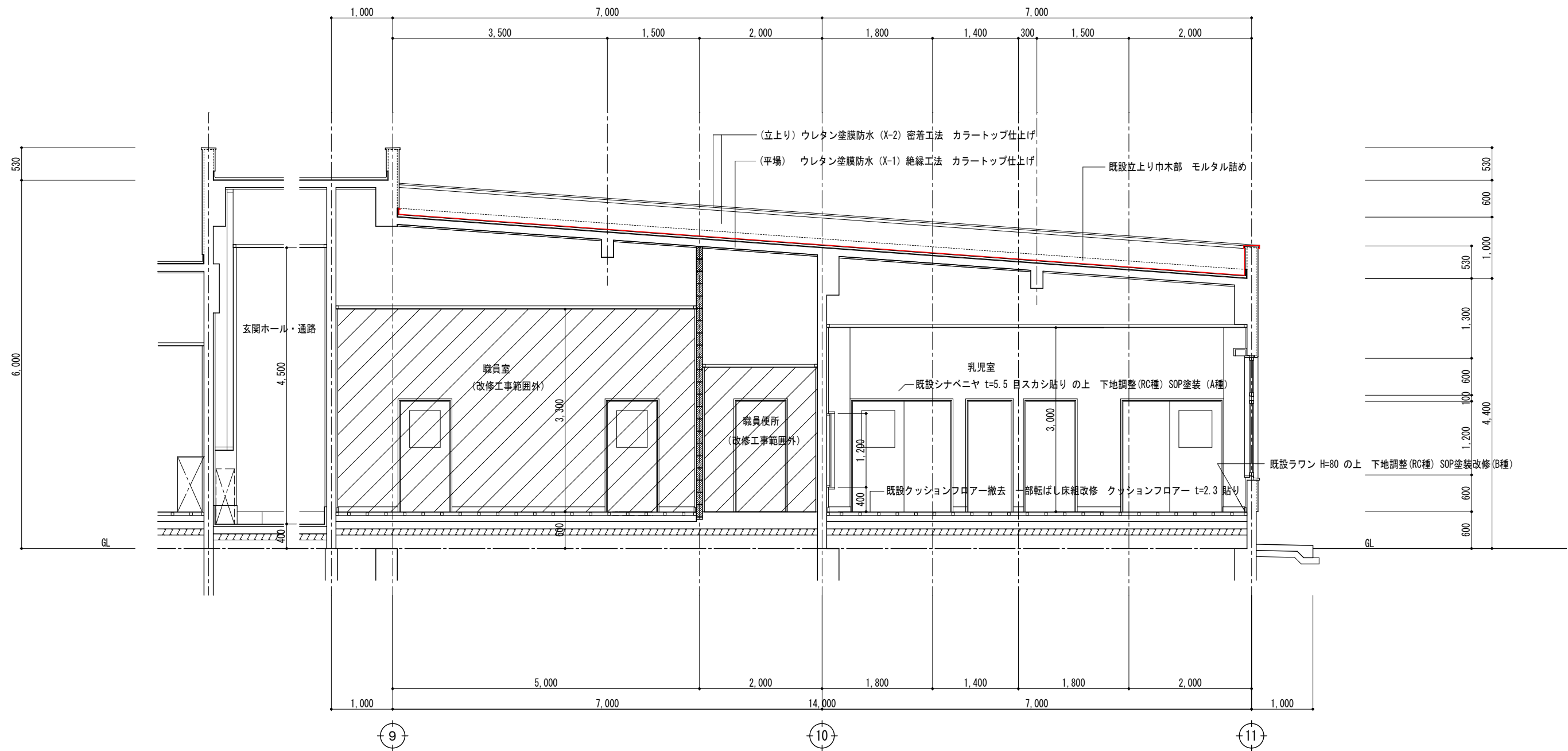
断面図 (1) 1/50

内部改修仕上表				
室 名	部 位	既設仕上表		改修仕上表
遊 戯 室	床	パイルフローアパーケット t=15		既設床板解体撤去 一部転ばし床組改修 (改修範囲調査) 全面床及びベンチ部分 合板カラーフロア t=15 貼り
	巾木	ラワン H=80 SOP		既設巾木 H=80 塗装改修下地調整 (RC種) SOP塗装 (A種)
	腰	シナベニヤ t=6 目スカシ貼り SOP ラワン t=12 板貼り CL		既設シナベニヤ t=5.5 目スカシ貼り の上 下地調整 (RC種) SOP塗装 (A種) 既設ラワン板の上 下地調整 (RC種) CL塗装 (B種)
	壁	シナベニヤ t=6 目スカシ貼り SOP ラワン t=12 板貼り CL 上部壁ダイロートン (リブ柄) t=12 貼り		既設シナベニヤ t=5.5 目スカシ貼り の上 下地調整 (RC種) SOP塗装 (A種) 既設ラワン板の上 下地調整 (RC種) CL塗装 (B種) 既設梁型モルタル下地調整 (RC種) 合成樹脂エマルジョンペイント (EP) 塗装 (B種) 既設上部壁ダイロートン部下地調整 (RC種) 合成樹脂エマルジョンペイント (EP) 塗装 (B種)
	天井	ジブトーン t=9 (不燃第1013) 貼り		存置



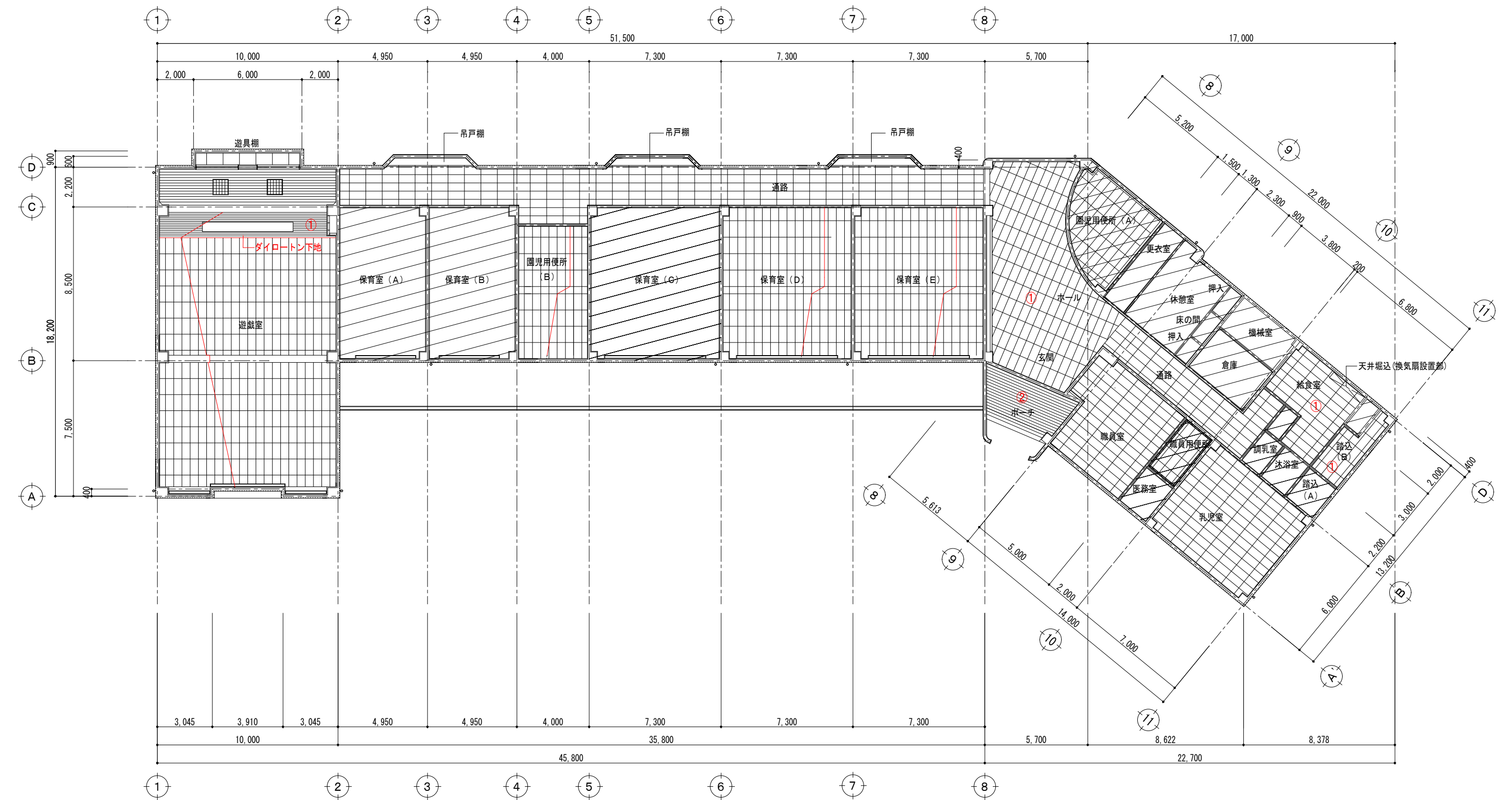
断面図 (2) 1/50

内部改修仕上表				
室 名	部 位	既設仕上表		改修仕上表
保育室 (E)	床	パルフロアーパーケット t=15		既設床板解体撤去 一部転ばし床組改修 (改修範囲調査) 全面合板カラーフローア t=15 貼り
	巾木	ラワン H=80 SOP		既設巾木 H=80 塗装改修下地調整 (RC種) SOP塗装 (A種)
	腰	シナベニヤ t=5.5 目スカシ貼り SOP		既設シナベニヤ t=5.5 目スカシ貼りの上 下地調整 (RC種) SOP塗装 (A種) (ロッカー) 下地調整 (RC種) CL塗装 (B種)
	壁	シナベニヤ t=5.5 目スカシ貼り SOP		既設シナベニヤ t=5.5 目スカシ貼りの上 下地調整 (RC種) SOP塗装 (A種) (掲示板) 掲示板用クロス貼替え
	天井	ジブトーン t=9 (不燃第1013) 貼り		存置

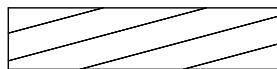


断面図 (3) 1/50

内部改修仕上表			
室 名	部 位	既設仕上表	改修仕上表
乳 児 室	床	パルフロアパーケット t=15	既設床板解体撤去 一部転ばし床組改修 (改修範囲調査) アンダーレイシート t=3.0 敷き クッションフロアー t=2.3 貼り (既設撤去)
	巾木	ラワン H=80 SOP	既設巾木 H=80 塗装改修下地調整 (RC種) SOP塗装 (A種)
	腰	シナベニヤ t=5.5 目スカシ貼り SOP	既設シナベニヤ t=5.5 目スカシ貼り の上 下地調整 (RC種) SOP塗装 (A種)
	壁	シナベニヤ t=5.5 目スカシ貼り SOP	既設シナベニヤ t=5.5 目スカシ貼り の上 下地調整 (RC種) SOP塗装 (A種)
	天井	ジブトーン t=9 (不燃第1013) 貼り	存置

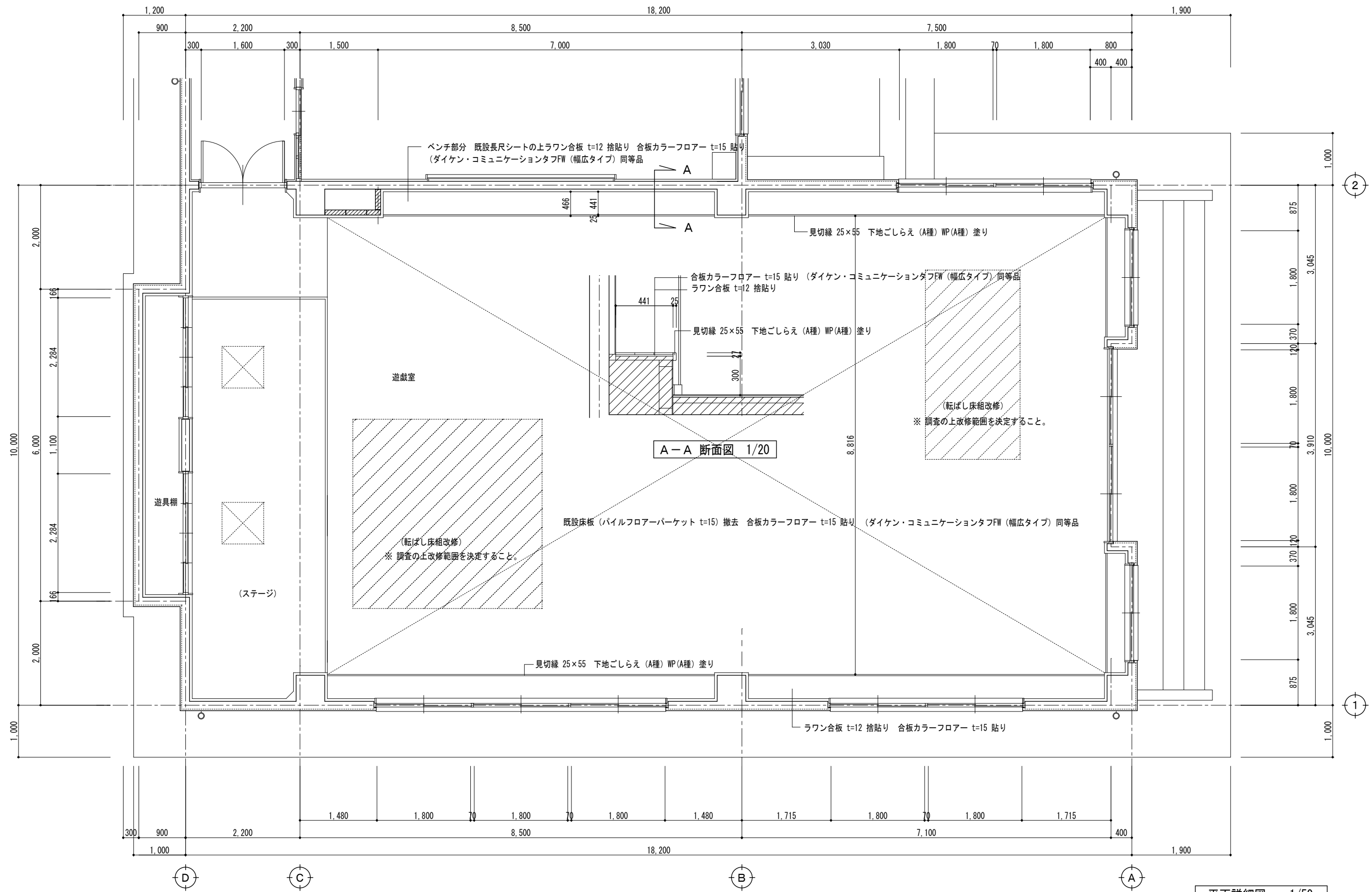


天井伏図 1/150



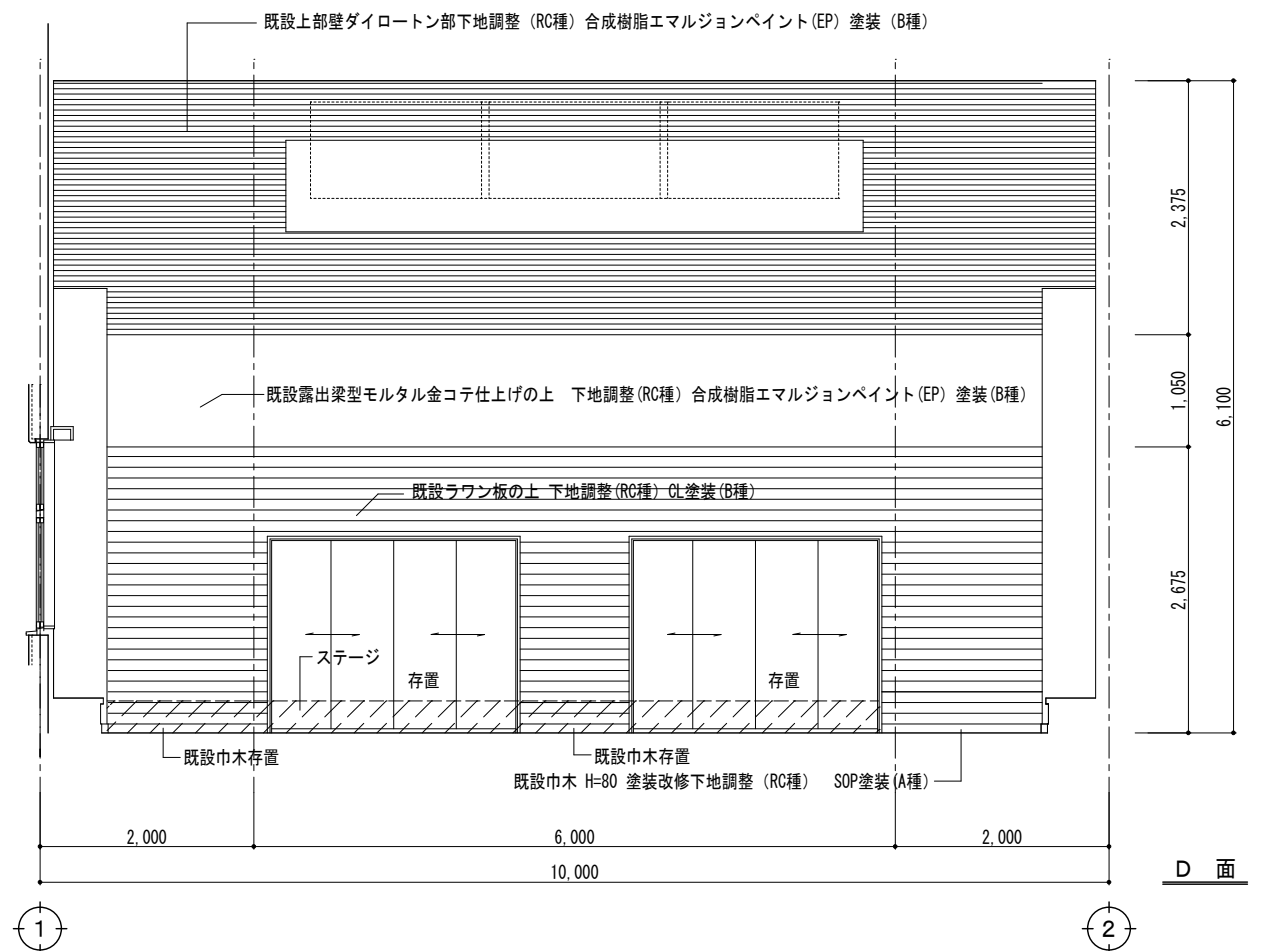
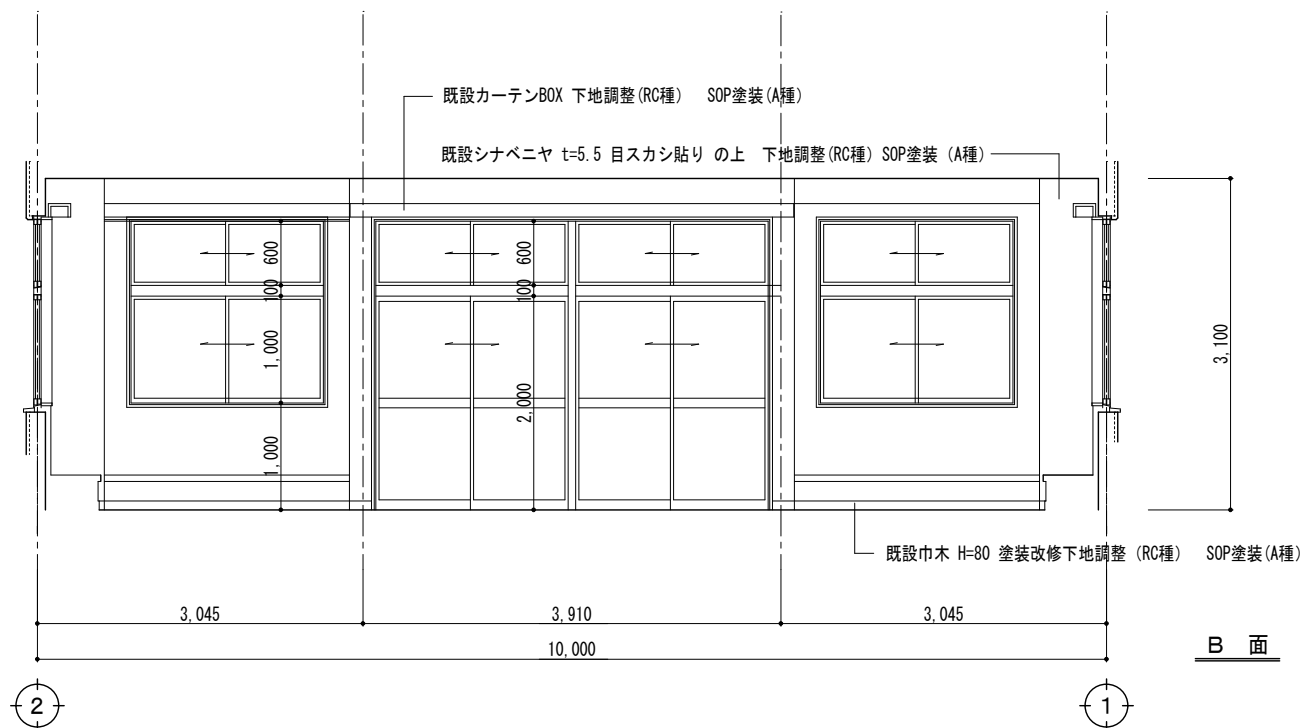
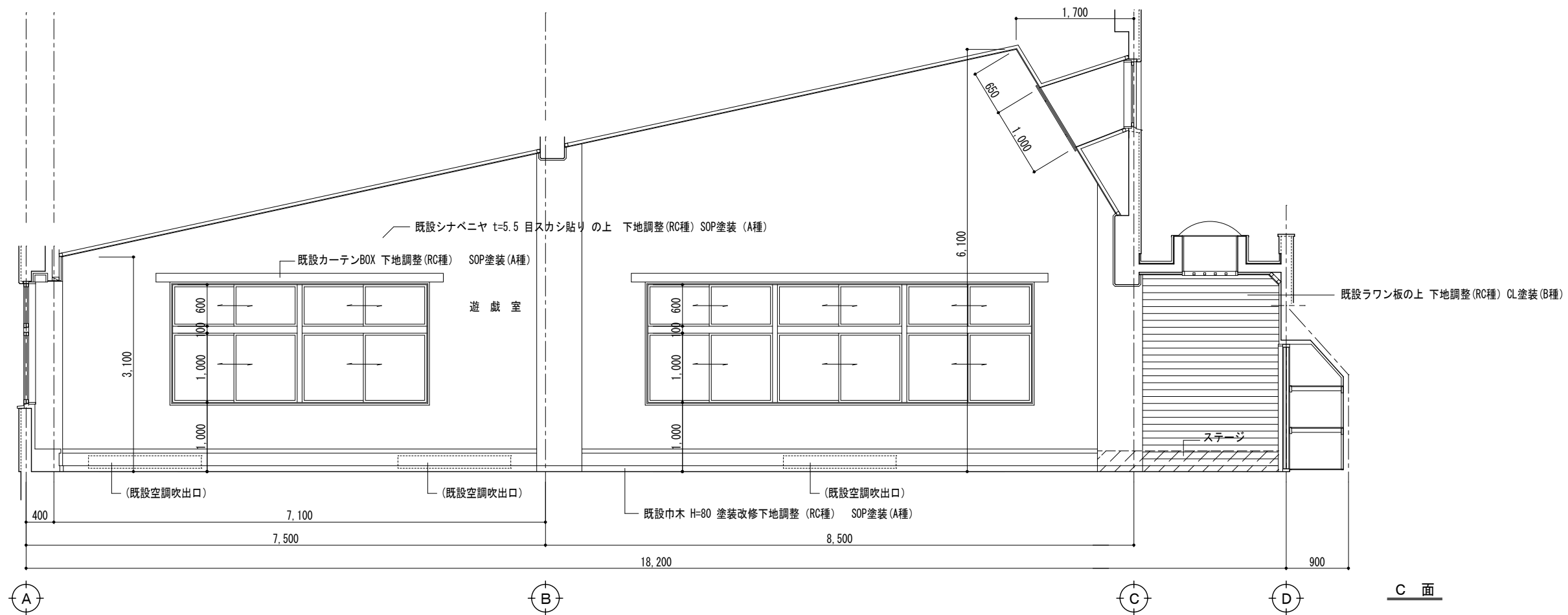
(建築・電気設備・機械設備) 改修工事範囲外部分

番号	既設天井仕上げ	改修内容
①	ジプトーン t=9 (455×910) 貼り	既設ジプトーン t=9 の上 下地調整(RC種) 合成樹脂エマルジョンペイント (EP) 塗装(B種)
②	ラワン板 t=12 貼り C L	既設ラワン t=12 板貼りの上 下地調整(RC種) WP (キシラデコール) 塗装(B種)

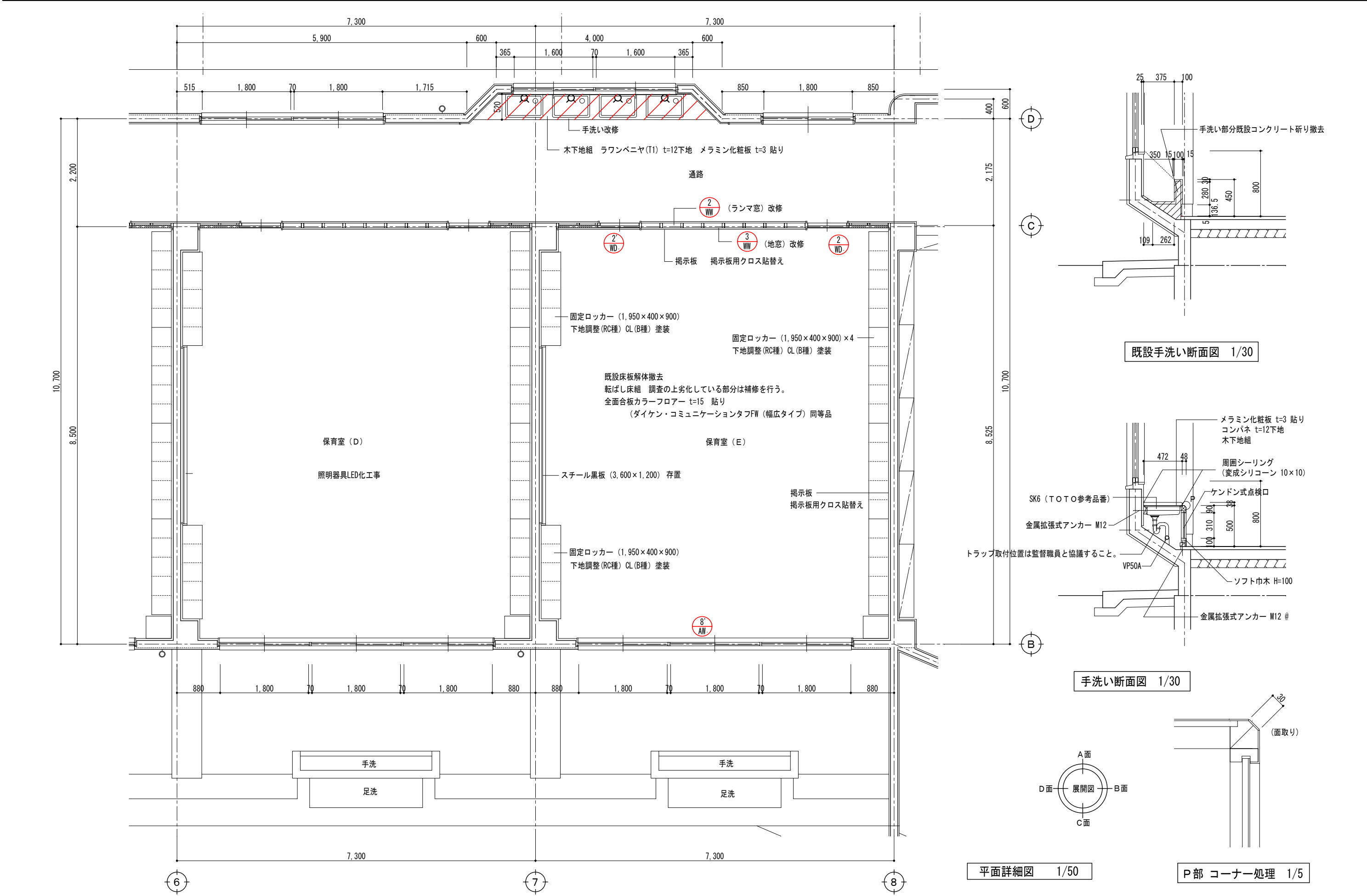


平面詳細図 1/50

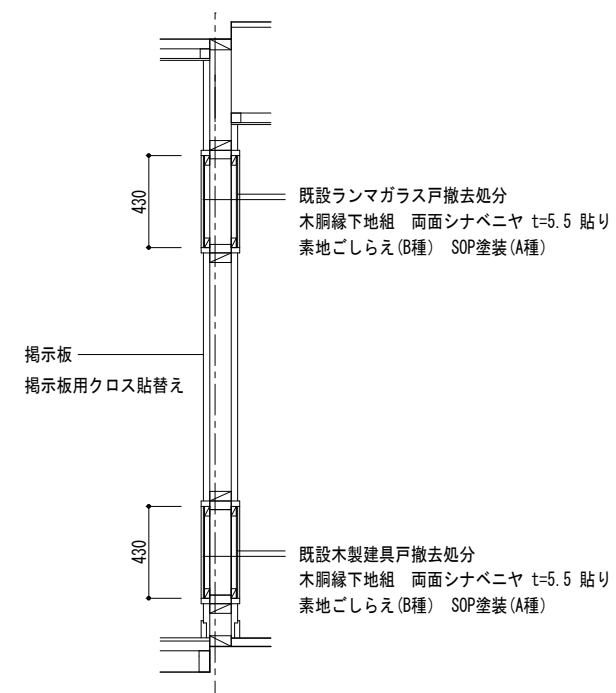
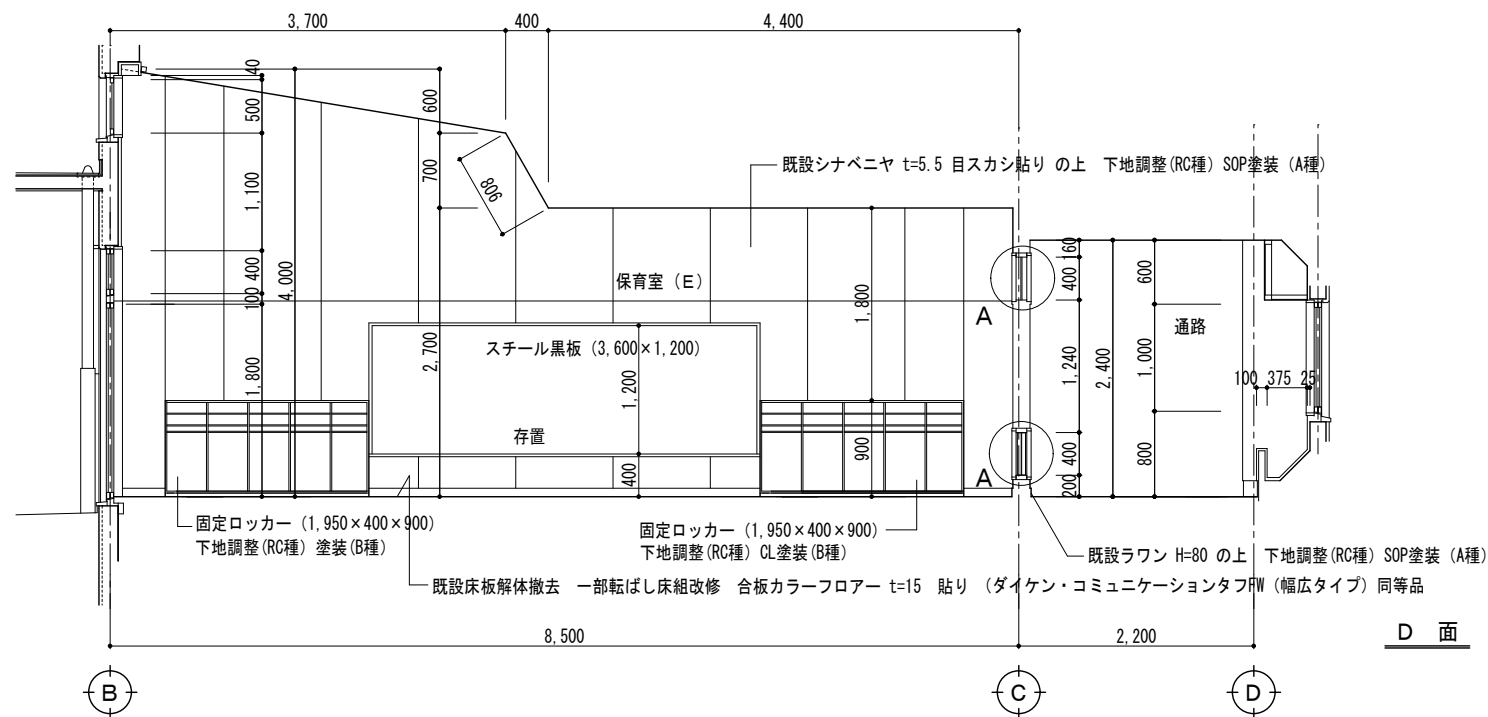
【特記事項】	西 沢 建 築 設 計 事 務 所 一 級 建 築 士 No. 117422 西 沢 雅 彦	令和４年度 安乗保育所改修工事	遊戯室 平面詳細図	A2 : 1/50 A3 : 1/70	A — 23



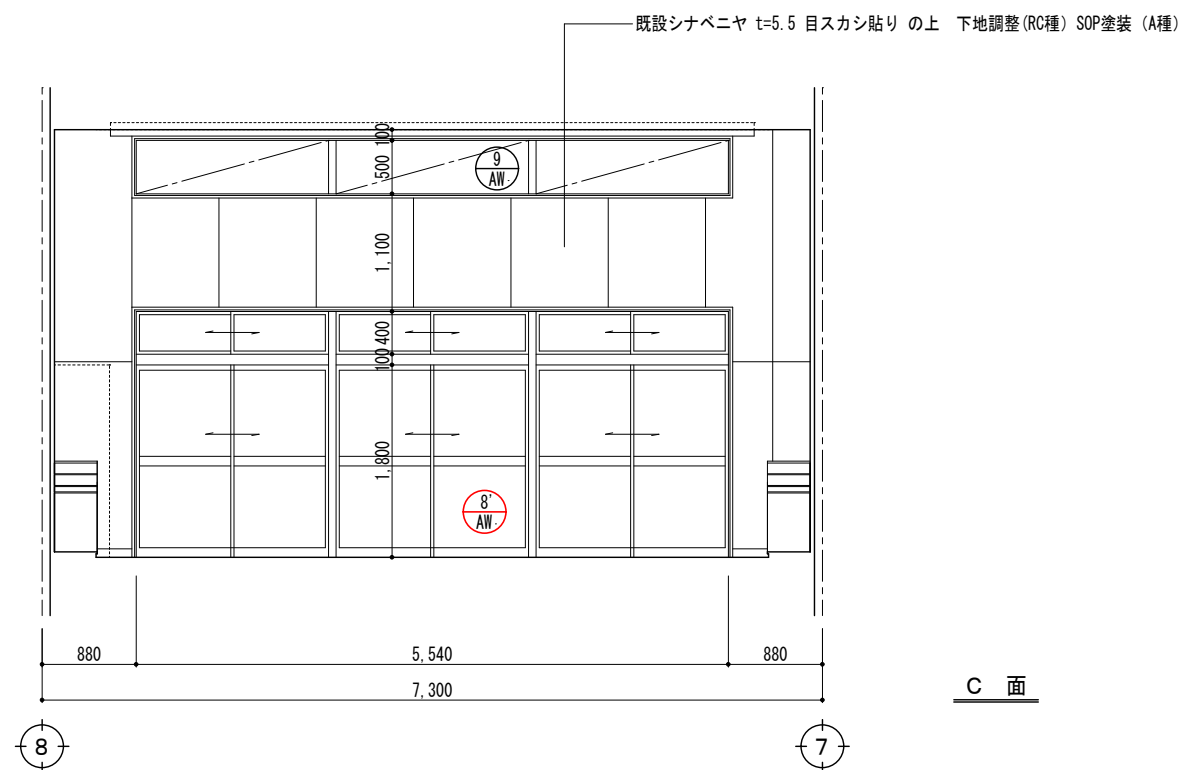
【特記事項】	西 沢 建 築 設 計 事 務 所 一 級 建 築 士 No. 117422 西 沢 雅 彦		令 和 4 年 度 安 乗 保 育 所 改 修 工 事	遊戯室 展開図	A2 : 1/50 A3 : 1/70	A — 24



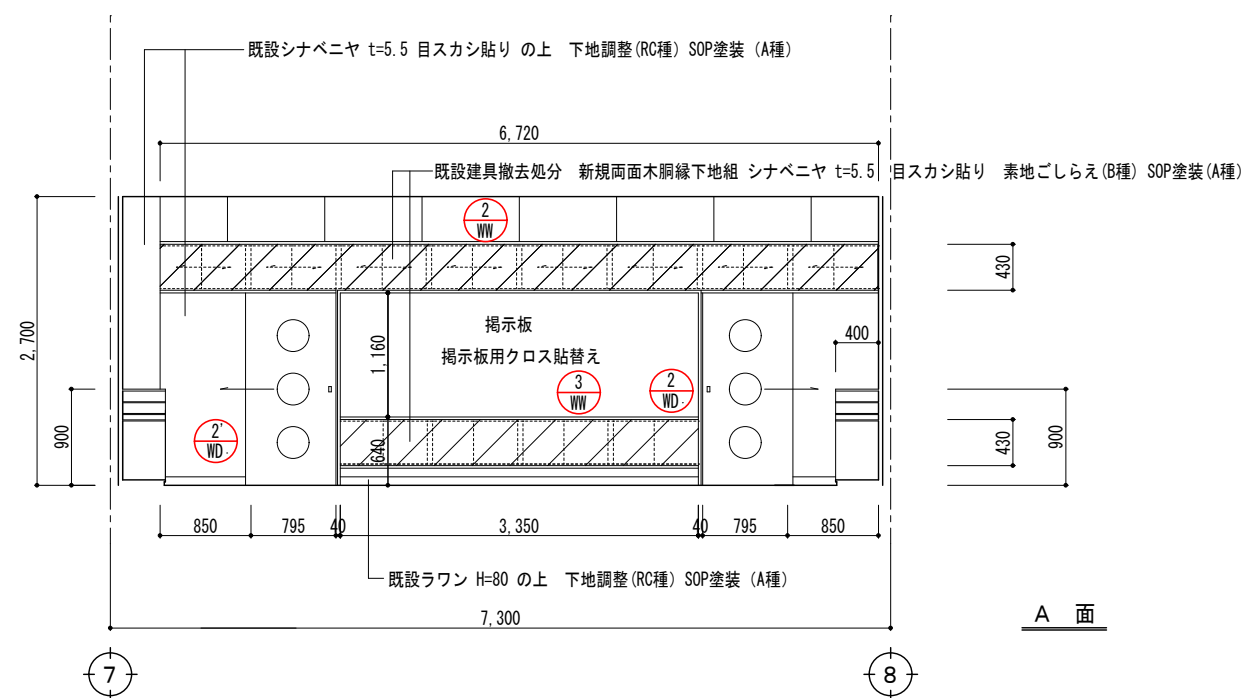
【特記事項】	西 沢 建 築 設 計 事 務 所 一 級 建 築 士 No. 117422 西 沢 雅 彦	令和４年度 安乗保育所改修工事	保育室(D)(E) 平面詳細図		A2 : 1/50 A3 : 1/70	A — 25
			手洗い断面図		A2 : 1/30 A3 : 1/42	



A部 改修図 1/25

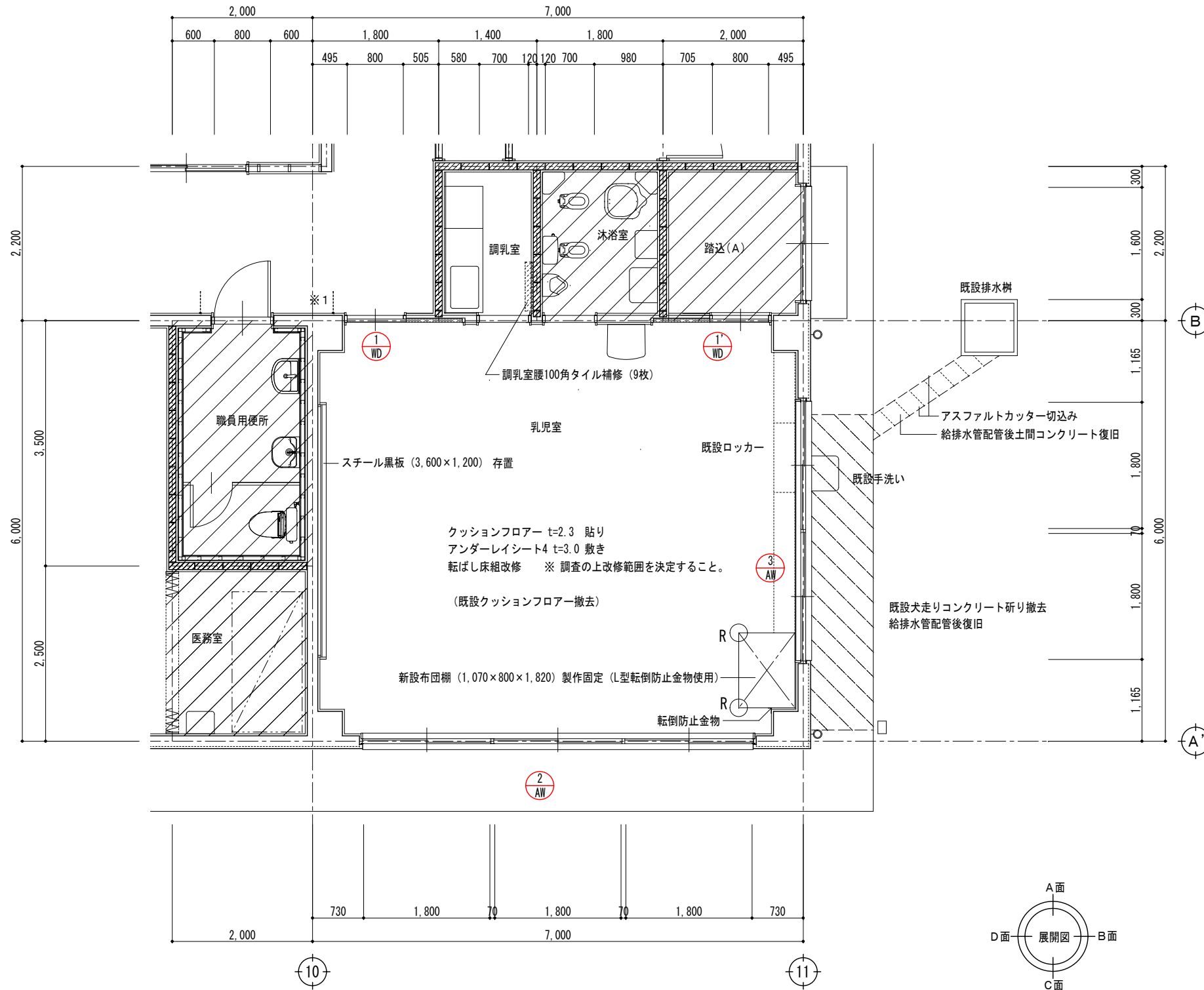


C面



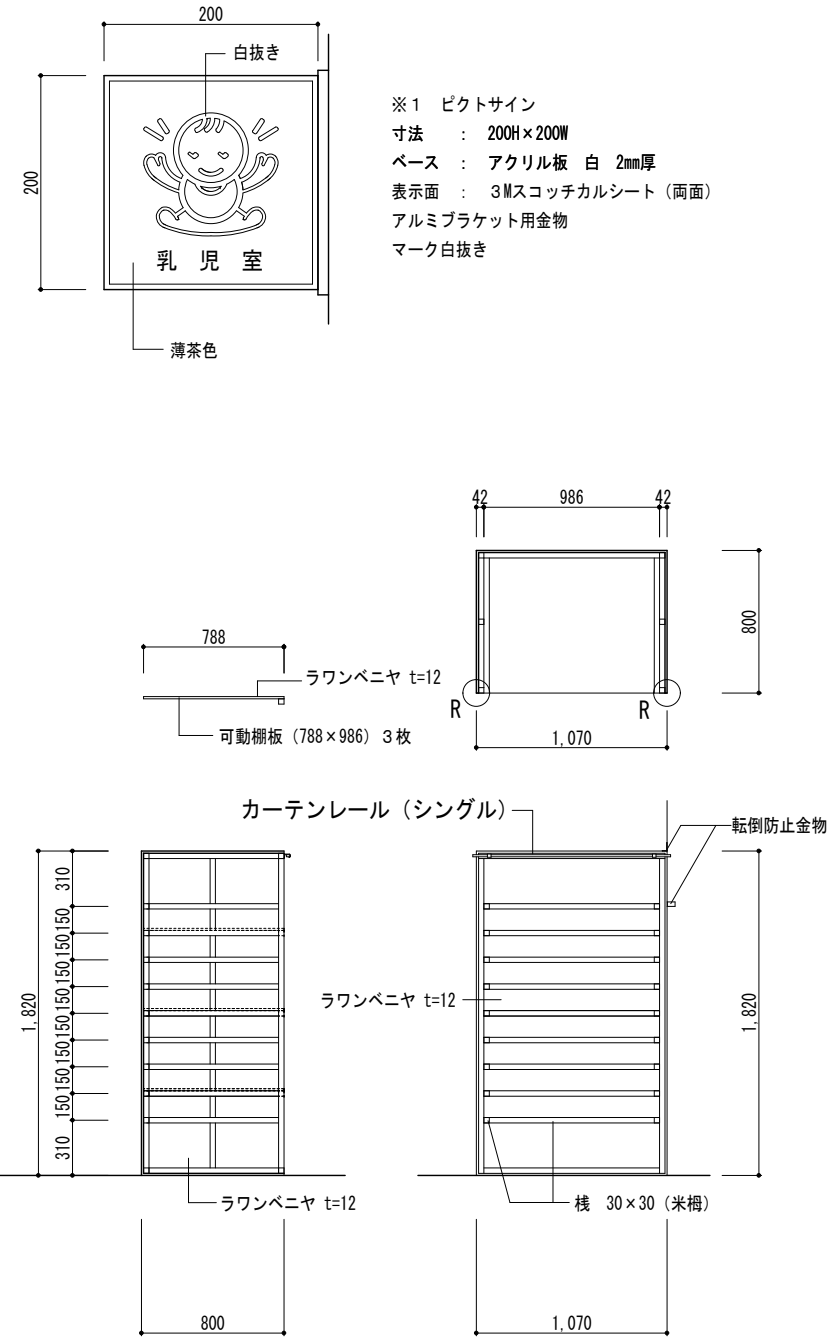
A面

【特記事項】	西 沢 建 築 設 計 事 務 所 一 級 建 築 士 No. 117422 西 沢 雅 彦		令和４年度 安乗保育所改修工事	保育室(E) 展開図	A2 : 1/50 A3 : 1/70	A — 26



平面詳細図 1/50

改修工事範囲外



新設布団棚 (1,070×800×1,820) 詳細図 1/30

- ※ 棚内外及び可動棚板にはOSCL塗装を施す。
- ※ 幅の1,070 は現場採寸し、既設ロッカーを含め、柱間に隙間なく納めること。
- R○※ コーナークッション材取付け

3,000

1,800

1,200

既存シナベニヤ t=5.5 目スカシ貼り

下地調整 (RC種) SOP塗装 (A種)

1,800

1,400

1,800

2,000

600

1,200

100

600

500

3,000

WD

WD

A 面

既設シナベニヤ $t=5.5$ 目スキャン貼り の上 下地調整 (RC種) SOP塗装 (A種)

既設カーテンBOX 下地調整 (RC種) SOP塗装 (A種)

既設巾木 H-80 下地調整 (RC種) SOP塗装 (A種)

2 AW

7,000

3,000

1,400

1,200

400

600

1,200

100

600

500

C 面

Technical drawing of a storage cabinet (D面) showing dimensions and components.

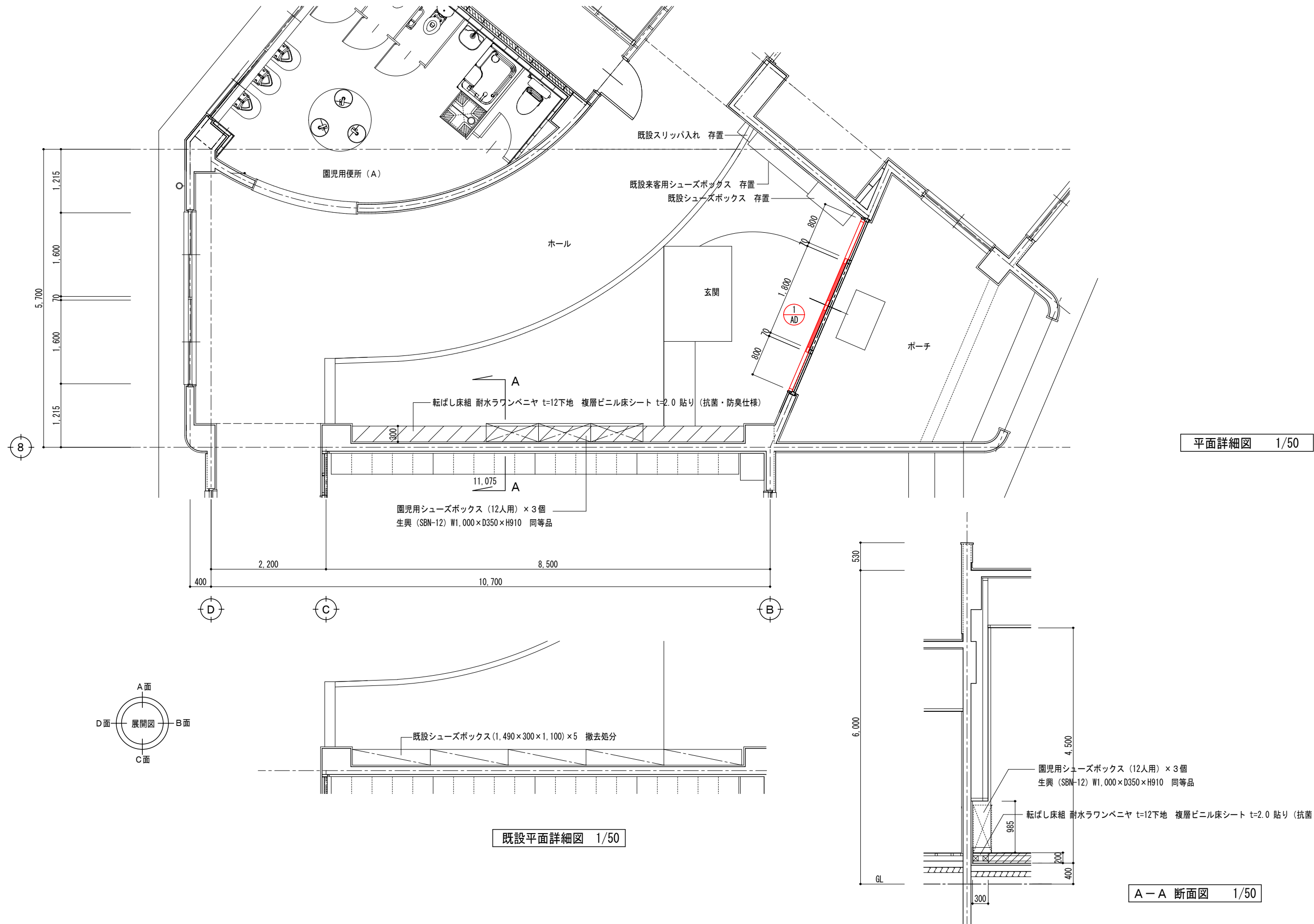
Dimensions (mm):

- Overall width: 6,000
- Overall height: 3,000
- Top section height: 1,200
- Bottom section height: 1,800
- Left side panel height segments: 600, 1,200, 100, 600, 500

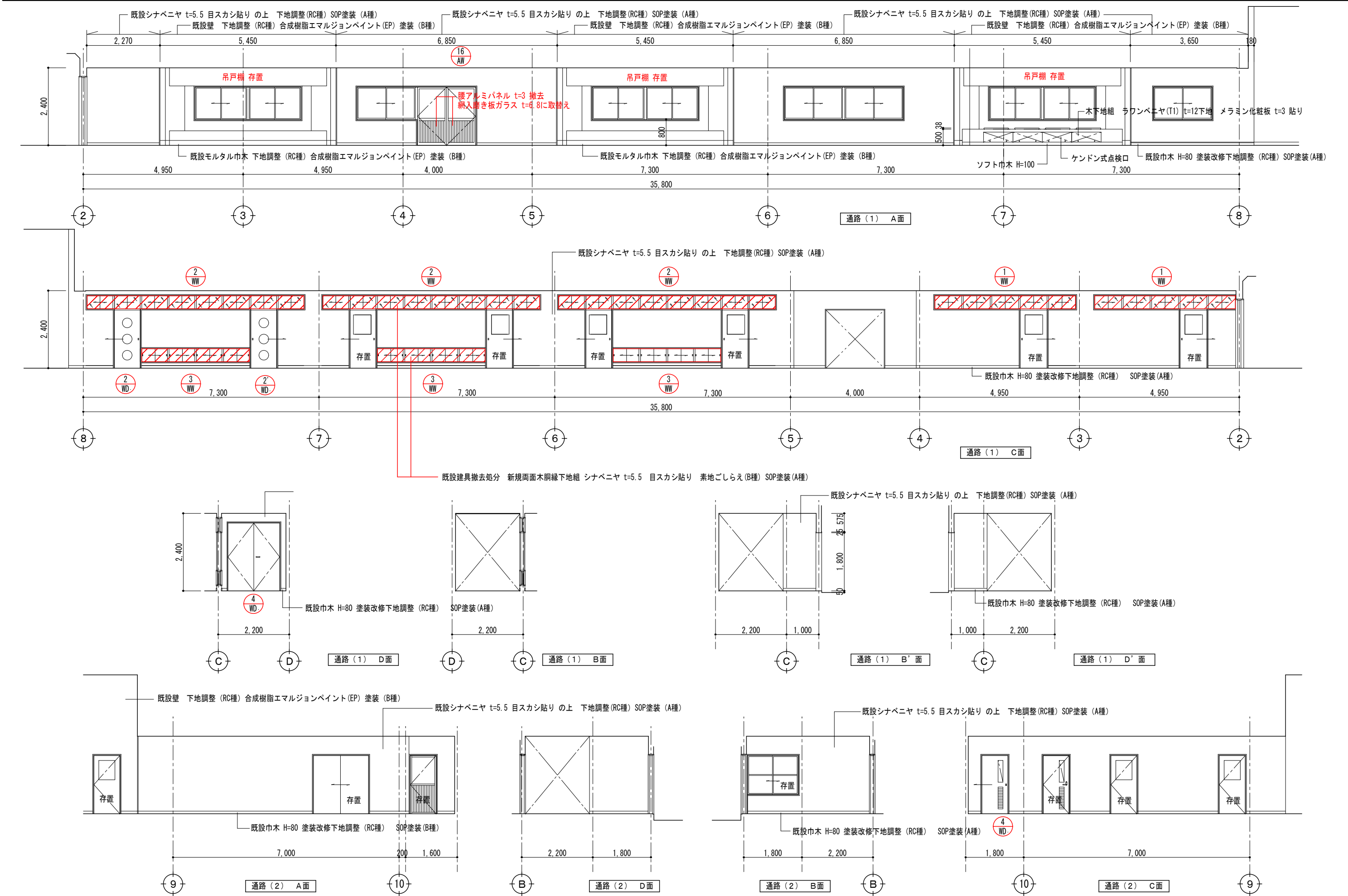
Components and Labels:

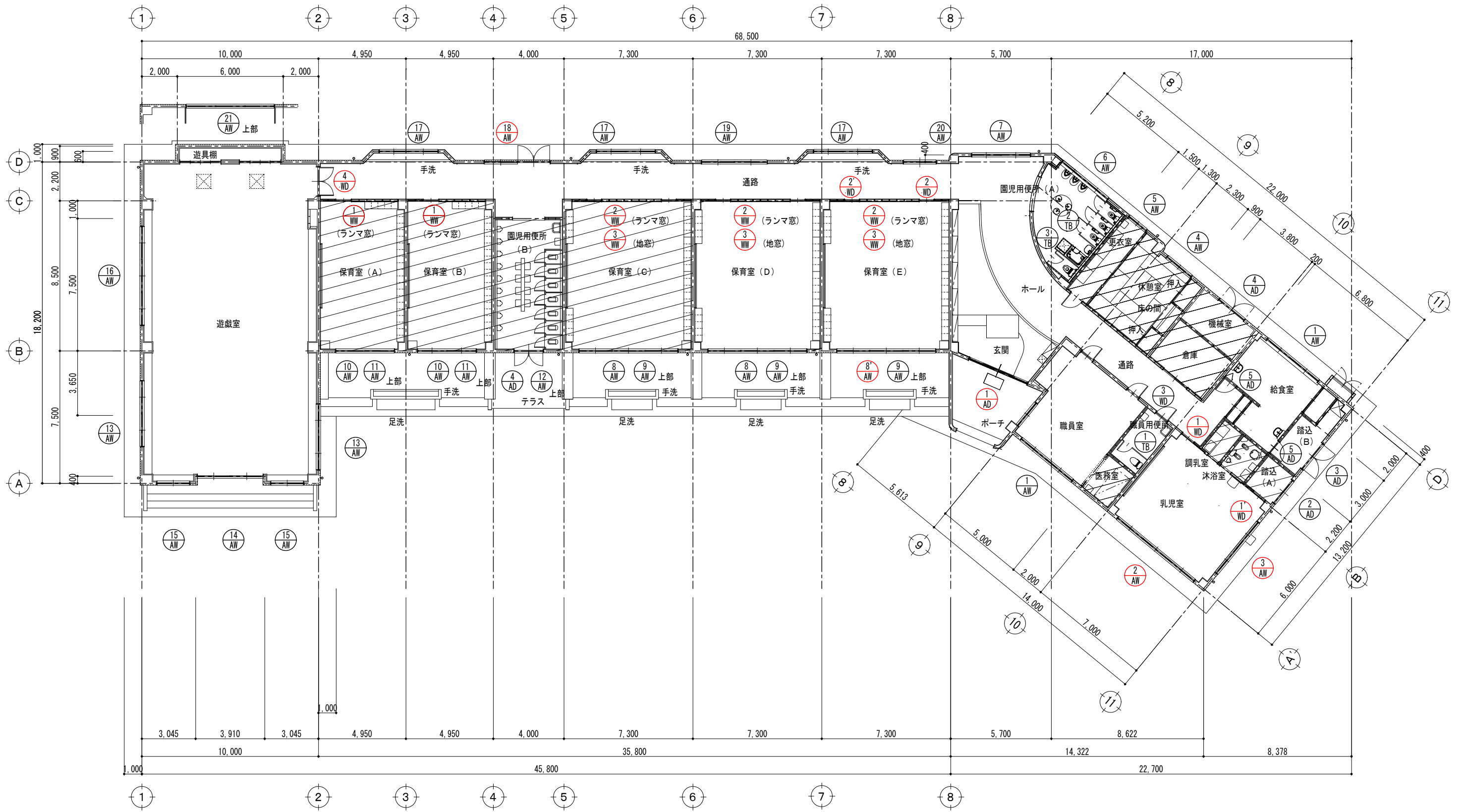
- Top section: 既設シナベニヤ t=5.5 目スカン貼りの上 下地調整 (RC種) SOP塗装 (A種)
- Central storage area: スチール黒板 (3,600×1,200) 存置
- Bottom section: 既設巾木 H=80 下地調整 (RC種) SOP塗装 (A種)

A — 28

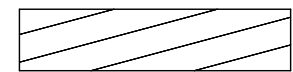


【特記事項】	西 沢 建 築 設 計 事 務 所 一 級 建 築 士 No. 117422 西 沢 雅 彦	令 和 4 年 度 安 乗 保 育 所 改 修 工 事	玄関ホール 平面詳細図	A2 : 1/150 A3 : 1/211	A — 30





建具指示図 1/150



改修工事範囲外

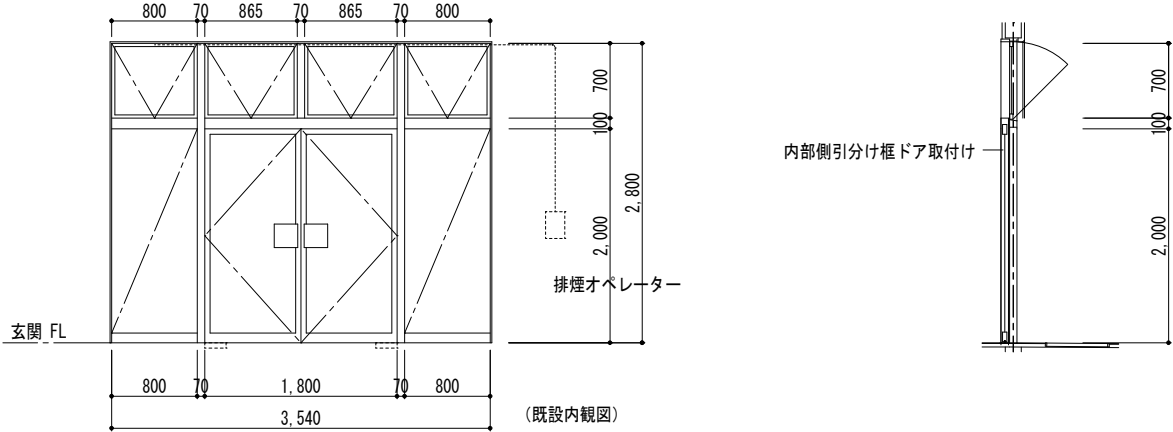
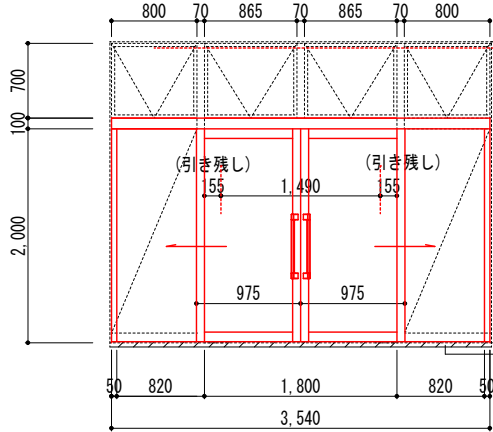
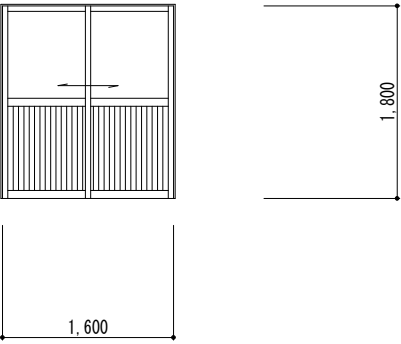
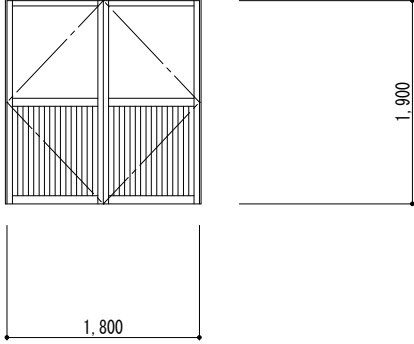
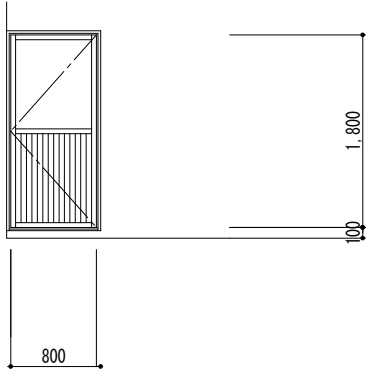
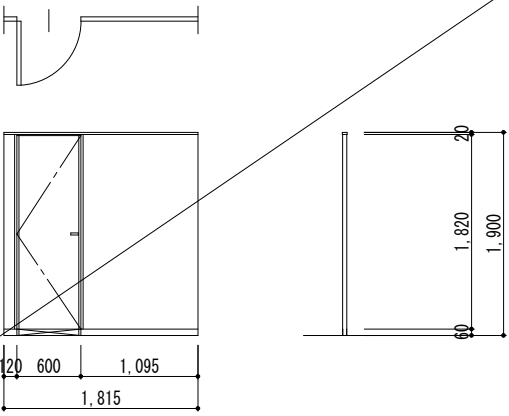
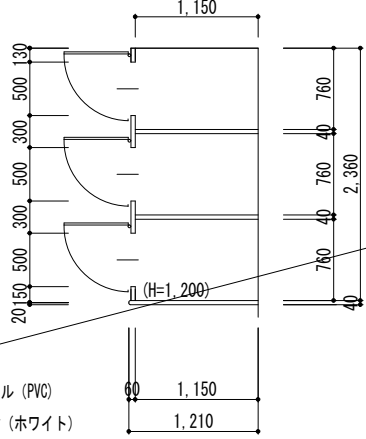
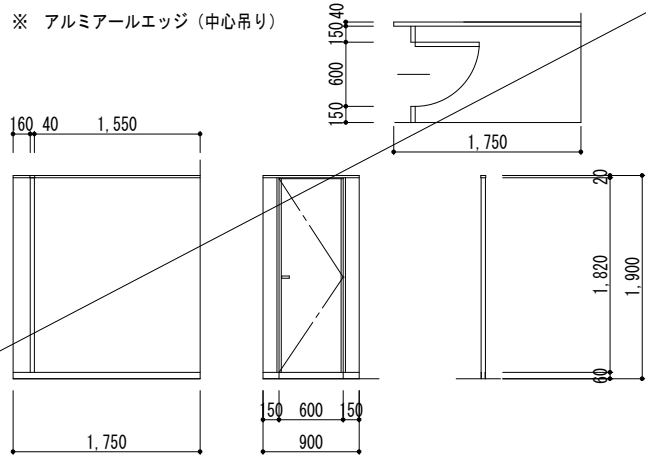


改修建具を示す

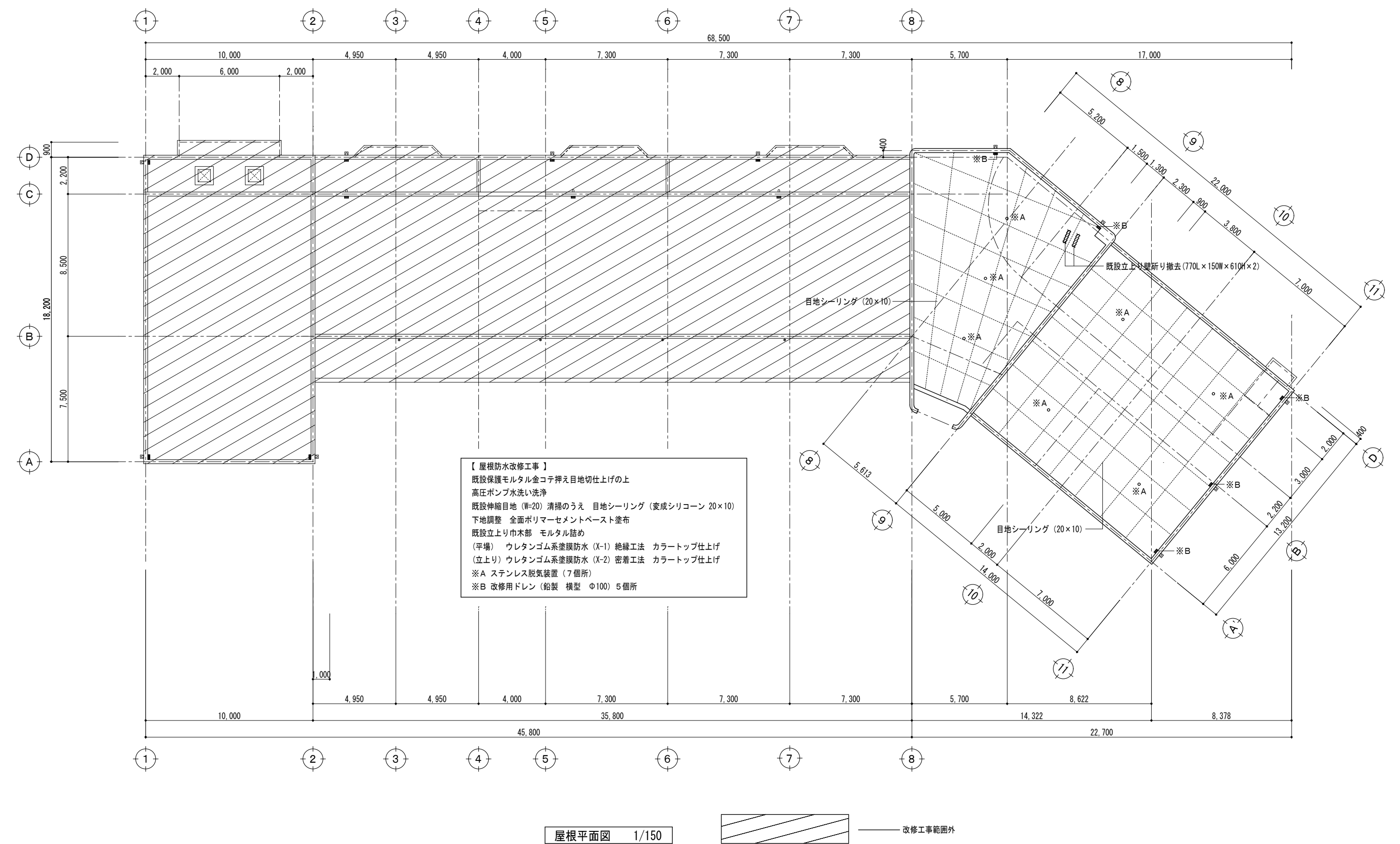
【特記事項】	西 沢 建 築 設 計 事 務 所 一 級 建 築 士 No. 117422 西 沢 雅 彦	令和 4 年 度 安 乗 保 育 所 改 修 工 事	建具指示図	A2 : 1/150 A3 : 1/211	A — 33

記 号	① AW	※ 片面ガラスシーリングを施す。(既設外部側片面ガラスビード撤去) ※ 飛散防止ガラスフィルム貼り	② AW	※ 既設サッシAW-2の外枠のみ残し、解体撤去 ※ 既設サッシをカバー工法にて改修 ※ ガラスシーリングを施す。 ※ 飛散防止ガラスフィルム貼り	③ AW	※ 既設サッシAW-3の外枠のみ残し、解体撤去 ※ 既設サッシをカバー工法にて改修 ※ ガラスシーリングを施す。 ※ 飛散防止ガラスフィルム貼り
場 所	職員室 給食室		乳児室		乳児室	
型 式	2連2段引違い窓		3連2段引違い窓		2連2段引違い窓	
内 法	3,670×1,700		5,540×1,900		3,670×1,900	
数 量	2		1		1	
見 込	70		70		70	
付属金物	クレセント		クレセント		クレセント	
硝 子	フロート t=5		強化ガラス t=4		強化ガラス t=4	
材 質	アルミ		アルミ		アルミ	
塗 装						
備 考			網戸(サランネット)		網戸(サランネット)	
記 号	④ AW	※ 片面ガラスシーリングを施す。(既設外部側片面ガラスビード撤去) ※ 飛散防止ガラスフィルム貼り	⑤ AW	※ 片面ガラスシーリングを施す。(既設外部側片面ガラスビード撤去) ※ 飛散防止ガラスフィルム貼り	⑥ AW	※ 片面ガラスシーリングを施す。(既設外部側片面ガラスビード撤去) ※ 飛散防止ガラスフィルム貼り
場 所	休憩室		更衣室		園児用便所 (A)	
型 式	引違い扉		引違い窓		2連2段引違い窓	
内 法	1,700×1,500		1,200×1,000		3,270×1,400	
数 量	1		1		1	
見 込	70		70		70	
付属金物	クレセント		クレセント		クレセント	
硝 子	フロート t=5		フロート t=5		フロート t=5	
材 質	アルミ		アルミ		アルミ	
塗 装						
備 考						
記 号	⑦ AW	※ 片面ガラスシーリングを施す。(既設外部側片面ガラスビード撤去) ※ 飛散防止ガラスフィルム貼り	⑧ AW	※ 片面ガラスシーリングを施す。(既設外部側片面ガラスビード撤去) ※ 飛散防止ガラスフィルム貼り	⑧' AW	※ 既設サッシAW-8の外枠三方のみ残し、解体撤去(下枠折り撤去) ※ 既設サッシをカバー工法にて改修 ※ ガラスシーリングを施す。 ※ 飛散防止ガラスフィルム貼り
場 所	ホール		保育室(C)(D)		保育室(E)	
型 式	2連2段ランマFIX窓付引違い窓		3連2段引違い窓		3連2段引違い窓	
内 法	3,270×2,100		5,540×2,300		5,540×2,300	
数 量	1		AW-8 2		AW-8' 1	
見 込	70		70		70	
付属金物	クレセント		クレセント 下枠ステンレスレール		クレセント 下枠ステンレスレール	
硝 子	フロート t=5		フロート t=5		強化ガラス t=4	
材 質	アルミ		アルミ		アルミ	
塗 装						
備 考					網戸(サランネット)	
記 号	⑨ AW	※ 片面ガラスシーリングを施す。(既設外部側片面ガラスビード撤去) ※ 飛散防止ガラスフィルム貼り	⑩ AW	※ 片面ガラスシーリングを施す。(既設外部側片面ガラスビード撤去) ※ 飛散防止ガラスフィルム貼り	⑪ AW	※ 片面ガラスシーリングを施す。(既設外部側片面ガラスビード撤去) ※ 飛散防止ガラスフィルム貼り
場 所	保育室(C)(D)(E)		保育室(A)(B)		保育室(A)(B)	
型 式	3連FIX窓		2連2段引違い窓		2連FIX窓	
内 法	5,540×500		3,270×2,300		3,270×500	
数 量	3		2		3	
見 込	70		70		70	
付属金物			クレセント			
硝 子	フロート t=5		フロート t=5		フロート t=5	
材 質	アルミ		アルミ		アルミ	
塗 装						
備 考						

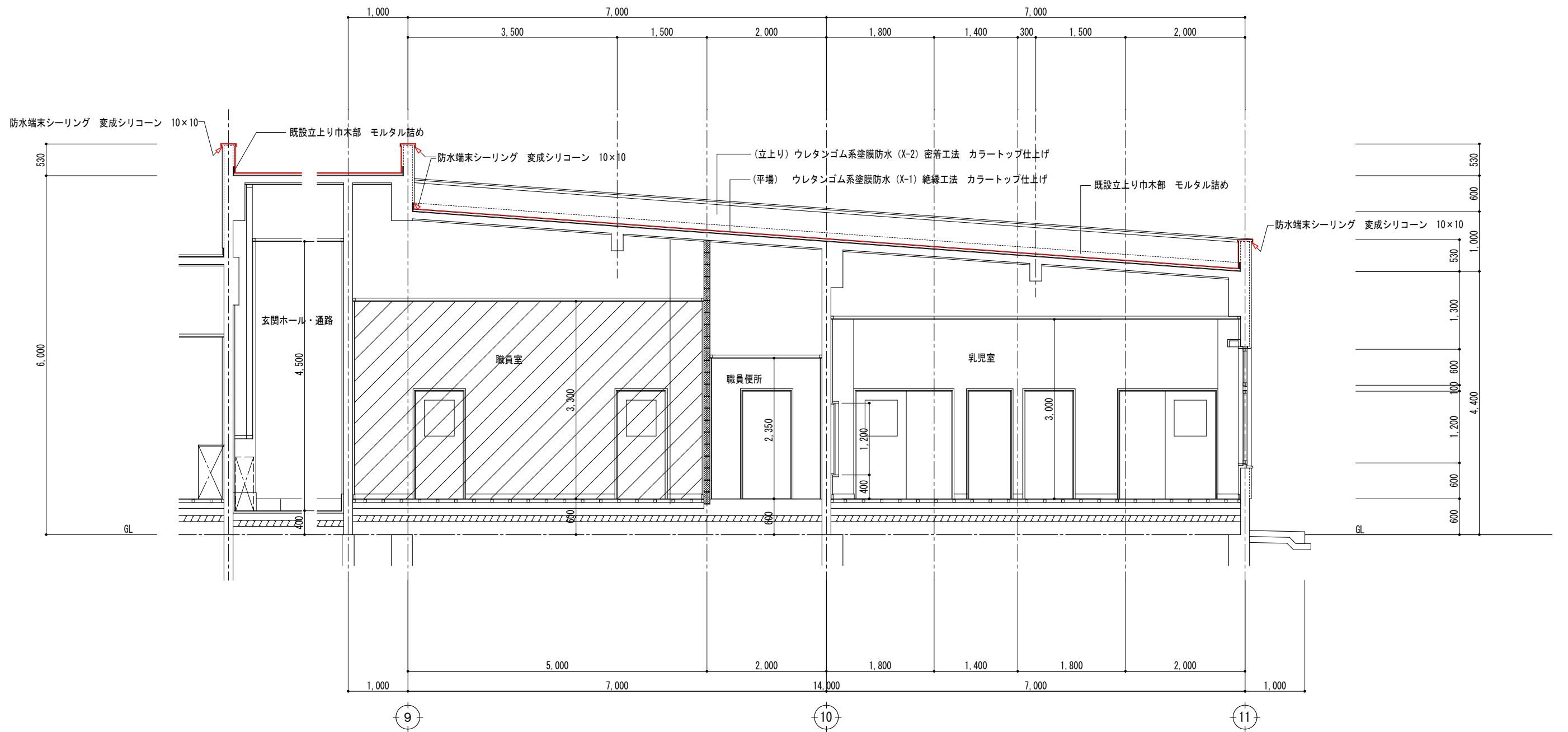
記 号	12 AW	※ 片面ガラスシーリングを施す。(既設外部側片面ガラスビード撤去) ※ 飛散防止ガラスフィルム貼り	13 AW	※ 片面ガラスシーリングを施す。(既設外部側片面ガラスビード撤去) ※ 飛散防止ガラスフィルム貼り	14 AW	※ 片面ガラスシーリングを施す。(既設外部側片面ガラスビード撤去) ※ 飛散防止ガラスフィルム貼り
場 所	幼児用便所 (B)		遊戯室		遊戯室	
型 式	FIX窓		2連2段引違い窓		2連2段引違い窓	
内 法	1,600×500		3,670×1,700		3,670×1,700	
数 量	1		2		1	
見 込	70		70		70	
付属金物			クレセント		クレセント	
硝 子	フロート t=5		フロート t=5		フロート t=5	
材 質	アルミ		アルミ		アルミ	
塗 装						
備 考						
記 号	15 AW	※ 片面ガラスシーリングを施す。(既設外部側片面ガラスビード撤去) ※ 飛散防止ガラスフィルム貼り	16 AW	※ 片面ガラスシーリングを施す。(既設外部側片面ガラスビード撤去) ※ 飛散防止ガラスフィルム貼り	17 AW	※ 片面ガラスシーリングを施す。(既設外部側片面ガラスビード撤去) ※ 飛散防止ガラスフィルム貼り
場 所	遊戯室		遊戯室		通路手洗前	
型 式	2連2段引違い窓		3連2段引違い窓		2連引違い窓	
内 法	3,670×1,700		5,540×1,700		3,270×1,000	
数 量	2		1		3	
見 込	70		70		70	
付属金物	クレセント		クレセント		クレセント	
硝 子	フロート t=5		フロート t=5		フロート t=5	
材 質	アルミ		アルミ		アルミ	
塗 装						
備 考						
記 号	18 AW	※ 片面ガラスシーリングを施す。(既設外部側片面ガラスビード撤去) ※ 飛散防止ガラスフィルム貼り	19 AW	※ 片面ガラスシーリングを施す。(既設外部側片面ガラスビード撤去) ※ 飛散防止ガラスフィルム貼り	20 AW	※ 片面ガラスシーリングを施す。(既設外部側片面ガラスビード撤去) ※ 飛散防止ガラスフィルム貼り
場 所	通路		通路		通路	
型 式	2連引違い窓付両開き扉		2連引違い窓		引違い窓	
内 法	3,670×1,000 (1,800)		3,670×1,000		1,800×1,000	
数 量	1		1		1	
見 込	70		70		70	
付属金物	クレセント 握り玉付シリンダー錠		クレセント		クレセント	
硝 子	フロート t=5		フロート t=5		フロート t=5	
材 質	アルミ		アルミ		アルミ	
塗 装						
備 考	腰パネル					
記 号	21 AW	※ 片面ガラスシーリングを施す。(既設外部側片面ガラスビード撤去) ※ 飛散防止ガラスフィルム貼り	○		○	
場 所	遊戯室上部					
型 式	3連FIX窓					
内 法	4,940×800					
数 量	1					
見 込	70					
付属金物						
硝 子	フロート t=5					
材 質	アルミ					
塗 装						
備 考						

記 号	① AD					既設AD-1 両開き戸撤去、引分扉に改修 引手ハンドル：ユニオン・T2860-10-130・フロストシルバー 同等品 既設埋込型排煙操作ハンドルを新規露出操作ハンドルに改修 強化ガラス t=5 ガラスシーリング サッシカラー：シルバー サッシ廻りシーリング：変成シリコンシーリング 10×10 ガラス飛散防止フィルム貼り工事
場 所	玄関					既設埋込型排煙窓操作ハンドルを新規露出排煙操作ハンドルに更新
型 式	ランマ排煙窓、袖FIX付 両開き扉					埋込みレール部分カッター切込み溝新し 新規防水モルタル詰め
内 法	3,540×2,800					
数 量	1					
見 込	70					
付属金物	クレセント					
硝 子	強化ガラス t=5					
材 質	アルミ					
塗 装						
備 考						
記 号	② AD	※ 片面ガラスシーリングを施す。(既設外部側片面ガラスビード撤去) ※ 飛散防止ガラスフィルム貼り		※ 片面ガラスシーリングを施す。(既設外部側片面ガラスビード撤去) ※ 飛散防止ガラスフィルム貼り		※ 飛散防止ガラスフィルム貼り
場 所	踏込 (A)					
型 式	引違い扉					
内 法	1,600×1,800					
数 量	1					
見 込	70					
付属金物						
硝 子	フロート t=5					
材 質	アルミ					
塗 装						
備 考	腰パネル					
記 号	① TB	※ アルミアールエッジ (中心吊り)		※ 幼児用ブース		
場 所	職員便所					
型 式	トイレブース					
内 法	1,815×1,900×1					
数 量	1					
見 込	40					
付属金物	壁面レール ステンレス頭つなぎ ステンレス巾木 戸当り 表示錠					
硝 子						
材 質	ポリエステル樹脂化粧板 (下地：MDF)					
塗 装						
備 考						
記 号	③ TB	※ アルミアールエッジ (中心吊り)				
場 所	園児用便所 (A)					
型 式	トイレブース					
内 法						
数 量						
見 込						
付属金物	壁面レール ステンレス頭つなぎ ステンレス巾木 戸当り 表示錠					
硝 子						
材 質	ポリエステル樹脂化粧板 (下地：MDF)					
塗 装						
備 考						
記 号	④ AD					
場 所	機械室					
型 式	両開き扉					
内 法	1,800×1,800					
数 量	1					
見 込	70					
付属金物	丁番 フランス落し 握り玉付シリンダー錠					
硝 子						
材 質	アルミ					
塗 装	アルミガラリ					
備 考						

記 号	<div>1WD1WD</div>	<div>既設解体撤去</div> <div></div>	<div>2WD2WD</div>	<div>既設解体撤去</div> <div></div>	<div>3WD</div>	<div>職員便所</div> <div></div>
場 所	乳児室		保育室（E）			
型 式	片引きフラッシュドア		片引きフラッシュドア			片開きフラッシュドア
内 法	800×1,800		845×1,800			800×1,800
数 量	WD-1 1 WD-1' 1 (WD-1の逆勝手)		WD-2 1 WD-2' 1 (WD-2の逆勝手)			1
見 込	36		36			36
付属金物	ステンレスレール 戸車 船底引手		戸車 船底引手			丁番 ドアクローザー レバーハンドル (表示錠)
硝 子	強化ガラス t=4		強化ガラス t=4			型ガラス t=4
材 質	ポリエステル合板貼り		ポリエステル合板貼り			ポリエステル合板貼り
塗 装						
備 考	アルミガラリ					アルミガラリ
記 号	<div>⊖</div>		<div>⊖</div>		<div>⊖</div>	
場 所						
型 式						
内 法						
数 量						
見 込						
付属金物						
硝 子						
材 質						
塗 装						
備 考						
記 号	<div>1WW</div>	<div>※ ランマガラス戸撤去 壁に改修</div> <div></div>	<div>2WW3WW</div>	<div>※ ランマガラス戸及び地窓撤去 壁に改修</div> <div></div>		<div>6.740</div> <div></div>
場 所	保育室（A）（B）		保育室（C）（D）（E）			保育室及び通路両面 木胴縁下地シナベニヤ t=5.5目スカシ貼り SOP塗装（B種）
型 式						
内 法	4,380×425 2		6,740×425 3 3,330×430 3			
数 量	2		3			
見 込						
付属金物						
硝 子						
材 質						
塗 装						
備 考						
記 号	<div>⊖</div>		<div>⊖</div>		<div>⊖</div>	
場 所						
型 式						
内 法						
数 量						
見 込						
付属金物						
硝 子						
材 質						
塗 装						
備 考						



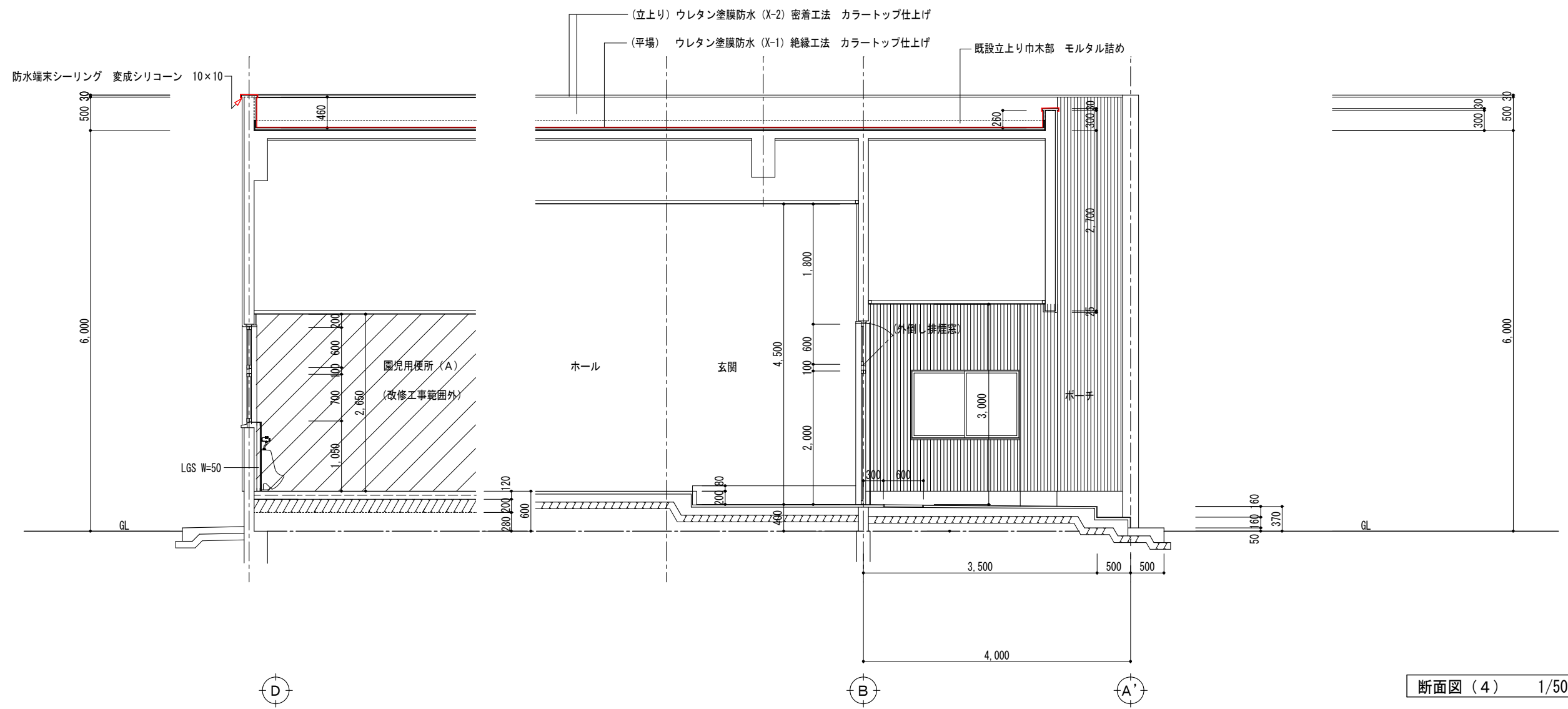
【特記事項】	西 沢 建 築 設 計 事 務 所 一 級 建 築 士 No. 117422 西 沢 雅 彦	令和4年度 安乗保育所改修工事	屋根防水改修工事 (1)	A2 : 1/150 A3 : 1/211	A — 38
			屋根平面図		



断面図 (3) 1/50

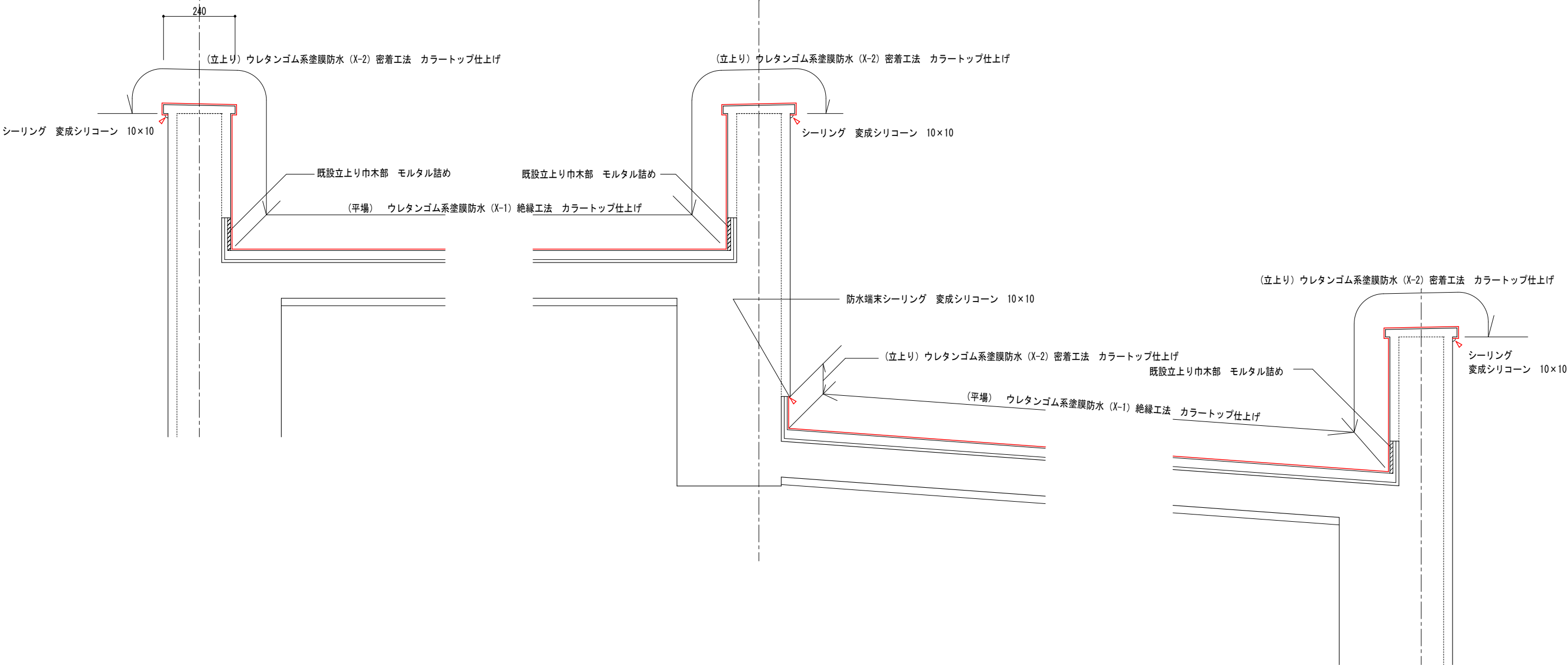
【屋根防水改修工事】
既設保護モルタル金コテ押え目地切仕上げの上
高圧ポンプ水洗い洗浄 (10~15MPa)
既設伸縮目地 (W=20) 清掃のうえ 目地シーリング (変成シリコン 20×10)
下地調整 全面ポリマーセメントペースト塗布
既設立上り巾木部 モルタル詰め
(平場) ウレタンゴム系塗膜防水 (X-1) 絶縁工法 カラートップ仕上げ
(立上り) ウレタンゴム系塗膜防水 (X-2) 密着工法 カラートップ仕上げ
※A ステンレス脱気装置 (7箇所)
※B 改修用ドレン (鉛製 横型 Φ100) 5箇所

【特記事項】	西 沢 建 築 設 計 事 務 所 一 級 建 築 士 No. 117422 西 沢 雅 彦	令和4年度 安乗保育所改修工事	屋根防水改修工事 (2)	A2 : 1/50 A3 : 1/70	A — 39
			断面図 (1)		



【屋根防水改修工事】
既設保護モルタル金コチ押え目地切仕上げの上
高圧ポンプ水洗い洗浄 (10~15MPa)
既設伸縮目地 (W=20) 清掃のうえ 目地シーリング (変成シリコーン 20×10)
下地調整 全面ポリマーセメントペースト塗布
既設立上り巾木部 モルタル詰め
(平場) ウレタンゴム系塗膜防水 (X-1) 絶縁工法 カラートップ仕上げ
(立上り) ウレタンゴム系塗膜防水 (X-2) 密着工法 カラートップ仕上げ
※A ステンレス脱気装置 (7箇所)
※B 改修用ドレン (鉛製 横型 Φ100) 5箇所

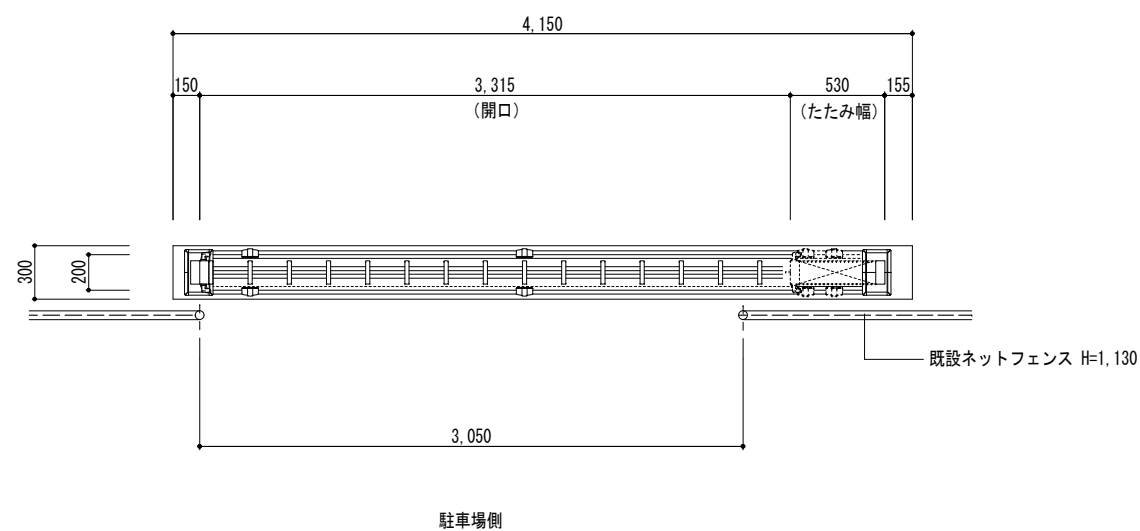
【特記事項】	西 沢 建 築 設 計 事 務 所 一 級 建 築 士 No. 117422 西 沢 雅 彦	令和 4 年 度 安 乗 保 育 所 改 修 工 事	屋根防水改修工事 (3)	A2 : 1/50 A3 : 1/70	A — 40
			断面図 (2)		



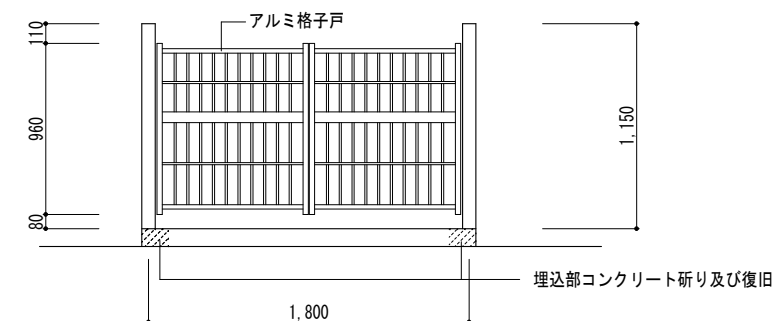
【 屋根防水改修工事 】
既設保護モルタル金コチ押え目地切仕上げの上
高圧ポンプ水洗い洗浄 (10~15MPa)
既設伸縮目地 (W=20) 清掃のうえ 目地シーリング (変成シリコーン 20×10)
下地調整 全面ポリマーセメントペースト塗布
既設立上り巾木部 モルタル詰め
(平場) ウレタンゴム系塗膜防水 (X-1) 絶縁工法 カラートップ仕上げ
(立上り) ウレタンゴム系塗膜防水 (X-2) 密着工法 カラートップ仕上げ
※A ステンレス脱気装置 (7箇所)
※B 改修用ドレン (鉛製 横型 Φ100) 5箇所

【特記事項】	西 沢 建 築 設 計 事 務 所		令和４年度 安乗保育所改修工事	屋根防水改修工事（４）	A2：1/10 A3：1/14	A — 41
				断面詳細図		

一 級 建 築 士 No. 117422 西 沢 雅 彦

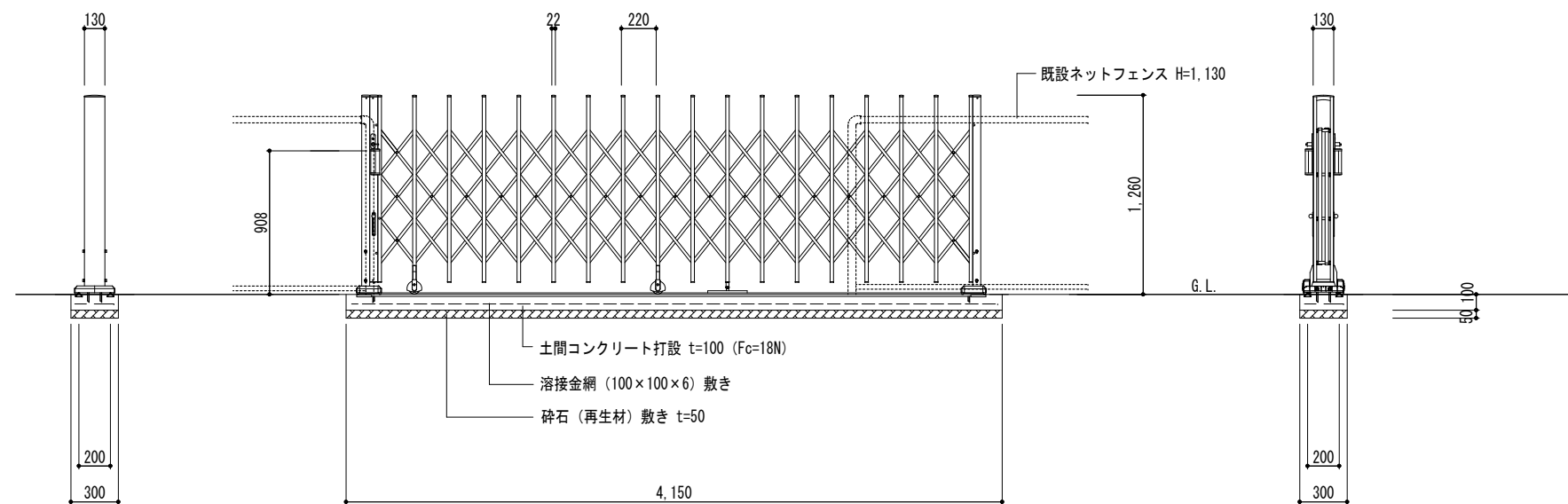


平面図 1/30



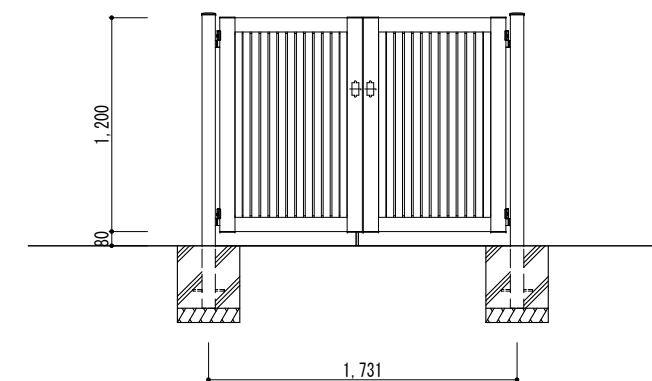
既設プール門扉正面図 1/30

※ 既設門扉解体撤去



立面図 1/30

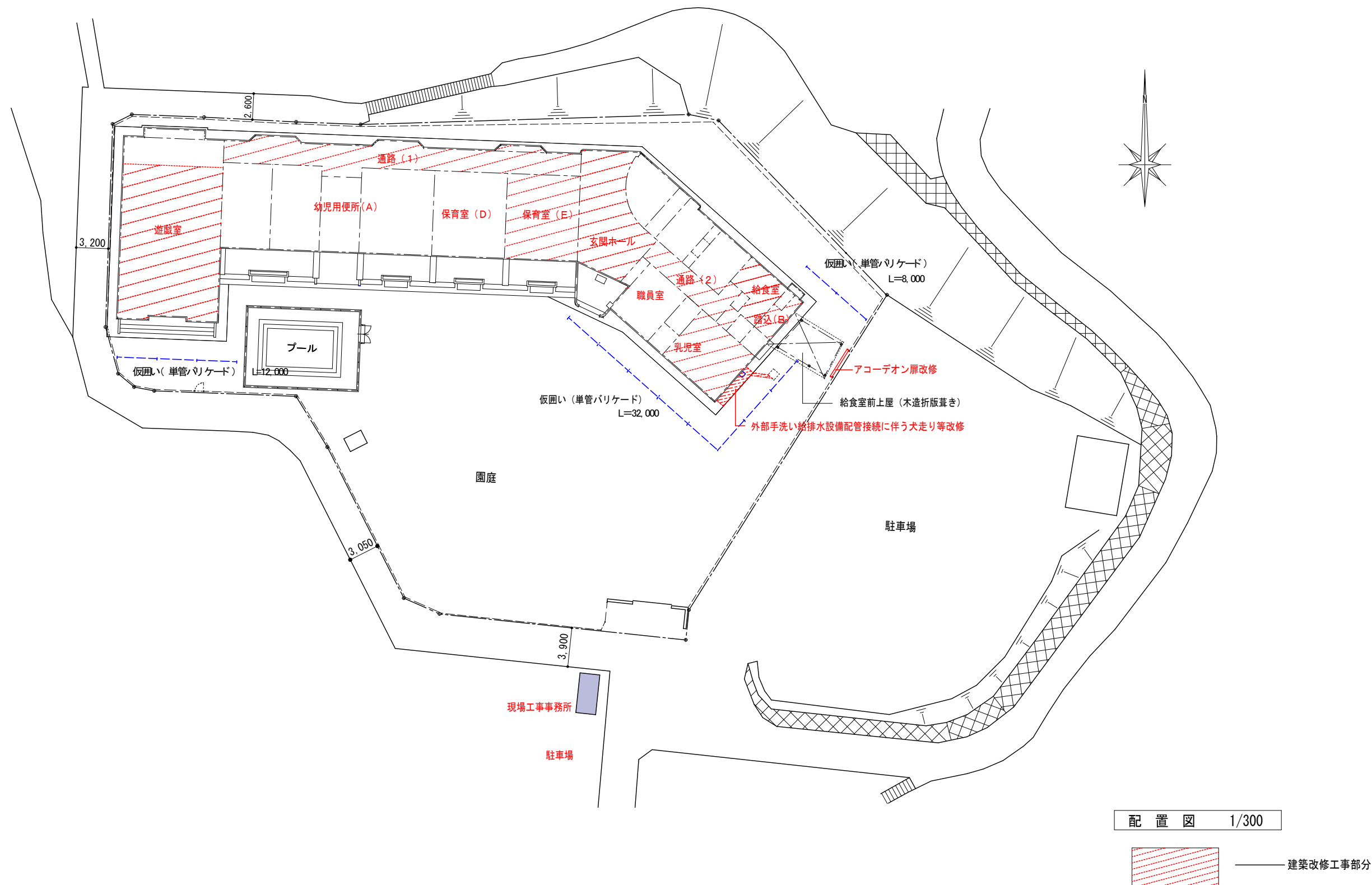
【 四国化成・ニューハピネス NHG-R-385S 同等品 】



【 YKKAP・シンプレオ門扉 4型 門柱セット 同等品 】

新規プール門扉正面図 1/30

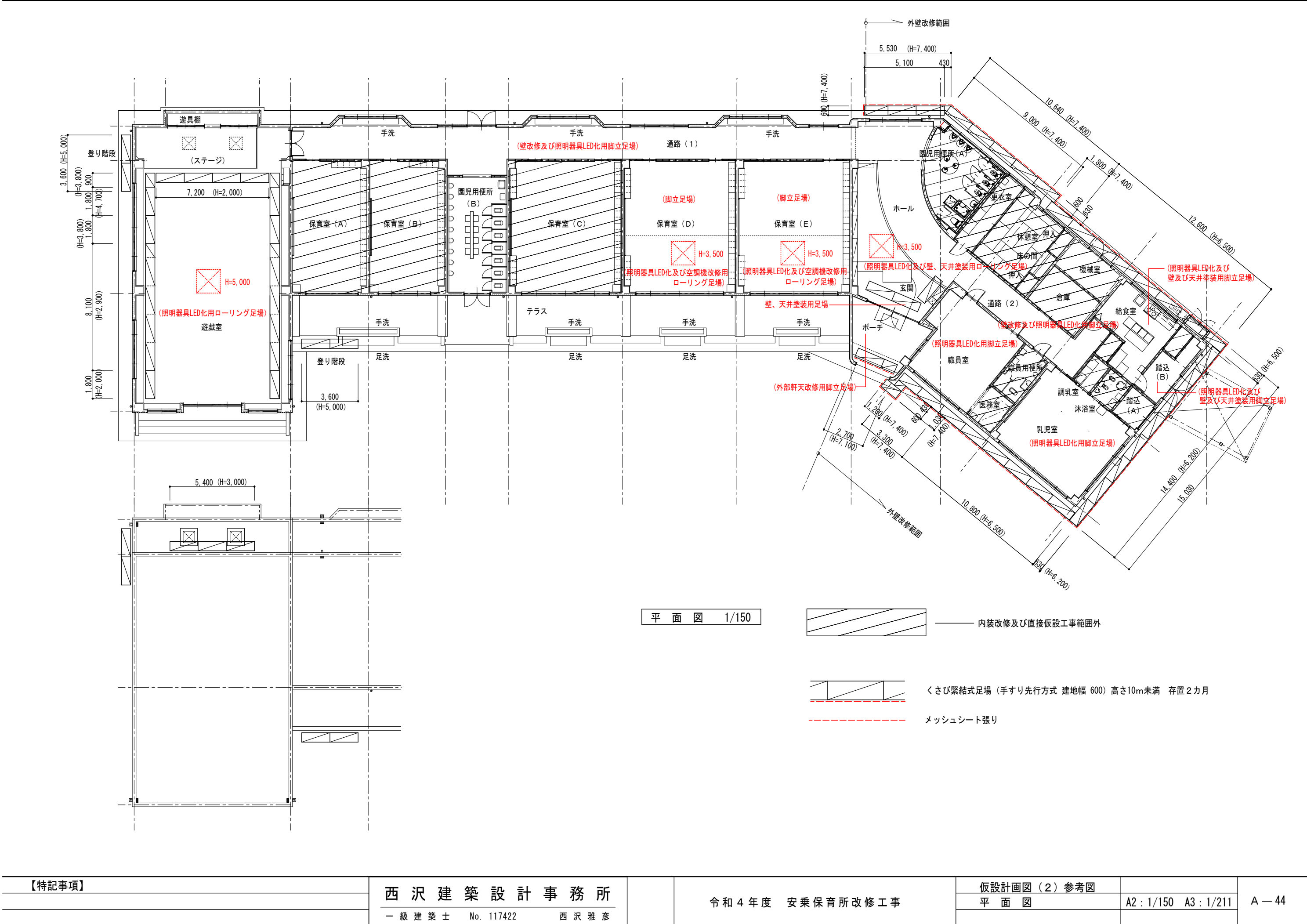
【特記事項】	西 沢 建 築 設 計 事 務 所	一 級 建 築 士 No. 117422 西 沢 雅 彦	令 和 4 年 度 安 乗 保 育 所 改 修 工 事	屋外付帯工事		A — 42
				アコーディオン扉改修工事	A2 : 1/30 A3 : 1/42	
				プール門扉改修工事	A2 : 1/30 A3 : 1/42	



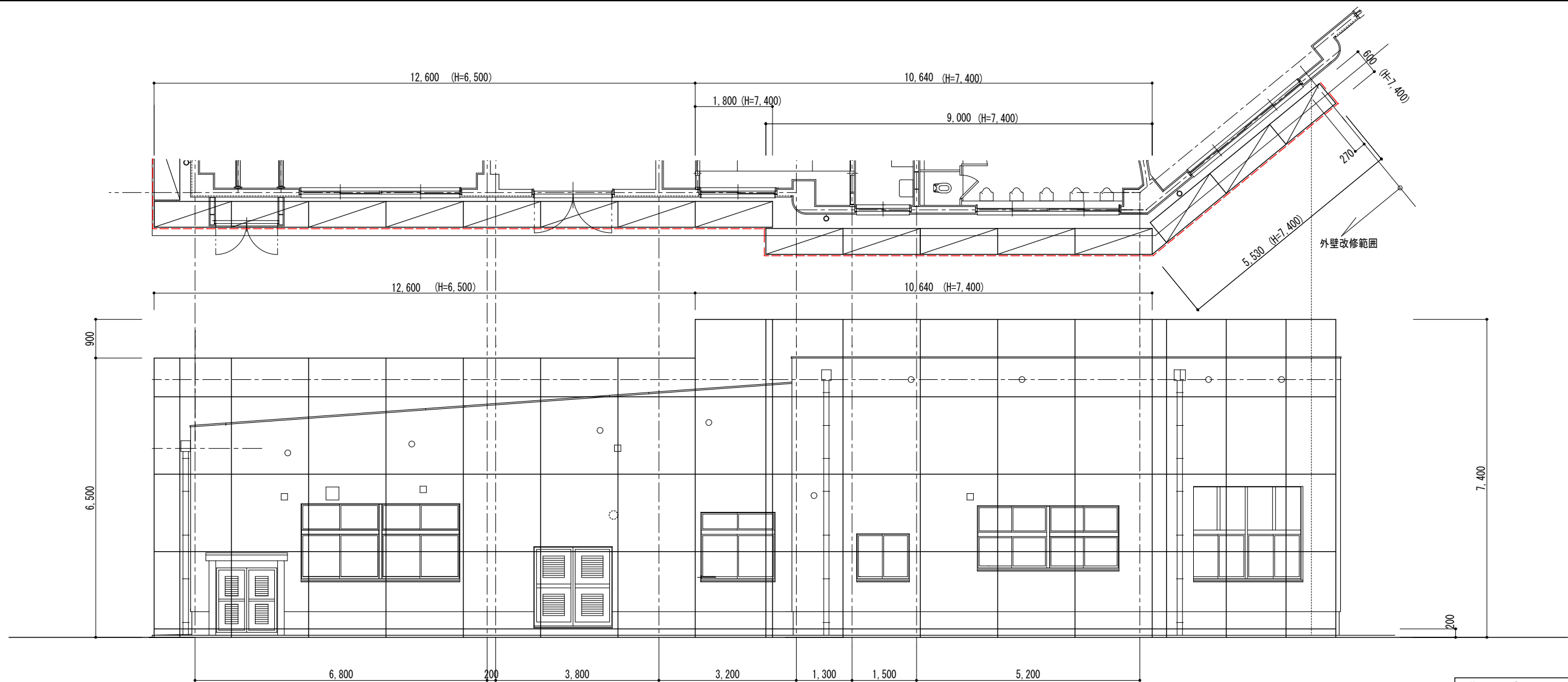
配置図 1/300

 建築改修工事部分

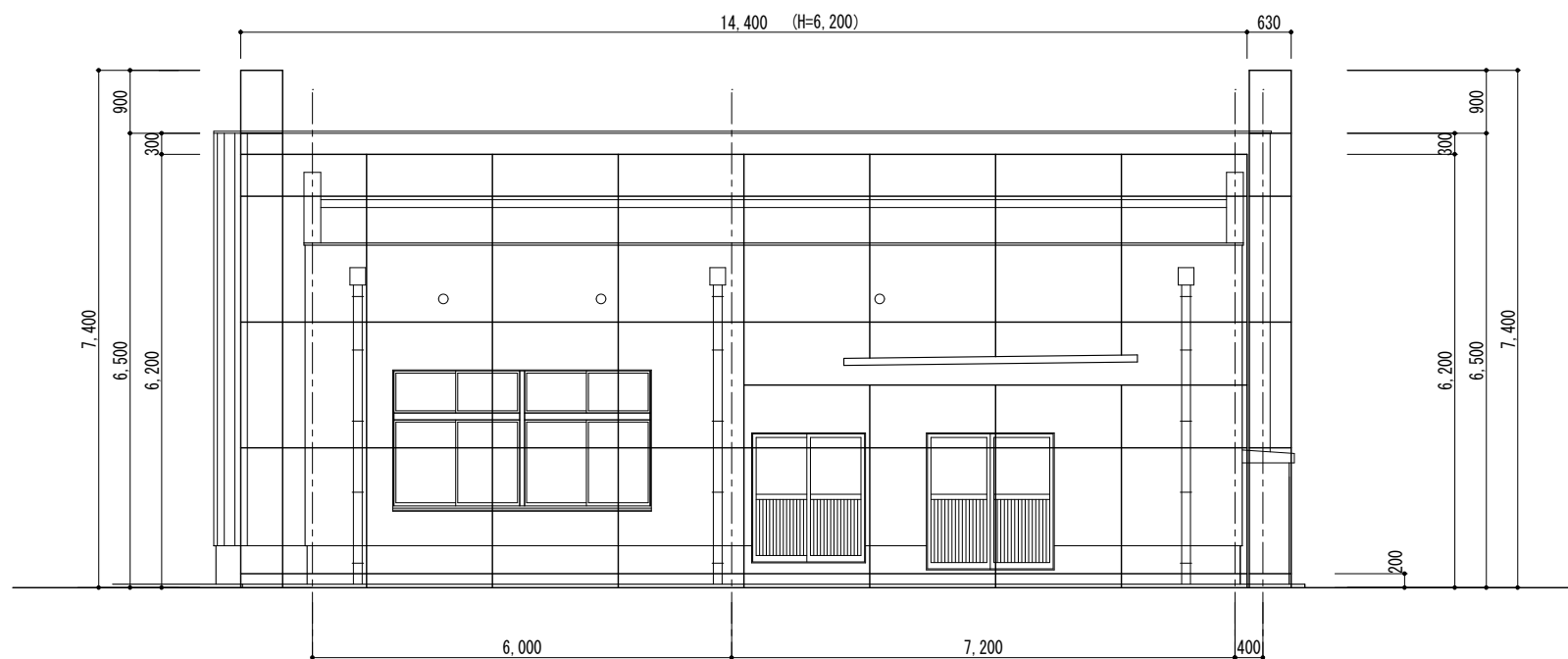
【特記事項】	西 沢 建 築 設 計 事 務 所 一 級 建 築 士 No. 117422 西 沢 雅 彦	令和４年度 安乗保育所改修工事	配置図	A2 : 1/300 A3 : 1/422	A — 43
			付近見取図		
			面積表		



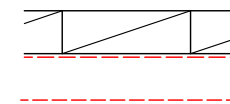
【特記事項】	西 沢 建 築 設 計 事 務 所 一 級 建 築 士 No. 117422 西 沢 雅 彦	令和4年度 安乗保育所改修工事	仮設計画図（2）参考図	A2：1/150 A3：1/211	A — 44
			平 面 図		



北正面立面図 1/75



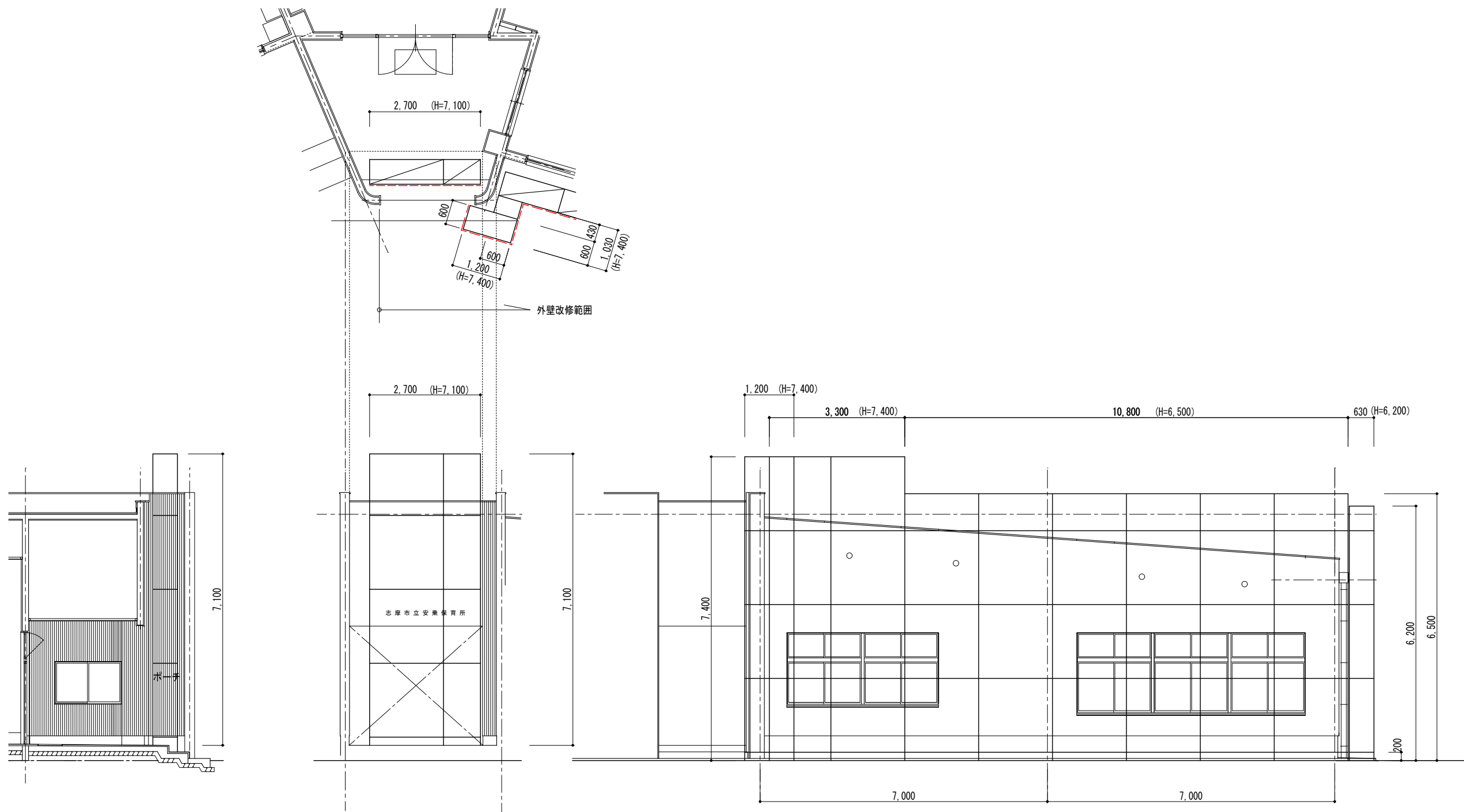
東正面立面図 1/75



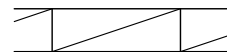

くさび緊結式足場(手すり先行方式 建地幅 600) 高さ10m未満 存置2カ月

メッシュシート張り

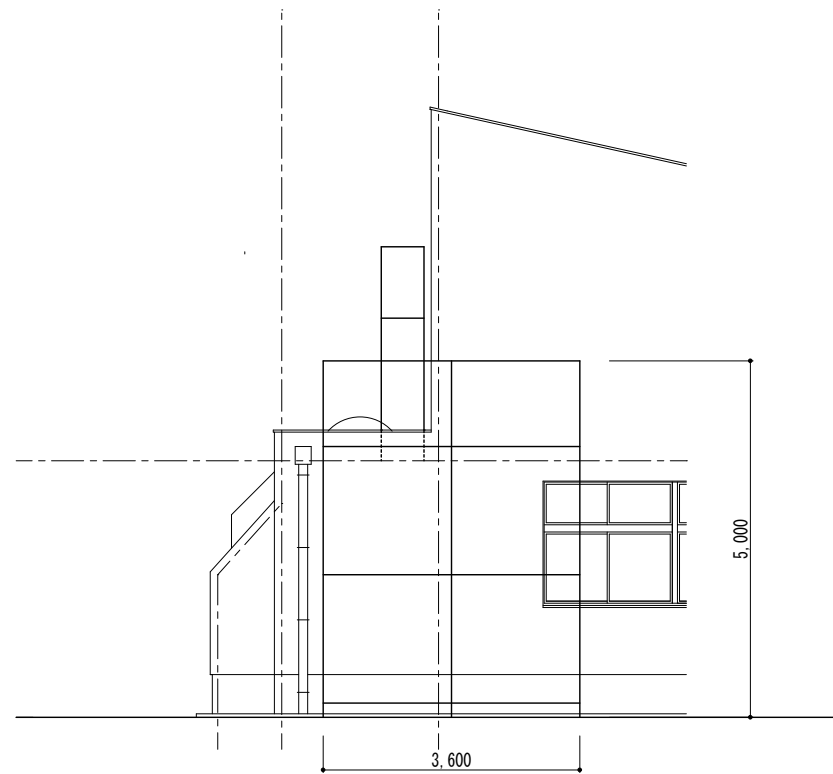
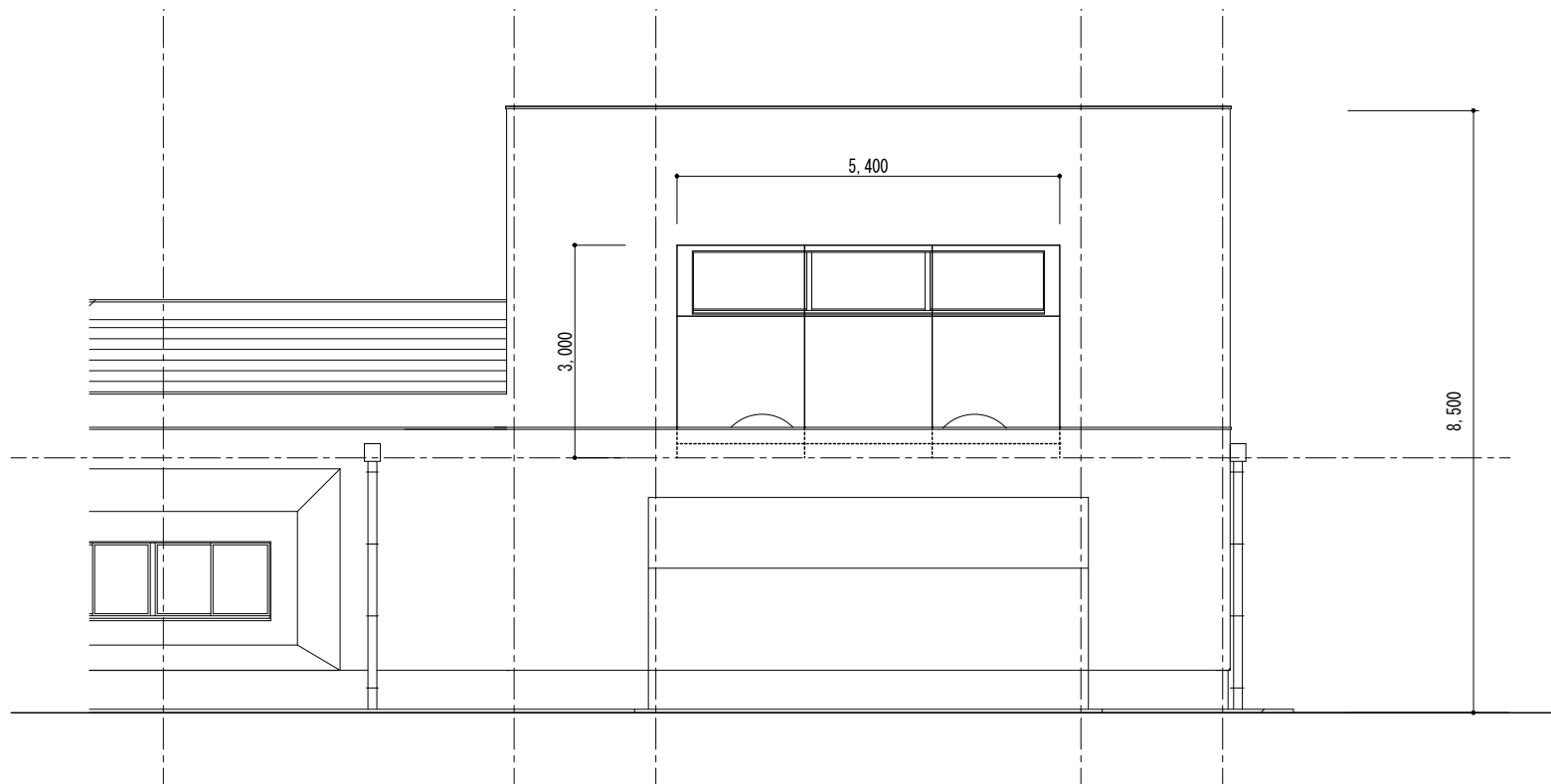
【特記事項】	西 沢 建 築 設 計 事 務 所 一 級 建 築 士 No. 117422 西 沢 雅 彦	令和4年度 安乗保育所改修工事	仮設計画図(3)参考図	A2 : 1/75 A3 : 1/105	A — 45
			立面図(1)		



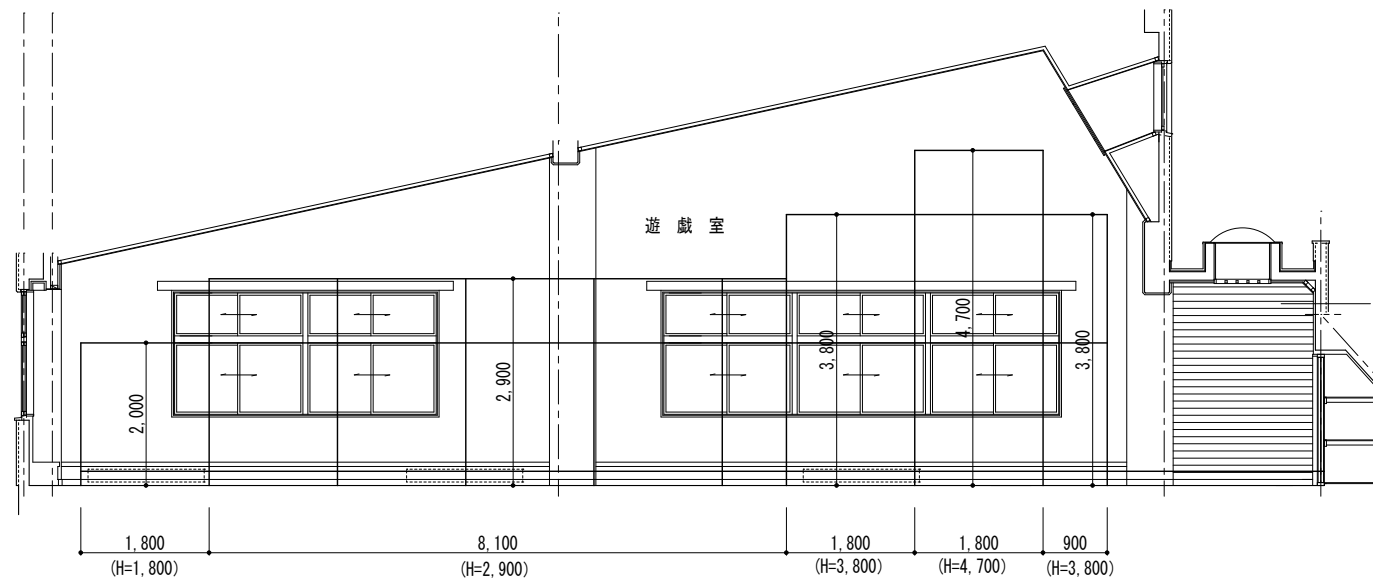
南正面立面図 1/75

-  くさび緊結式足場（手すり先行方式 建地幅 600）高さ10m未満 存置2カ月
-  メッシュシート張り

【特記事項】	西 沢 建 築 設 計 事 務 所 一 級 建 築 士 No. 117422 西 沢 雅 彦		令和４年度 安乗保育所改修工事	仮設計画図（４）参考図	A2 : 1/75 A3 : 1/105	A — 46
				立面図（２）		

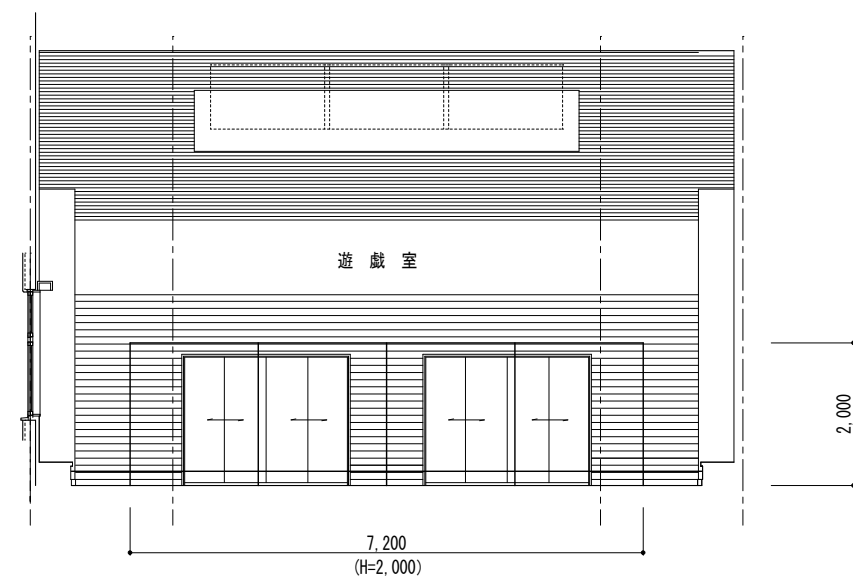


【特記事項】	西 沢 建 築 設 計 事 務 所 一 級 建 築 士 No. 117422 西 沢 雅 彦		令 和 4 年 度 安 乗 保 育 所 改 修 工 事	仮設計画図（5）参考図	A2 : 1/75 A3 : 1/105	A — 47
				立面図（3）		



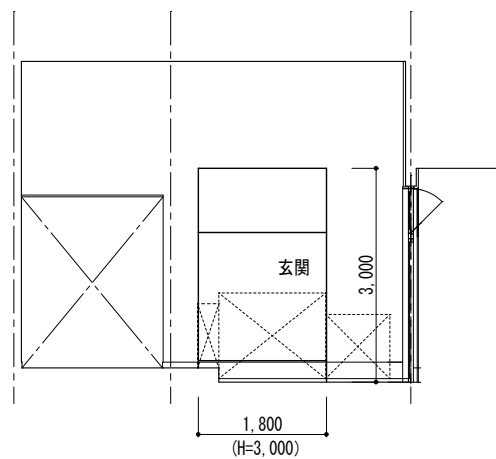
遊戯室西側展開図 1/75

※ 遊戯室東側にも設置する。

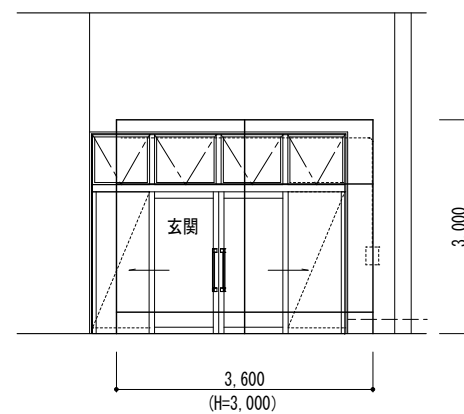


遊戯室北側展開図 1/75

※ くさび緊結式足場（手すり 先行方式 建地幅 600）高さ10m未満 存置 1 カ月



玄関ホール東側展開図 1/75



玄関ホール南側展開図 1/75

※ くさび緊結式足場（手すり 先行方式 建地幅 600）高さ10m未満 存置 1 カ月

【特記事項】	西 沢 建 築 設 計 事 務 所 一 級 建 築 士 No. 117422 西 沢 雅 彦		令 和 4 年 度 安 乗 保 育 所 改 修 工 事	仮設計画図（6）参考図	A2 : 1/75 A3 : 1/105	A — 48
				遊戯室及び玄関 壁塗装用足場		

令和4年度 安乗保育所改修工事（電気設備工事）

特記仕様書

I. 工事概要

1. 工事場所 三重県志摩市阿児町安乗629-1

2. 建物概要

建物名称	構造及び階数	国:延面積	建:延面積	消法令の適用	備 考
保育園	RC造			別表第一(6)項 ハ	

国:国有財産法延面積 (㎡) 建:建築基準法延面積 (㎡)

3. 工事種目 (○印の付いたものが対象工事種目)

工事項目	建物別及び屋外	工 事 種 別			
		保守・修理	改修・改築	新設	屋外
○ 電灯設備		改設一式			
○ 動力設備		改設一式			
・ 電気自動車用充電設備					
・ 電熱設備					
・ 雪保護設備					
・ 受変電設備					
・ 電力貯蔵設備					
・ 発電設備					
・ 構内情報通信網設備					
・ 構内交換設備					
・ 情報表示設備					
・ 映像・音響設備					
・ 拡声設備					
・ 誘導支援設備					
・ テレビ共同受信設備					
・ 監視カメラ設備					
・ 駐車場管制設備					
・ 防犯・入退室管理設備					
○ 火災報知設備		改設一式			
・ 中央監視制御設備					
・ 構内配電線路					
・ 構内通信線路					
・ テレビ電波障害防除設備					
・ 建築工事		別図による			
・ 機械設備工事		別図による			

4. 指定部分 ・ 無 ・ 有 対象部分

Ⅱ. 工事仕様

1. 共通仕様

- (1) 図面及び下付特許書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官庁官庁常備館制定の下付仕様書等のうち、①印付いたものとする。
- 公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）（平成31年度）（以下「標準仕様書」という。）
 - 公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）（平成31年度）（以下「改修標準仕様書」という。）
 - 公共建築設備工事標準仕様書（電気設備工事編）（平成31年度）（以下「標準図」という。）
- 但し分電盤は一般仕様とする
- (2) 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの特記仕様書を用いる。

2. 特記仕様

- (1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
- (2) 特記事項のうち選択する事項は、○印の付いたものを適用する。
- (3) 受注者は、南海トラフ地震防災対策推進地域における工事においては、南海トラフ地震に関連する情報（臨時）が気象庁から出された場合には、工事中断の措置をとるものとし、これに伴う必要な補強・落下防止等の緊急処置を講じなければならない。上記事項が発生した場合は、契約書第28条（編組の措置）の規定による。

事 項	特 記 事 項
① 環境への配慮	<p>1) 本工事において、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成12年法律第100号）」に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（平成31年2月閣議決定）」（以下グリーン購入法基本方針）に定める特定調達品目（公共工事）の品目を調達する場合は、判断の基準を満たすものとする。</p> <p>2) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 合板、木質系フローリング、構造用バネ鋼、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保水性、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ② 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ③ 接着剤は、可塑性（ワルセルジョーブル）及びクタル値（ジエチルベンゼン）を含有しない難揮発性の可塑性剤が添加されていない材料を使用する。 ④ ③の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないが、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。 <p>3) 設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の①又は②に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の③又は④に該当する材料を指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料 ② 建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 ③ 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料 ④ 建築基準法施行令第20条の7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料
② 材料・機材の品質等	<p>1) 本工事に使用する機材等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。</p> <p>2) 別表-1に機材名が記載された製造業者等は次の①から④すべての事項を満たす証明となる資料を提出して監督職員の承認を受ける。</p> <p>ただし、次の①から④すべての事項を評価されたとを示す外部機関が行える書面を提出し、監督職員の承認を受けた場合は、証明となる資料等の提出を省略することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 品質及び性能に関する試験データを整備していること。 ② 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。 ③ 安定的な供給が可能であること。 ④ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 ⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ⑥ 販売、保守等の営業体制を整えていること。

③

足場その他

・別契約の関係受注者（下請け工事の場合は元請け）が定置したものは無償で使用できる。

・本工事で設置する。

「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づき足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙「手すり先行工法による足場の積立等に関する基準」に於ける2の(2)手すり設置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。改修標準仕様書第1編第2章2.2より足場の種別は以下による。

・内部足場（ ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 種 ）

・外部足場（ ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種 ・ 種 ）

④

施工図等

工事が完成（指定部分に係わる完成を除く）したときは、本工事で作成する施工図等のうち、下記の原因及び複写図（第1部）を監督職員に提出する。ただし、製作図等と原因として提出ができないものは、原因に代わるものとしてよい。

なお、施工図等の著作権に係る該当建築物に限る使用権は、発注者に移譲する。

機器製作図

一式、

制御システム図

一式

試験成績書

一式、

機器・配管固定の施工図

一式

⑤

電源周波数

○ 60Hz

・ 50Hz

⑥

耐震措置

設備機器の固定は、次に示す事項を除き、すべて「建築設備耐震設計・施工指針 2014年版」（独立行政法人建築研究所監修）による。

1) 設計用水平地震力

機器の重量[kN]に、設計用標準水平地震度を乗じたものとする。

なお、特記なき場合、設計用標準水平地震度は、次による。

設計用標準水平地震度

設置場所	機器種別	・ 特定の施設		○ 一般の施設	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階	機器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防護支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
屋上及び塔屋	水槽類	2.0	1.5	1.5	1.0
	機器	1.5	1.0	1.0	0.6
中間階	防護支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6
地下・1階	機器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防護支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6

・上層階とは2～6階建の場合は最上層、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階とする。

・中間階とは地階、1階を除く各階で中間階に該当しないもの。

・水槽類には燃料小槽を含む。

・重要機器は次のものを示す。

○ 配電室

・ 自家発電装置

・ 直流電源装置

・ 交流無停電電源装置

・ 交換装置

・ 自動火災報知受信機

・ 中央監視制御装置

・ 総合室

・ 放送室

2) 設計用鉛直地震力

設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。

⑦

他工事又は他工種との取合い

図面に特記無き場合は、次表の「工事区分表」による。

「工事区分表」		電気設備工事	機械設備工事	建築工事	土木工事	E/E工事
他工事又は他工種との取合い						
開	床・床・壁・建部	補強		○		
		スリッパ・仮枠	○			
口	電気配管・端子箱・プルボックス	補強		○		
		仮枠	○			
部	経路経路下地天井・壁・窓枠の切込	補強有りの場合(補強)	○	○		
	電気ボックスプレート	補強無しの場合	○			
部	既設開閉仕切機の位置ボックス及びその取付	切込	○			
			○			
基礎等	屋上設置の設備機器の基礎			○		
	大型設備機器の基礎			○		
基礎等	防水層に影響する基礎			○		
	上記以外の機器の基礎	○				
配線	集合・アンテナポルト	○				
	配線ボックス及び蓋			○		
照明	自立型照明器具を付ける防雨戸の切込・補強及び「防火」対応			○		
	照明器具・幹線等の吊吊り用のインサート	○				
機器	別添機器などへの接続(直接接続するもの)	○				
	機器行庫制御盤以降の配管配線(接地共)		○			
機器	機器行庫制御盤への操作回路の配管配線(接地共)	○				
	機器行庫制御盤への操作回路の配管配線	○				
機器	天井吊付「FD」及び全数交換機装置と操作スイッチとの配管配線			○		
	感知知照から運動制御盤を経て防護ダンパーに至る配管配線			○		
機器	小便器用水装置の制御盤以降の配管配線			○		
	自動扉及び電動シャッターなどの制御装置に至る配管配線	○				
機器	防雨接			○		
	天井点検口			○		
機器	エレベータ制御盤までの動力・照明用電源、接地線、防鼠管及び			○		
	防鼠管(室内放送用)の配管配線工事			○		
機器	エレベータ制御盤からエレベータ監視装置又は警報装置までの配管配線工事				○	
	エレベータ保守遠隔監視用(電話回線)配管工事			○		
機器	エレベータ緊急地震速報受信用配管工事			○		
	エレベータ制御盤から外部モニターホン室までの配管配線工事				○	
機器	エレベータ制御盤からエレベータ内監視カメラまでの配管配線工事				○	
						○

⑧

発生材の処理等について

引渡しを要するもの以外は、機外搬出適切処理とする。

・引渡しを要するもの（ ・ 金属類 ・ 電線、ケーブル類 ・ 盤類 ・ PCB使用機器 ）

・特定管理産業廃棄物（ ・ 化学式感知器 ・ 蓄電池 ）

・再生資源化を図るもの（ ○ 蛍光灯ラフ ○ 白熱灯、HID灯 ）

・石綿含有品（ ・ ）

⑨

特定建設資材の再資源化等

本工事は、特定建設資材を用いた建築物等に係る解体工事又はその施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律施行令」（平成12年11月29日政令第495号）又は都道府県が条例で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事であるため、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年5月31日法律第104号）に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。

工事契約後に明らかになったやむを得ない事情により、予定した条件により類似場合は、監督職員と協議するものとする。

また、分別解体・再資源化等の完了時に、再資源化等が完了した年月日、報告率等を示した施設の名称及び所在地、再資源化等に要した費用を審判にて監督職員に報告する。（書式は「建設副産物情報交換システム」で作成したものである）

①分別解体の方法

工 程	作業内容	分別解体の方法		
・ 新築	建築設備工事	・ 手作業		
	増築		・ 手作業、機械作業併用	
	修繕			・ 手作業、機械作業併用
	模様替			

②特定建設資材廃棄物の種類と再資源化等をする施設















特定建設資材廃棄物の種類	再資源化等をする施設名称	所 在 地
・ コンクリート		
・ コンクリート及び鉄から成る建設資材		
・ 木材		
・ 727A7、727B7		

届出に係る事項の説明時に上記と異なる施設（同様の再資源化等を行う施設に限る。）を受注者が提示した場合は、当該施設に輸出することができる。ただし、当該施設への変更については設計変更の対象としない。

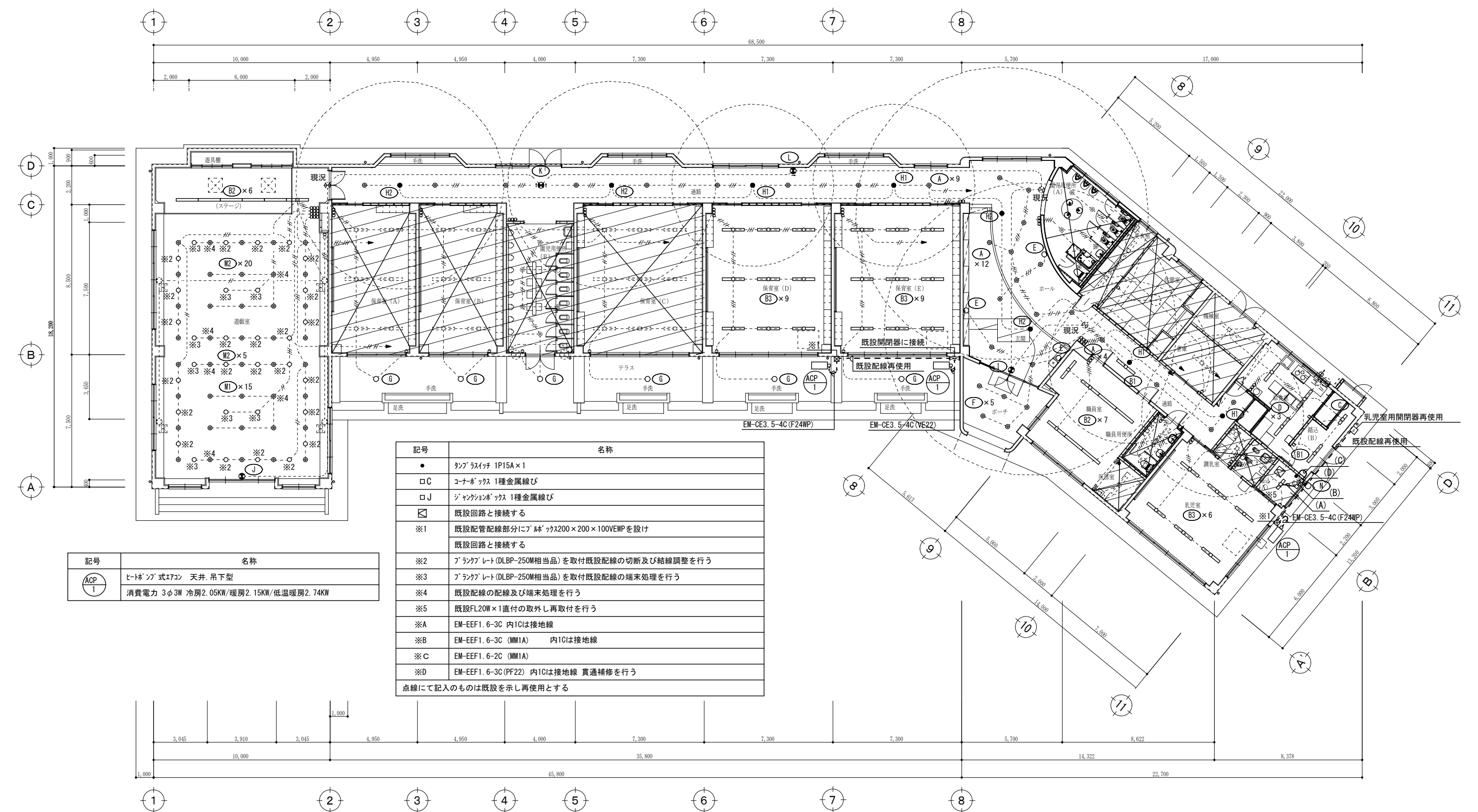
項 目		特 記 事 項																																																																																																																																																											
● 1 一 般 事 項	10 建設発生土の処理	・ 構内敷ならし ・ 本工事は、建設発生土情報交換システム(以下「システム」という。)の登録対象工事であり、受注者は、工事の実施に当たっては土量、土質、土工期等に変更があった場合、速やかに当該システムのデータ更新を行うものとする。 なお、これにより難い場合は、監督職員と協議しなければならない。																																																																																																																																																											
	11 室内空気中の化学物質の濃度測定	室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン及びスチレンの濃度を測定し、監督職員に報告する。 なお、測定はパンプ式採取機器により行う。 測定時期 測定対象室 測定箇所																																																																																																																																																											
	12 天井仕上区分	△を頭に付した室名は直天井を示し、その他は二重天井を示す。																																																																																																																																																											
● 2 共 通 事 項	① 電気工事士	・最大電力 500 kW 以上の場合、第一種電気工事士により施工を行う。 ○最大電力 500 kW 未満の場合、第一種電気工事士又は認定電気工事従事者により施工を行う。																																																																																																																																																											
	② 機器架設	架設の形状及び寸法は、概略を示す。																																																																																																																																																											
	3 呼び線	長さ 1m 以上の入線しない電線管には、1.2mm 以上の呼び線を挿入する。																																																																																																																																																											
	④ フラッシュプレート	フラッシュプレートは、図面に特記なき場合は次のようにする。 ・ 金属製(ステンレス、新金属も含む) ○ 樹脂製																																																																																																																																																											
	⑤ 電線本数・管径等	分電盤、制御盤、端子盤等の2次側以降の配管配線経路、配線太さ、配線本数、管径等は、監督職員の承認を受けて変更しても差しつかえない。																																																																																																																																																											
	6 合成樹脂管配線	合成樹脂製可とう電線管 (F管) 及び付属品は、タイプ - 25 のものを使用する。 なお、電力用位置ボックス類は原則として合成樹脂製とするが、コンクリート打ち込み部分は金属製としても良い。 ただし、金属製とする場合は当該システムには接地を施すものとする。																																																																																																																																																											
	7 厚鋼電線管	厚鋼電線管は表示されているものと同一外形のねじ込み電線管を使用しても良い。																																																																																																																																																											
	8 厚鋼電線管	厚鋼電線管は、図面に特記なき場合は溶融亜鉛メッキ (Z30) 仕上げとする。																																																																																																																																																											
	⑨ 保護管	ケーブル配線の保護管は、標準仕様書の金属管配線及び合成樹脂管配線の項による。																																																																																																																																																											
	10 最上階の埋め込み配管	最上階の天井スラブ下の埋め込み配管は、原則として避けるものとする。																																																																																																																																																											
	11 地中配線の埋設深さ等	地中配線で、特記なき埋設深さは、0.6m 以上とし、標準シート(2倍長以上重合せ)幅150mmを設ける。 なお、掘削幅が0.6m以上の箇所は、標準シートを2列以上並列に設ける。																																																																																																																																																											
	12 ハンドホールの蓋	ハンドホール等の鉄蓋は、樹脂型流し込みで用途名を表示する。 構内配線経路の用途名 (・ 電力 ・) 構内通信経路の用途名 (・ 通信 ・) 共用する場合の用途名 (・ 電気 ・)																																																																																																																																																											
	13 電力・電話の引き込み	電力及び電話引き込み線の引渡方法、位置については電力会社及び電気通信事業者と打ち合わせのうえ監督職員と協議により施工する。また、外線工事負担金の調査報告を監督職員に速やかに行う。																																																																																																																																																											
	⑭ 機器取付高さ	図面に特記無き場合は、次表の「機器標準取付高さ」による。 「機器標準取付高さ」 <table><tr><th>機 器 名</th><th>測 点</th><th>取付高さ[m]</th><th>機 器 名</th><th>測 点</th><th>取付高さ[m]</th></tr><tr><td rowspan="2">電力系</td><td>計算計器</td><td>地上 ～ 1,800～2,000</td><td rowspan="2">消火表示器</td><td>床 上 ～ 中心</td><td>天井高×0.9</td></tr><tr><td>引込閉閉器</td><td>地上 ～ 中心 800～2,200</td><td>屋外受付け機</td><td>床 上 ～ 中心</td><td>1,300</td></tr><tr><td rowspan="10">電 気 系</td><td>分電盤</td><td>床 上 ～ 中心 1,500</td><td rowspan="2">排気受付け機</td><td>標準による</td><td></td></tr><tr><td>スイッチ</td><td>床 上 ～ 中心 1,300</td><td>〃 受付付外付機</td><td>床 上 ～ 中心</td><td>1,300</td></tr><tr><td>スイッチ(多目的)</td><td>床 上 ～ 中心 1,100</td><td>〃 呼出付外付機</td><td>床 上 ～ 中心</td><td>900</td></tr><tr><td>スイッチ(自動閉)</td><td>床 上 ～ 中心 1,800</td><td>〃 呼出付内付機</td><td>床 上 ～ 中心</td><td>300</td></tr><tr><td>〃 (一般)</td><td>床 上 ～ 中心 300</td><td>〃 有線留</td><td>床 上 ～ 中心 1,500～1,800</td><td></td></tr><tr><td>〃 (和室)</td><td>床 上 ～ 中心 150</td><td>〃 有線留</td><td>床 上 ～ 中心 1,500～1,800</td><td></td></tr><tr><td>セン(台上)</td><td>台上 ～ 中心 150～200</td><td>〃 有線留</td><td>床 上 ～ 中心 1,500～1,800</td><td></td></tr><tr><td>セン(土間)</td><td>床 上 ～ 中心 500</td><td>〃 有線留</td><td>床 上 ～ 中心 1,500～1,800</td><td></td></tr><tr><td>セン(外壁・屋外)</td><td>地上 ～ 中心 800</td><td>〃 有線留</td><td>床 上 ～ 中心 1,500～1,800</td><td></td></tr><tr><td>〃 (一般)</td><td>床 上 ～ 中心 2,100～2,300</td><td>〃 有線留</td><td>床 上 ～ 中心 1,500～1,800</td><td></td></tr><tr><td>〃 (座席)</td><td>床 上 ～ 中心 2,000～2,500</td><td>〃 有線留</td><td>床 上 ～ 中心 1,500～1,800</td><td></td></tr><tr><td>〃 (線上)</td><td>線上 ～ 中心 150</td><td>〃 有線留</td><td>床 上 ～ 中心 1,500～1,800</td><td></td></tr><tr><td rowspan="2">動力系</td><td>壁掛形制御盤</td><td>床 上 ～ 中心 1,500</td><td rowspan="2">火災警報器</td><td>床 上 ～ 中心</td><td>800～1,500</td></tr><tr><td>〃</td><td>〃</td><td>〃</td><td>〃</td><td></td></tr><tr><td rowspan="2">力</td><td>手元閉閉器</td><td>床 上 ～ 中心 1,500</td><td>警報ベル</td><td>床 上 ～ 中心</td><td>2,300</td></tr><tr><td>制御スイッチ</td><td>床 上 ～ 中心 1,300</td><td>表示灯</td><td>床 上 ～ 中心</td><td>2,100</td></tr><tr><td rowspan="2">構内配線</td><td>室内端子箱</td><td>床 上 ～ 下端 300</td><td>〃</td><td>〃</td><td>300</td></tr><tr><td>集合保安装置</td><td>天井下 ～ 上端 200</td><td>〃</td><td>〃</td><td></td></tr><tr><td rowspan="2">用</td><td>警報付電話機</td><td>床 上 ～ 中心 1,300</td><td>〃</td><td>〃</td><td></td></tr><tr><td>〃</td><td>〃</td><td>〃</td><td>〃</td><td></td></tr><tr><td rowspan="2">時計</td><td>図形表示時計</td><td>床 上 ～ 中心 1,500</td><td rowspan="2">考</td><td>〃</td><td></td></tr><tr><td>〃</td><td>〃</td><td>〃</td><td>〃</td><td></td></tr><tr><td rowspan="2">計</td><td>子時計</td><td>床 上 ～ 中心 天井高×0.9</td><td rowspan="2">〃</td><td>〃</td><td></td></tr><tr><td>図形表示スピーカ</td><td>床 上 ～ 中心 天井高×0.9</td><td>〃</td><td>〃</td><td></td></tr><tr><td rowspan="2">用</td><td>警報付アタッチネット</td><td>床 上 ～ 中心 1,300</td><td>〃</td><td>〃</td><td></td></tr><tr><td>〃</td><td>〃</td><td>〃</td><td>〃</td><td></td></tr></table>		機 器 名	測 点	取付高さ[m]	機 器 名	測 点	取付高さ[m]	電力系	計算計器	地上 ～ 1,800～2,000	消火表示器	床 上 ～ 中心	天井高×0.9	引込閉閉器	地上 ～ 中心 800～2,200	屋外受付け機	床 上 ～ 中心	1,300	電 気 系	分電盤	床 上 ～ 中心 1,500	排気受付け機	標準による		スイッチ	床 上 ～ 中心 1,300	〃 受付付外付機	床 上 ～ 中心	1,300	スイッチ(多目的)	床 上 ～ 中心 1,100	〃 呼出付外付機	床 上 ～ 中心	900	スイッチ(自動閉)	床 上 ～ 中心 1,800	〃 呼出付内付機	床 上 ～ 中心	300	〃 (一般)	床 上 ～ 中心 300	〃 有線留	床 上 ～ 中心 1,500～1,800		〃 (和室)	床 上 ～ 中心 150	〃 有線留	床 上 ～ 中心 1,500～1,800		セン(台上)	台上 ～ 中心 150～200	〃 有線留	床 上 ～ 中心 1,500～1,800		セン(土間)	床 上 ～ 中心 500	〃 有線留	床 上 ～ 中心 1,500～1,800		セン(外壁・屋外)	地上 ～ 中心 800	〃 有線留	床 上 ～ 中心 1,500～1,800		〃 (一般)	床 上 ～ 中心 2,100～2,300	〃 有線留	床 上 ～ 中心 1,500～1,800		〃 (座席)	床 上 ～ 中心 2,000～2,500	〃 有線留	床 上 ～ 中心 1,500～1,800		〃 (線上)	線上 ～ 中心 150	〃 有線留	床 上 ～ 中心 1,500～1,800		動力系	壁掛形制御盤	床 上 ～ 中心 1,500	火災警報器	床 上 ～ 中心	800～1,500	〃	〃	〃	〃		力	手元閉閉器	床 上 ～ 中心 1,500	警報ベル	床 上 ～ 中心	2,300	制御スイッチ	床 上 ～ 中心 1,300	表示灯	床 上 ～ 中心	2,100	構内配線	室内端子箱	床 上 ～ 下端 300	〃	〃	300	集合保安装置	天井下 ～ 上端 200	〃	〃		用	警報付電話機	床 上 ～ 中心 1,300	〃	〃		〃	〃	〃	〃		時計	図形表示時計	床 上 ～ 中心 1,500	考	〃		〃	〃	〃	〃		計	子時計	床 上 ～ 中心 天井高×0.9	〃	〃		図形表示スピーカ	床 上 ～ 中心 天井高×0.9	〃	〃		用	警報付アタッチネット	床 上 ～ 中心 1,300	〃	〃		〃	〃	〃	〃
機 器 名	測 点	取付高さ[m]	機 器 名	測 点	取付高さ[m]																																																																																																																																																								
電力系	計算計器	地上 ～ 1,800～2,000	消火表示器	床 上 ～ 中心	天井高×0.9																																																																																																																																																								
	引込閉閉器	地上 ～ 中心 800～2,200		屋外受付け機	床 上 ～ 中心	1,300																																																																																																																																																							
電 気 系	分電盤	床 上 ～ 中心 1,500	排気受付け機	標準による																																																																																																																																																									
	スイッチ	床 上 ～ 中心 1,300		〃 受付付外付機	床 上 ～ 中心	1,300																																																																																																																																																							
	スイッチ(多目的)	床 上 ～ 中心 1,100	〃 呼出付外付機	床 上 ～ 中心	900																																																																																																																																																								
	スイッチ(自動閉)	床 上 ～ 中心 1,800	〃 呼出付内付機	床 上 ～ 中心	300																																																																																																																																																								
	〃 (一般)	床 上 ～ 中心 300	〃 有線留	床 上 ～ 中心 1,500～1,800																																																																																																																																																									
	〃 (和室)	床 上 ～ 中心 150	〃 有線留	床 上 ～ 中心 1,500～1,800																																																																																																																																																									
	セン(台上)	台上 ～ 中心 150～200	〃 有線留	床 上 ～ 中心 1,500～1,800																																																																																																																																																									
	セン(土間)	床 上 ～ 中心 500	〃 有線留	床 上 ～ 中心 1,500～1,800																																																																																																																																																									
	セン(外壁・屋外)	地上 ～ 中心 800	〃 有線留	床 上 ～ 中心 1,500～1,800																																																																																																																																																									
	〃 (一般)	床 上 ～ 中心 2,100～2,300	〃 有線留	床 上 ～ 中心 1,500～1,800																																																																																																																																																									
〃 (座席)	床 上 ～ 中心 2,000～2,500	〃 有線留	床 上 ～ 中心 1,500～1,800																																																																																																																																																										
〃 (線上)	線上 ～ 中心 150	〃 有線留	床 上 ～ 中心 1,500～1,800																																																																																																																																																										
動力系	壁掛形制御盤	床 上 ～ 中心 1,500	火災警報器	床 上 ～ 中心	800～1,500																																																																																																																																																								
	〃	〃		〃	〃																																																																																																																																																								
力	手元閉閉器	床 上 ～ 中心 1,500	警報ベル	床 上 ～ 中心	2,300																																																																																																																																																								
	制御スイッチ	床 上 ～ 中心 1,300	表示灯	床 上 ～ 中心	2,100																																																																																																																																																								
構内配線	室内端子箱	床 上 ～ 下端 300	〃	〃	300																																																																																																																																																								
	集合保安装置	天井下 ～ 上端 200	〃	〃																																																																																																																																																									
用	警報付電話機	床 上 ～ 中心 1,300	〃	〃																																																																																																																																																									
	〃	〃	〃	〃																																																																																																																																																									
時計	図形表示時計	床 上 ～ 中心 1,500	考	〃																																																																																																																																																									
	〃	〃		〃	〃																																																																																																																																																								
計	子時計	床 上 ～ 中心 天井高×0.9	〃	〃																																																																																																																																																									
	図形表示スピーカ	床 上 ～ 中心 天井高×0.9		〃	〃																																																																																																																																																								
用	警報付アタッチネット	床 上 ～ 中心 1,300	〃	〃																																																																																																																																																									
	〃	〃	〃	〃																																																																																																																																																									
15 接地極	図面に特記無き接地極は、次表の「接地極一覧表」による。 「接地極一覧表」 <table><tr><th>接 地 極 の 種 別</th><th>記 号</th><th>接 地 極 の 取 付 高</th><th>接 地 極 の 規格・数量</th></tr><tr><td>・ 共同接地</td><td>EA</td><td>10 Ω 以下</td><td>EB-D=14、L=1500 又は W=30、L=9000 × 1</td></tr><tr><td>・ 共同接地</td><td>EA-C・D</td><td>10 Ω 以下</td><td>EB-D=14、L=1500 又は W=30、L=9000 × 1</td></tr><tr><td>・ A 種</td><td>EA</td><td>10 Ω 以下</td><td>EB-D=14、L=1500 又は W=30、L=9000 × 1</td></tr><tr><td>・ B 種</td><td>EB</td><td>〇 Ω 以下</td><td>EB-D=14、L=1500 又は W=30、L=9000 × 1</td></tr><tr><td>・ C 種</td><td>EC</td><td>10 Ω 以下</td><td>EB-D=14、L=1500 又は W=30、L=9000 × 1</td></tr><tr><td>・ D 種</td><td>ED</td><td>100 Ω 以下</td><td>EB-D=10、L=1000 又は W=30、L=9000 × 1</td></tr><tr><td>・ 電圧変動抑制用</td><td>EELCB</td><td>10 Ω 以下</td><td>EB-D=10、L=1000 又は W=30、L=9000 × 1</td></tr><tr><td>・ 高圧避雷器</td><td>ELH</td><td>100 Ω 以下</td><td>EB-D=14、L=1500 又は W=30、L=9000 × 1</td></tr><tr><td>・ 交換装置用</td><td>ET</td><td>10 Ω 以下</td><td>EB-D=14、L=1500 又は W=30、L=9000 × 1</td></tr><tr><td>・ 通信用</td><td>EAt</td><td>10 Ω 以下</td><td>EB-D=14、L=1500 又は W=30、L=9000 × 1</td></tr><tr><td>・ 通信用</td><td>EDt</td><td>100 Ω 以下</td><td>EB-D=10、L=1000 又は W=30、L=9000 × 1</td></tr><tr><td>・ 電話引込口の保安用</td><td>EDt</td><td>100 Ω 以下</td><td>EB-D=10、L=1000 又は W=30、L=9000 × 1</td></tr><tr><td>・ 測定用</td><td>E0</td><td>100 Ω 以下</td><td>EB-D=10、L=1000 又は W=30、L=9000 × 1</td></tr><tr><td>・ 構造体接地</td><td></td><td>〇 Ω 以下</td><td></td></tr><tr><td>・ 等電位接地</td><td></td><td>〇 Ω 以下</td><td></td></tr></table>		接 地 極 の 種 別	記 号	接 地 極 の 取 付 高	接 地 極 の 規格・数量	・ 共同接地	EA	10 Ω 以下	EB-D=14、L=1500 又は W=30、L=9000 × 1	・ 共同接地	EA-C・D	10 Ω 以下	EB-D=14、L=1500 又は W=30、L=9000 × 1	・ A 種	EA	10 Ω 以下	EB-D=14、L=1500 又は W=30、L=9000 × 1	・ B 種	EB	〇 Ω 以下	EB-D=14、L=1500 又は W=30、L=9000 × 1	・ C 種	EC	10 Ω 以下	EB-D=14、L=1500 又は W=30、L=9000 × 1	・ D 種	ED	100 Ω 以下	EB-D=10、L=1000 又は W=30、L=9000 × 1	・ 電圧変動抑制用	EELCB	10 Ω 以下	EB-D=10、L=1000 又は W=30、L=9000 × 1	・ 高圧避雷器	ELH	100 Ω 以下	EB-D=14、L=1500 又は W=30、L=9000 × 1	・ 交換装置用	ET	10 Ω 以下	EB-D=14、L=1500 又は W=30、L=9000 × 1	・ 通信用	EAt	10 Ω 以下	EB-D=14、L=1500 又は W=30、L=9000 × 1	・ 通信用	EDt	100 Ω 以下	EB-D=10、L=1000 又は W=30、L=9000 × 1	・ 電話引込口の保安用	EDt	100 Ω 以下	EB-D=10、L=1000 又は W=30、L=9000 × 1	・ 測定用	E0	100 Ω 以下	EB-D=10、L=1000 又は W=30、L=9000 × 1	・ 構造体接地		〇 Ω 以下		・ 等電位接地		〇 Ω 以下																																																																																												
接 地 極 の 種 別	記 号	接 地 極 の 取 付 高	接 地 極 の 規格・数量																																																																																																																																																										
・ 共同接地	EA	10 Ω 以下	EB-D=14、L=1500 又は W=30、L=9000 × 1																																																																																																																																																										
・ 共同接地	EA-C・D	10 Ω 以下	EB-D=14、L=1500 又は W=30、L=9000 × 1																																																																																																																																																										
・ A 種	EA	10 Ω 以下	EB-D=14、L=1500 又は W=30、L=9000 × 1																																																																																																																																																										
・ B 種	EB	〇 Ω 以下	EB-D=14、L=1500 又は W=30、L=9000 × 1																																																																																																																																																										
・ C 種	EC	10 Ω 以下	EB-D=14、L=1500 又は W=30、L=9000 × 1																																																																																																																																																										
・ D 種	ED	100 Ω 以下	EB-D=10、L=1000 又は W=30、L=9000 × 1																																																																																																																																																										
・ 電圧変動抑制用	EELCB	10 Ω 以下	EB-D=10、L=1000 又は W=30、L=9000 × 1																																																																																																																																																										
・ 高圧避雷器	ELH	100 Ω 以下	EB-D=14、L=1500 又は W=30、L=9000 × 1																																																																																																																																																										
・ 交換装置用	ET	10 Ω 以下	EB-D=14、L=1500 又は W=30、L=9000 × 1																																																																																																																																																										
・ 通信用	EAt	10 Ω 以下	EB-D=14、L=1500 又は W=30、L=9000 × 1																																																																																																																																																										
・ 通信用	EDt	100 Ω 以下	EB-D=10、L=1000 又は W=30、L=9000 × 1																																																																																																																																																										
・ 電話引込口の保安用	EDt	100 Ω 以下	EB-D=10、L=1000 又は W=30、L=9000 × 1																																																																																																																																																										
・ 測定用	E0	100 Ω 以下	EB-D=10、L=1000 又は W=30、L=9000 × 1																																																																																																																																																										
・ 構造体接地		〇 Ω 以下																																																																																																																																																											
・ 等電位接地		〇 Ω 以下																																																																																																																																																											
● 3 電 力 受 変 電 機 電 機	1 照明制御総合動作試験	照明制御の総合動作試験は次に示す事項について、監督職員に試験成績書を提出し、承認を受ける。 ・ 目録順度設定のための各観光センサー(夜間及び日中) ・ 不在制御機能の動作及び動作時間設定のための検光人感センサー ・ タイムスケジュール制御のための点滅及び観光制御の動作確認 ・ 外光センサーによる点滅及び観光制御のための動作確認 注)上記試験項目は全数確認とする。																																																																																																																																																											

[illegible]

【特記事項】

																																																																																																													
		<div><div>Ⓑ1</div><div>LED 3200lm 消費電力20.6W LSS10-4-30</div></div>						<div>昼白色 (5000K)、Ra83 拡散タイプ・天井直付型・壁直付型 カバー:アクリル(乳白)、(ホワイト仕上) LG851511 LE1</div>																																																																																																					
<div><div>Ⓑ2</div><div>LED 5200lm 消費電力31.9W LSS10-4-48</div></div>																																																																																																													
<div><div>Ⓐ</div><div>LED 2070lm 消費電力15W LRS1-17 リニューアルレド200φ用共</div></div>		<div><div>Ⓑ3</div><div>LED 6900lm 消費電力43.1W LSS10-4-65</div></div>		<div><div>Ⓒ</div><div>LED 1600lm 消費電力11.6W LSS10-2-15</div></div>		<div><div>Ⓓ</div><div>LED 6560lm 消費電力43.1W 防湿型・防雨型 LSS10MP/RP-4-64</div></div>		<div><div>Ⓔ</div><div>LED 440lm 消費電力5.9W</div></div>																																																																																																					
<div><div>LED内蔵、電源ユニット内蔵 一般光色タイプ 5000K、Ra85 拡散タイプ 光透過角15度 反射板(上部):プラスチック(ホワイト) 枠:銅板(ホワイトつや消し仕上) パネル:アクリル(透明) ダウンライトXNW0661WN LE9</div></div>		<div><div>昼白色 (5000K)、Ra83、拡散タイプ 本体:プラスチック(ホワイト) カバー:アクリル(乳白) 天井直付型・壁直付型、ネジ込み方式 LGW51784 LE1</div></div>		<div><div><div>Ⓗ1</div><div>LED非常灯専用型リモコン自己点検機能付 K1-LRS11-2 消費電力1.0W</div></div><div><div>Ⓗ2</div><div>LED非常灯専用型リモコン自己点検機能付 K1-LRS11-3 消費電力1.3W</div></div></div>		<div><table><tr><td colspan="2">M2 非常灯評定番号:LAL-E-004</td><td colspan="8">K1-LRS11-2</td></tr><tr><td>器具取付高さ</td><td>2.1m</td><td>2.3m</td><td>2.4m</td><td>2.5m</td><td>2.6m</td><td>2.7m</td><td>2.8m</td><td>2.9m</td><td></td></tr><tr><td>単体配置</td><td>A1</td><td>4.2m</td><td>4.5</td><td>4.6</td><td>4.7</td><td>4.7</td><td>4.8</td><td>4.9</td><td>4.9</td></tr><tr><td>直線配置</td><td>A2</td><td>9.3m</td><td>10.0</td><td>10.2</td><td>10.6</td><td>10.8</td><td>11.1</td><td>11.3</td><td>11.6</td></tr><tr><td>四角配置</td><td>A4</td><td>7.4m</td><td>7.9</td><td>8.2</td><td>8.4</td><td>8.7</td><td>8.9</td><td>9.1</td><td>9.4</td></tr></table> <table><tr><td colspan="2">M3 非常灯評定番号:LAL-E-006</td><td colspan="8">K1-LRS11-3</td></tr><tr><td>器具取付高さ</td><td>2.4m</td><td>2.5m</td><td>2.9m</td><td>3.0m</td><td>3.5m</td><td>4.0m</td><td>4.5m</td><td>5.0m</td><td></td></tr><tr><td>単体配置</td><td>A1</td><td>5.9m</td><td>6.1</td><td>6.7</td><td>6.9</td><td>7.4</td><td>7.4</td><td>8.3</td><td>8.7</td></tr><tr><td>直線配置</td><td>A2</td><td>12.7m</td><td>13.1</td><td>14.8</td><td>15.2</td><td>17.0</td><td>18.6</td><td>19.9</td><td>21.0</td></tr><tr><td>四角配置</td><td>A4</td><td>9.6m</td><td>9.9</td><td>11.2</td><td>11.6</td><td>13.2</td><td>14.6</td><td>16.0</td><td>17.2</td></tr></table></div>		M2 非常灯評定番号:LAL-E-004		K1-LRS11-2								器具取付高さ	2.1m	2.3m	2.4m	2.5m	2.6m	2.7m	2.8m	2.9m		単体配置	A1	4.2m	4.5	4.6	4.7	4.7	4.8	4.9	4.9	直線配置	A2	9.3m	10.0	10.2	10.6	10.8	11.1	11.3	11.6	四角配置	A4	7.4m	7.9	8.2	8.4	8.7	8.9	9.1	9.4	M3 非常灯評定番号:LAL-E-006		K1-LRS11-3								器具取付高さ	2.4m	2.5m	2.9m	3.0m	3.5m	4.0m	4.5m	5.0m		単体配置	A1	5.9m	6.1	6.7	6.9	7.4	7.4	8.3	8.7	直線配置	A2	12.7m	13.1	14.8	15.2	17.0	18.6	19.9	21.0	四角配置	A4	9.6m	9.9	11.2	11.6	13.2	14.6	16.0	17.2	<div><div>壁直付リニューアルレド(B級・BL形)共 型式認定番号:1AM111 - 3209</div></div>	
M2 非常灯評定番号:LAL-E-004		K1-LRS11-2																																																																																																											
器具取付高さ	2.1m	2.3m	2.4m	2.5m	2.6m	2.7m	2.8m	2.9m																																																																																																					
単体配置	A1	4.2m	4.5	4.6	4.7	4.7	4.8	4.9	4.9																																																																																																				
直線配置	A2	9.3m	10.0	10.2	10.6	10.8	11.1	11.3	11.6																																																																																																				
四角配置	A4	7.4m	7.9	8.2	8.4	8.7	8.9	9.1	9.4																																																																																																				
M3 非常灯評定番号:LAL-E-006		K1-LRS11-3																																																																																																											
器具取付高さ	2.4m	2.5m	2.9m	3.0m	3.5m	4.0m	4.5m	5.0m																																																																																																					
単体配置	A1	5.9m	6.1	6.7	6.9	7.4	7.4	8.3	8.7																																																																																																				
直線配置	A2	12.7m	13.1	14.8	15.2	17.0	18.6	19.9	21.0																																																																																																				
四角配置	A4	9.6m	9.9	11.2	11.6	13.2	14.6	16.0	17.2																																																																																																				
<div><div>Ⓕ</div><div>LED 560lm 消費電力4.6W 防雨型 リニューアルレド200φ用共</div></div>		<div><div>Ⓖ</div><div>LED 1010lm 消費電力10.7W 防湿型・防雨型</div></div>						<div><div>①</div><div>LED B級・BL形 避難口誘導灯片面型 SH1-FBF20-BL 消費電力2.7W</div></div>																																																																																																					
<div><div>型式認定番号:1AM111 - 3209</div></div>		<div><div>天井直付用リニューアルレド(B級・BL形)共 型式認定番号:1AM221-3210</div></div>		<div><div>壁埋込リニューアルレド(C級)共 型式認定番号:1AS111-3303</div></div>		<div><div>LED内蔵のソフ(ひと粒)タイプ、電源ユニット内蔵、一般光色タイプ 5000K、Ra85、拡散タイプ 反射板(上部):プラスチック(ホワイト) 反射板(下部):7639 イラスト(シルバーメタリックつや消し仕上) 枠:7639 イラスト(ホワイトつや消し仕上)、埋込穴φ150 取付可能天井傾斜角度10° ~30°</div></div>		<div><div>昼白色 (5000K)、Ra83 壁直付型、拡散タイプ、明るさセンサー付 防雨型、ネジ込み方式 カバー:アクリル(透明・内面白塗装) 本体:プラスチック(ブラックメタリック) 段階光省エネ型 LGWC80335K LE1</div></div>																																																																																																					
<div><div>Ⓜ1</div><div>LED 2130lm 消費電力19.3W XND2561AN LE9 リニューアルレド200φ用共</div></div>						<div><div>Ⓜ2</div><div>LED 3665lm 消費電力30.7W XND3561AN LZ9 リニューアルレド200φ用共</div></div>																																																																																																							
<div><div>Ⓜ2</div><div>LED 3665lm 消費電力30.7W XND3561AN LZ9 リニューアルレド200φ用共</div></div>		<div><div>Ⓜ1</div><div>LED 2130lm 消費電力19.3W XND2561AN LE9 リニューアルレド200φ用共</div></div>						<div><div>Ⓝ</div><div>LED 329lm 消費電力7.1W 防雨型</div></div>																																																																																																					

型番は参考とする



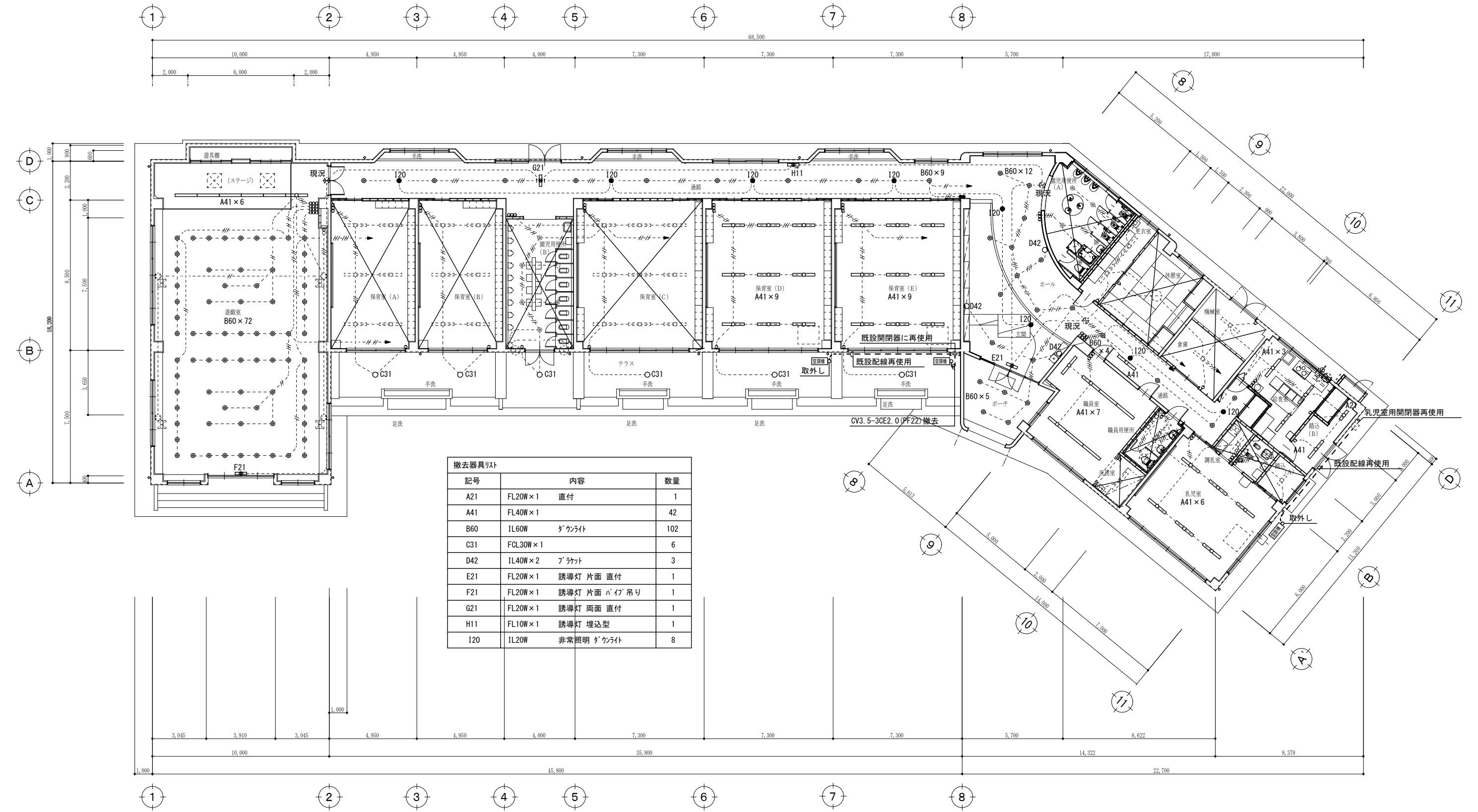
記号	名称
ACP 1	ヒートポンプ式エアコン 天井・吊下型 消費電力 3φ3W 冷房2.05KW/暖房2.15KW/低温暖房2.74KW

記号	名称
●	タンブラースイッチ 1P15A×1
□C	コーナーボックス 1種金属線び
□J	ジャンクションボックス 1種金属線び
⊠	既設回路と接続する
※1	既設配管配線部分にボックス200×200×100VEWPを設け 既設回路と接続する
※2	ブラックプレート(DLBP-250M相当品)を取付既設配線の切断及び結線調整を行う
※3	ブラックプレート(DLBP-250M相当品)を取付既設配線の端末処理を行う
※4	既設配線の配線及び端末処理を行う
※5	既設FL20W×1直付の取外し再取付を行う
※A	EM-EEF1.6-3C 内1Cは接地線
※B	EM-EEF1.6-3C (MM1A) 内1Cは接地線
※C	EM-EEF1.6-2C (MM1A)
※D	EM-EEF1.6-3C (PF22) 内1Cは接地線 貫通補修を行う
点線にて記入のものは既設を示し再使用とする	

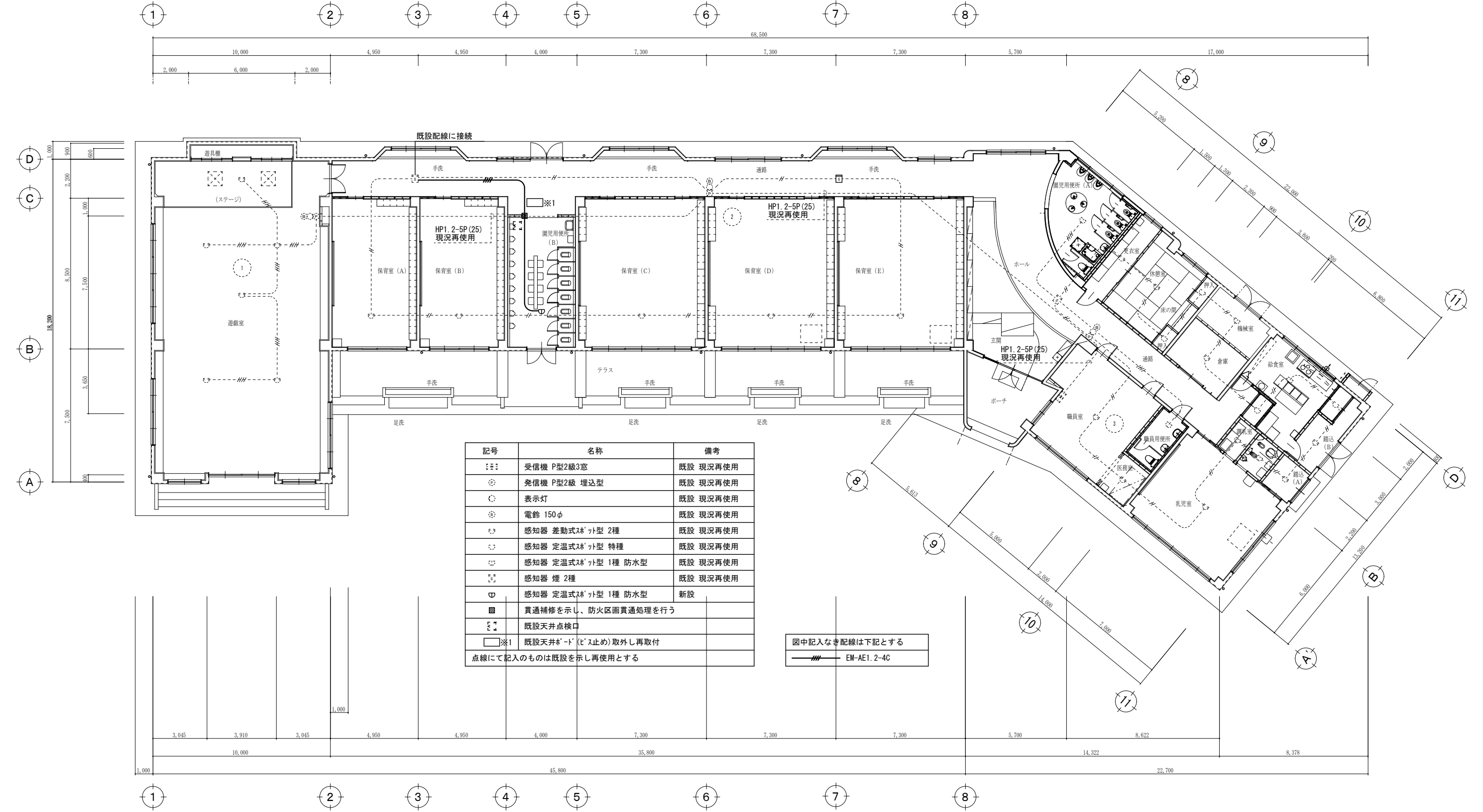
平面図 1/150

【改修図】

【特記事項】	西 沢 建 築 設 計 事 務 所 一 級 建 築 士 No. 117422 西 沢 雅 彦	令和4年度 安乗保育所改修工事	電灯設備・動力設備 平面図	A2 : 1/150 A3 : 1/211	E — 03



平面図 1/150



平面図 1/150

工事名称

令和4年度 安乗保育所改修工事

Ⅰ 工事概要

1. 工事場所

三重県志摩市阿児町安乗地内

2. 建物概要

国：国有財産法延面積（㎡）

建：建築基準法延面積（㎡）

建物名称	構造及び階数	国：延面積	建：延面積	消防法施行令の適用	耐震区分	備考

3. 工事種目

○印の付いたものが対象

工事種目	建物別及び屋外	工 事 種 別				屋 外
○空気調和設備	○					
○換気設備	○					
・排煙設備						
・自動制御設備						
・衛生器具設備						
○給水設備	○					
○排水設備	○					
○給湯設備	○					
・消火設備						
・厨房設備						
・ガス設備						
・浄化槽設備						

4. 指定部分

・ 無 ・ 有

対象部分

5. 設備概要

○印を付けたものは、本工事あるいは既設設備の概要を示すもので、仕様を規定するものではない。）

方式及び種別	設 備 概 要
○ 空調方式	○ ヒートポンプ方式
○ 主要熱源機器	・ 冷水温水 ○パッケージ型空気調和機
・ 自動制御方式	・ 電気式 ・ 電子式 ・ デジタル式
○ 給水方式	○ 水道直結方式 ・ 高置タンク方式 ・ 圧力タンク方式 ・ ポンプ直送方式 ・ 増圧給水直結方式
○ 排水方式	建物内汚水、雑排水（○合流式 ○分流式） ポンプ排水 ・ 有 ・ 汚物 ・ 雑排水 ・ 湧水 ・ 無 建物外放流先 汚 水 ○直放流下水管 ・ 既設浄化槽 雑排水 ○直放流下水管 ・ 既設浄化槽
・ 消火設備の種別	・ 屋内消火栓設備 ・ スプリンクラー設備 ・ 泡消火設備 ・ 連結散水設備 ・ 連結送水管 ・ 不活性ガス消火設備（ ）
・ ガスの種類	・ 都市ガス（種別 ・ 発熱量 MJ/m ³ （N）, 供給事業者名） ・ 液化石油ガス（ ・ ポンベ ・ バルクタンク ）

工事区分表（図面に特記なき場合は工事区分表による）

項 目	機 械 設 備	建 築	電 気 設 備
開口部	鉄骨部材のはり貫通部 鉄骨鉄筋コンクリート部材のはり貫通部 R C部材のはりの貫通部 R C部材の床・壁の貫通部 床デッキプレートの貫通部 開口部の穴埋め補修 天井・経鉄間仕切りの開口	穴明け（補強を含む） 補強 スリーブ 補強 スリーブ 箱入れ 補強 切り込み ボードの切込み及び補強共	
基礎等	屋上設置の設備機器の基礎 大形設備機器の基礎 防水層に影響する基礎 上記以外の機器の基礎 架台、アンカーボルト		
外部取付ガラリ	ダクトチャンバーの接続用フランジを含む		
換気扇の取付枠			
床下水槽のマンホールふた			
湯沸室等流し台	排水トラップ共		
湯沸室等の排気フード	ステンレス製天蓋		
床、天井点検口			
防油堤	建物内、油サービスタンクの防油堤		
電気配線	機器付置の制御盤以降の二次側配管配線（接地共） 自動制御盤と動力盤との電源供給の渡り配管配線 自動制御盤と動力盤との操作回路の渡り配管配線 機器と付属操作スイッチとの渡り配管配線（接地共） 煙感知器から連動制御盤を経て防煙ダンパーに至る配管配線 小規模用節水装置の制御盤以降の二次側の配管配線		
改修工事	コンクリート壁、床など 天井、壁などのボード類	はつり 荒補修 仕上げ補修 撤去（ボード類のみ） 撤去（下地開口補強を含む） 復旧	

Ⅱ 工事仕様

1. 共通仕様

（1）図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の標準仕様書等によるものとし、○印のついたものを適用する。

・ 公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（平成31年版）（以下「標準仕様書」という。）
・ 公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）（平成31年版）（以下「改修標準仕様書」という。）
・ 公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）（平成31年版）（以下「標準図」という。）

（2）電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、それぞれの特記仕様書を適用する。

2. 特記仕様

（1）章は●印の付いたものを適用し、項目及び特記事項は○印の付いたものを適用する。

（2）特記事項のうち選択する事項は、○印の付いたものを適用する。

（3）受注者は、南海トラフ地震防災対策推進地域における工事にあつては、南海トラフ地震に関連する情報（臨時）が気象庁から出された場合には、工事中断の措置をとるものとし、これに伴う必要な補強・落下防止等の保全処置を講じなければならない。

上記事実が発生した場合は、契約書第26条（臨機の措置）の規定による。

● 一般共通事項

○発生材の処理等

金属類は引渡しを要するものとする。
・ 特別管理産業廃棄物（ ・ ）
・ 構外搬出適切処理 ・ 別途工事
・ 石綿含有品（ ・ 配管用成形保温材 ・ フランジ用ガasket（ ・ 配管 ・ ダクト）
・ 構外搬出適切処理 ・ 別途工事
○ 再生資源化を図るもの（ ・ 塩化ビニル管 ・ 臭化リチウム ）
・ 構外搬出適切処理 ○ 別途工事
上記以外のものの処理は構外搬出適切処理とする。
本工事は、特定建設資材を用いた建築物に係る解体工事又はその施工に特定建設資材を使用する新築工事等であつて、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（平成12年12月29日政令第495号）又は都道府県が条例で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事であるため、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年5月31日法律第104号）に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。
工事契約後に明らかになったやむをえない事情により、予定した条件により難しい場合は、監督職員と協議するものとする。
また、分別解体・再資源化等の完了時に、再資源化等が完了した年月日、再資源化等をした施設の名称及び所在地、再資源化等に関する費用を書面にて監督職員に報告する。
（書式は「建設副産物情報交換システム」で作成したものとする）

（1）分別解体の方法

工 程	作業内容	分別解体の方法
・ 新築	建築設備工事	・ 手作業
・ 増築	・ 有	・ 手作業・機械作業併用
・ 修繕	・ 無	
・ 模様替		

（2）特定建設資材廃棄物の種類と再資源化等をする施設

特定建設資材廃棄物の種類	再資源化等をする施設名称	所 在 地
・ コンクリート		
・ コンクリート及び鉄から成る建設資材		
・ 木材		
・ アスファルト・コンクリート		

屋出に係る事項の説明時に上記と異なる施設（同種の再資源化等を行う施設に限る。）を受注者が提示した場合は、当該施設に搬出することができる。ただし、当該施設への変更については設計変更の対象としない。

・ 構内敷きならし

本工事は、建設発生土情報交換システム（以下「システム」という。）の登録対象工事であり、受注者は、工事の実施に当たっては土量、土質、土工期等に変更があった場合、速やかに当該システムのデータ更新を行うものとする。尚、これにより難しい場合には、監督職員と協議しなければならない。
構外搬出（片道運搬距離 約 km）
D10区間（ ・ 有 ・ 無）

○環境への配慮

（1）本工事において、「図等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成12年法律第100号）」に基づく、「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（平成31年2月閣議決定）」に定める特定調達品目分野「公共工事」の品目を調達する場合は、判断の基準等を満たすものとする。

（2）建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の1から4を満たすものとする。
1 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。
2 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。
3 接着剤は、可塑剤（フタル酸ジエーテル及びフタル酸ジエーテルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。
4 1の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。

（3）設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の1又は2に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の3又は4に該当する材料を指す。
1 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建筑材料以外の材料
2 建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料
3 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建筑材料
4 建築基準法施行令第20条の7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料

○機材の品質等

（1）本工事に使用する材料・機材等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。

（2）別表－1に機材等名が記載された製造業者等は次の1から6すべての事項を満たす証明となる資料を提出し監督職員の承諾を受ける。ただし、次の1から6すべての事項を評価された事を示す外部機関が発行する書面を提出し監督職員の承諾を受けた場合は、証明となる資料等の提出を省略することができる。
1 品質及び性能に関する試験データを整備していること。
2 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。
3 安定的な供給が可能であること。
4 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。
5 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。
6 販売、保守等の営業体制を整えていること。

○足場その他

○別契約の関係受注者（下請け工事の場合は元請け）が設置したものは無償で使用できる。
・ 本工事に設置する

「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の（2）手すり設置方式又は（3）手すり先行専用足場方式により行う。
改修標準仕様書第1編2.2.1より足場の種別は以下による。
・ 内部足場（ ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種 ・ F種 ）
・ 外部足場（ ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種 ・ F種 ）
・ 根切り土の中良質土（コンクリート管以外の管の周囲は山砂の類） ○ 山砂の類

○埋戻し土及び盛土

Ⅲ 章 項 目

一般共通事項

○施工図等

機械設備工事機材承諾図様式（平成28年版）によるほか、監督職員の指示による。
・ 本工事として下記項目の計画書及び測定報告書を提出する。 ・ 別途とする。
調整項目（測定箇所等は監督職員の指示による。）
・ 風量調整 ・ 水量調整 ・ 室内外空気温度の測定
・ 室内気流及びじんあいの測定 ・ 騒音の測定
・ 飲料水の水質の測定 ・ 初運転状態の記録

換気扇、圧力風及び標準仕様書に記載なく特記のないものの電動機の保護規格は、製造者規格による標準品としてよい。
○60Hz ・ 50Hz
（1）機器類の能力、容量等は表示された数値以上とする。
（2）電動機出力、燃料消費量、圧力損失等は、原則として表示された数値以下とする。
耐震措置の計算及び施工方法は次によるほか、建築設備耐震設計・施工指針2014年版（独立行政法人建築研究所監修）による。
（1）機器の据付け及び取付け
設計用水平地震力は、機器の質量（自由表面を有する水槽その他の貯槽にあつては有効質量）に、地域係数〔・1.0・1.2〕及び次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。
設計用標準水平震度

部 位	機器種別	・ 特定の施設	・ 一般の施設
		重要機器	一般機器
上層階	機器	2.0	1.5
屋上及び塔屋	防振支持の機器	2.0	2.0
	水槽類	2.0	1.5
中間階	機器	1.5	1.0
	防振支持の機器	1.5	1.5
	水槽類	1.5	1.0
地階・1階	機器	1.0	0.6
	防振支持の機器	1.0	1.0
	水槽類	1.5	1.0

上層階とは2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階とする。
中間階とは地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの。
重要機器は次のものを示す。
・ 給水機器（ ・ ） ・ 排水機器（ ・ ）
・ 換気機器 ・ 空調機器 ・ 熱源機器 ・ 防災設備
・ 監視制御設備 ・ 危険物貯蔵装置 ・ 火を使用する設備
・ 避難経路上に設置する機器
（2）設計用鉛直地震力は、設計用水平地震力の1／2とした値とする。

機器システム図及び重要な定期点検項目等を記載した ・ アクリル樹脂製 ・ 市販パネルの案内板を設備機械室に設ける。但し、案内板の大きさは、約 ㎡とする。

15. 案内板

（1）ステンレス鋼管の接合は、下記による。
・ 呼び径65S u以下（ ・ SAS322を満足した継手 ・ ）
（2）建築物導入部配管の変位吸収方法は標準図（建築物導入部の変位吸収配管要領）による。
・ （a） ・ （b） ・ （c）
（3）溶接部の非破壊検査 ・ 不要 ・ （要）
（1）地中埋設機等 ○ 要（図示による） ・ 不要
（2）埋設表示テープ ○ 要（排水管を除く） ・ 不要

17. 地中埋設機等

○ 要（図示による） ・ 不要
○ 要（排水管を除く） ・ 不要

18. 井 類

特記のない井の耐圧は、J1 S又はJ V 5 Kとする。
油系に使用する井の耐圧は、10 K（メガパスカル等）とする。
水道直結部に使用する井の耐圧は、J1 S又はJ V 10 Kとする。
ステンレス鋼管に取り付ける呼び径65以上の弁は、ステンレス製とする。

19. 絶縁フランジ・絶縁継手

図示の位置に取り付ける。

20. 鋼管用伸縮管継手

・ ベローズ形 ・ スリープ形

21. 防振吊り金具及び防振支持金具

図示の位置に取り付ける。

○保温

標準仕様書第2編3章1節によるほか次による。ただし各工事種目で別に指定されたものは除く。
○ 多湿箇所 室 名：給食堂 配管：給湯、流し下水立上げ露出配管
・ 共同溝内 ダクト： 配管：
○ 保温無し屋内外露出の配管及びダクトは塗装を行う。（ただし、機械室内及び屋上は除く）
・
既存のコンクリート床、壁等の配管貫通部の穴開けは、図面に特記のない場合はダイヤモンドカッターによる。穴開けを行う際は、電磁誘導等の機器で鉄筋探索を行う。
（ ）書式の室名は直天井を示し、その他は二重天井を示す。
電線及びEMケーブルの規格は標準仕様書第4編1.5.1表4.1.1.1による。
電線類は、EMケーブルを使用する。（機器、盤類を除いてもよい）
屋外配管は圧縮電線管（Z30）とする。
屋外設置のマンホール類には用途名を入れる。

○改修関係事項

○既設との取合い

2 施工調査
事前調査 ・ 本工事 ・ 別途
調査項目 ・ 施工状況確認
調査範囲 ・ 図示 調査方法：既存資料調査及び現場確認

3. 仮設間仕切

仮設間仕切は、改修標準仕様書第1編2.2.3による。種別（ ・ A種 ・ B種 ・ C種 ）
仮設部分の養生は、改修標準仕様書第1編3章による。

4. 養生

改修標準仕様書第3編2.2.7「既設ダクトの再利用」による。
改修標準仕様書第3編2.2.8「ダクト清掃」を ・ 行う ・ 行わない

5. 既設ダクトの再利用

放射線透過検査等による埋設物の調査は（ ・ 要 ・ 不要 ）とする。
範囲は監督職員の指示による。なお、検査費は別途とする。
（1）各種配管の試験は、新設配管に適用する。
（2）新設配管は、既設配管との接続前に試験を行う。

6. 非破壊検査

改修標準仕様書第2編5.1.3「あと施工アンカー」による。
下記の試験を行う場合には、範囲は監督職員と協議による。
アンカー引抜試験（ ・ ） 性能確認試験 施工後確認試験

8. あと施工アンカー

撤去する配管（断熱材被覆鋼管を含む）、ダクト等の保温は分離する。
撤去する配管、ダクト等の支持金物、吊りボルト等は本工事にて撤去する。
石綿含有分析調査 ・ 本工事 ・ 別途工事
石綿撤去方法 ・ 本工事（ ・ 図示による ） ・ 別途工事

○冷媒（フロン）の回収

業務用冷凍空調機器の撤去に伴う冷媒の回収方法は、改修標準仕様書第3編2.4.3により、次の書類の写しを監督職員に提出する。
○ 冷媒充填 ○ 回収証明書 ○ 特定家庭用機器廃棄物管理票（家電リサイクル券）
撤去する前にフロンを屋外側ユニットに集める作業（ポンプダウン）を行う。
パッケージ形空気調和機の移設等により、冷媒の回収・再充填が必要となる場合においては、上記に準じて冷媒の大気中への放出を防止する措置を講じること。

Ⅳ 章 項 目

●空気調和設備

○設計温度

	外 気	屋 内
	一般系統	一般系統
	温度 (DB)	温度 (DB)
夏季	℃	℃
冬季	℃	℃
	%	%
	%	%

設ける（測定口は80mm以上とし、取り付け箇所は煙道の直線部とする）
・ 低圧ダクト ・ コーナーボルト工法（長辺の長さが1,500mm以下の部分）
・ アンクルフレンジ工法
・ スパイラルダクト
・ 高圧1ダクト（範囲は図示による。）

（1）内貼りを施すチャンバーの表示寸法は外法を示す。
（2）空気調和機に取り付けるサブライチチャンバー、レタンチャンバー及びダクト系で消音内貼したチャンバーには点検口を設置し、寸法は図示による。
（3）外壁に面するガラリに直接取り付けするチャンバー及びホッパーは雨水の滞留のないように施工する。

2. ばいじん量測定口

図示の位置に取り付ける。

3. ダクト

（1）防煙ダンパー 復帰方式（ ・ 遠隔（定格入力はDC24V 0.7A以下） ・ ）
（2）ピストンダンパー 復帰方式（ ・ 遠隔 ・ ）

4. チャンパー

（1）冷水水管 ・ 配管用炭素鋼管（白）
・ 炭素鋼管（黒）
（2）冷却水管 ・ 配管用炭素鋼管（白）
（3）空調用排水管 ・ 配管用炭素鋼管（白）
○ 硬質ポリ塩化ビニル管
○ 断熱材被覆鋼管（難燃性）
（4）冷媒管
（5）膨張管、空気抜き管及び膨張タンクよりボイラー等への補給水管は配管用炭素鋼管（白）とする。
（6）加圧用給水管 ・ ステンレス鋼管 ・ ポリ粉体鋼管（PA又はPB）
・ 塩化ビニル管（VA又はVB）
（7）蒸気管 給気管 ・ 配管用炭素鋼管（黒）
・ 圧力配管用炭素鋼管（黒）Sch 40
・ 圧力配管用炭素鋼管（黒）Sch 80
（8）油管 ・ 配管用炭素鋼管（黒）

8. 井 類

（1）冷水水コイル廻り（標準図）の弁は（ ・ 仕切弁 ・ バタフライ弁 ）とする。
（2）蒸気加熱コイル廻り（標準図）の弁は仕切弁とする。
（3）ファンコイルユニットと冷水水管の接続部（往・還）には、ボール弁を取付ける。
また、ファンコイルユニットには、（ ・ 流量調整弁 ・ 定流量弁 ）を設置する。

9. 温度計・圧力計

下記の表に○をつけた箇所を設置する。なお円形指示計は100mmφ以上とする。

機材名	計測部位	温度計の種類	温度計の入口	温度計の出口	圧力計の入口	圧力計の出口
冷水水機	冷水水	円形指示計	○	○	○	○
冷凍機	冷却水	円形指示計	○	○	○	○
パッケージ形空気調和機	サブライチチャンバー	円形指示計	○	○	○	○
ユニット形空気調和機	冷水水	円形指示計	○	○	○	○
	サブライチチャンバー	円形指示計	○	○	○	○
熱交換器		円形指示計	○	○	○	○
ヘッダー		円形指示計	○	○	○	○

網間流量計はビートル管方式によるもので、止水コック付とし、図示の位置に取り付ける。なお網間流量計の形式は、（ ・ 固定式 ・ 着脱式 ）とする。
着脱式の場合、（40A 個 100A 個 ）を付属する。
制御盤には（ ・ 給油ポンプ制御 ・ 返油ポンプ制御 ・ 漏えい検知警報 ・ 減油警報 ・ 減油警報 ・ 過隔警報 ・ 電磁弁制御 ）の端子を設ける。
なお、フロートスイッチ部と制御盤間の配管配線は製造者の標準仕様とする。
また、フロートスイッチ部はステンレス鋼製（油面検出部）とする。

10. 網間流量計

網間流量計はビートル管方式によるもので、止水コック付とし、図示の位置に取り付ける。なお網間流量計の形式は、（ ・ 固定式 ・ 着脱式 ）とする。
着脱式の場合、（40A 個 100A 個 ）を付属する。
制御盤には（ ・ 給油ポンプ制御 ・ 返油ポンプ制御 ・ 漏えい検知警報 ・ 減油警報 ・ 減油警報 ・ 過隔警報 ・ 電磁弁制御 ）の端子を設ける。
なお、フロートスイッチ部と制御盤間の配管配線は製造者の標準仕様とする。
また、フロートスイッチ部はステンレス鋼製（油面検出部）とする。

11. 油面制御装置

制御盤には（ ・ 給油ポンプ制御 ・ 返油ポンプ制御 ・ 漏えい検知警報 ・ 減油警報 ・ 減油警報 ・ 過隔警報 ・ 電磁弁制御 ）の端子を設ける。
なお、フロートスイッチ部と制御盤間の配管配線は製造者の標準仕様とする。
また、フロートスイッチ部はステンレス鋼製（油面検出部）とする。

○保温及び消音内貼

標準仕様書第2編3.1.4によるほか、次による。
・ 膨張管及び膨張タンクよりボイラー等への補給水管の保温は、標準仕様書第2編3.1.4の温水管の項による。
・ 建物内のエア抜き管の保温は標準仕様書第2編3.1.4の温水管の項による。（エア抜き弁以降の配管は除く）
・ 空気調和機及びファンコイルユニットの排水管の保温は、標準仕様書第2編3.1.5の排水管の項による。
○ 冷媒管の保温外装は下記による。（ただし、天井内、機械室内、PS内は保温外装不要）
屋内外露出（ ・ 合成樹脂製カバー ○ 保温化粧ケース（材質：樹脂製） ）
屋内外露出（ ・ ステンレス鋼板 ○ 保温化粧ケース（材質：樹脂製） ）
・ カラー亜鉛鉄板 ・ 滑融アルミニウム（亜鉛鉄板）
・ 外気取入れ用ダクトの保温要（保温の厚さ25mm、範囲は図示による）
・ 排気用ダクトの保温要（保温の厚さ25mm、範囲は図示による）
・ 還気用ダクトの保温要（保温の厚さ25mm、範囲は図示による）

○換気設備

1. ダクト

・ 低圧ダクト ・ コーナーボルト工法（長辺の長さが1,500mm以下の部分）
・ アンクルフレンジ工法
・ スパイラルダクト
・ 高圧1ダクト（範囲は図示による）
・ ステンレスダクト及び塩化ビニルダクト（範囲及び仕様は図示による）
・ 厨房系統の排気ダクトは標準仕様書第3編2.2.2のダクトの板厚の項より一番手厚いものを使用する。（範囲は図示による）

2. 風量測定口

図示の位置に取り付ける。

3. ダンパー

空気調和設備の当該項目による。

4. シールする排気ダクトの系統

空気調和設備の当該項目による。

5. チャンパー

空気調和設備の当該項目による。

6. 保 温

次のダクトは保温を行う。
・ 外気取入れ用ダクトの保温要（保温の厚さ25mm、範囲は図示による）
・ 排気用ダクトの保温要（保温の厚さ25mm、範囲は図示による）
・ 多湿箇所のダクトの保温要（保温の厚さ50mm、範囲は図示による）
・ 厨房及び湯沸室の排気ダクトの保温要（保温の厚さ50mm（RM）、範囲は図示による）

○排煙設備

1. ダクト

・ 亜鉛鉄板 ・ 普通鋼板（厚1.6mm）

2. 排煙口の形式

・ 天井取付（ ・ スリット形 ・ パネル形 ）
・ 壁取付（ ・ スリット形 ・ パネル形 ）

3. 排煙口開放及び復帰方式

・ 電気式（遠隔復帰 ・ 要 ・ 不要） ・ ワイヤー式

4. 排煙風量測定

建築設備定期検査業務基準2016年版（（一財）日本建築設備・昇降機センター）の排煙風量の検査方法に準じる。

○自動制御設備

1. システム構成

別図による

2. 電気計装用配線

電線及びEMケーブルの規格は標準仕様書第4編1.5.1表4.1.1.1による。
屋外・屋内外露出の配線は、図面に特記のない限り金属管配線とする。
天井内隠ぺいの配線は、図面に特記のない限りケーブル配線とする。

【特記事項】

西 沢 建 築 設 計 事 務 所

一 級 建 築 士 No. 117422 西 沢 雅 彦

令和4年度 安乗保育所改修工事

機械設備

特記仕様書（1）

A3：N/S

M—01

章		特 記 事 項		別表－１	機 材 等 名		
○衛生器具設備	1.小 便 器	洗浄水量は４Ｌ/回以下とし、使用状況により洗浄水量が制御できるものとする。 ・ カウンター取付け形 ・ 耐寒水栓（吊コマ） 排水口は（ ・ 目皿 ・ 錆付きゴム栓）とする。 和風便器の排水区画貫通処理は標準図による。					
	2.水 栓						
	3.掃 除 流 し						
	4.和風便器耐火カバー						
●給水設備	①配管材料	(1)一般配管 ・ ステンレス鋼管（ＳＵＳ３０４） 塩ビライニング鋼管（ ＶＢ ） 耐熱性塩ビライニング鋼管（ ＨＶＡ ） 水道用硬質塩化ビニル管（ ＨＩＶＰ ） 上記の選択で、ポリ粉体鋼管又は塩ビライニング鋼管を使用する場合、厨房、浴室等のシンダー内配管はＰＤ又はＶＤとする。 (2)地中埋設配管 ・ ステンレス鋼管（ＳＵＳ３１６）（ ・ 建物内 ・ 屋外部分） ・ 塩ビライニング鋼管（ＶＤ） ・ ポリ粉体鋼管（ＰＤ） ・ ポリエチレン管 水道用硬質塩化ビニル管（ ＨＩＶＰ ） (3)水道直結配管 引込みは水道事業者の指定による。量水器以降は、(1)及び(2)による。 ・ 要（ ・ 本工事 ・ 別途工事） ・ 不要					
	2.引き込み納付金						
	3.量 水 器	観メーター（ ・ 現地表示式（直読式） ・ 遠隔表示式（ ・ 電文式 ・ バルス式 ） （ ・ 貸与品 ・ ） 観メーター（ ・ 現地表示式（直読式） ・ 遠隔表示式（ ・ 電文式 ・ バルス式 ） （ ・ 貸与品 ・ ）					
	4.量水器樹	・ 水道事業者指定品（ ・ 貸与品 ・ 買取り） ・ 標準図ＭＣ形					
	5.水 栓 柱	・ 合成樹脂製 ・ ステンレス製 ・ 人造石とぎ出し製 ・ アルミニウム合金製					
	⑥管の地中埋設深さ	埋設深さは原則として、車両通行部分では管の上端より（ ・ 600mm ・ mm）以上 その他の部分では管の上端より（ ③300mm ・ mm）以上					
	7.凍結深度	屋外配管の凍結深度は mm					
●排水設備	①配管材料	(1)屋内 汚水管 (及び屋外第一樹まで) ・ 排水用塩ビライニング鋼管 ・ ・ コーティング鋼管 ・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管（ＲＦ－ＶＰ） ・ 硬質ポリ塩化ビニル管（ＶＰ） ・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管（ＲＦ－ＶＰ） ・ 硬質ポリ塩化ビニル管（ＶＰ） ・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ コーティング鋼管 雑排水管・通気管 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管（ ・ ＶＰ ・ ＶＵ ） ・ 排水用リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管（ＲＥＰ－ＶＵ） ・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管（ＲＳ－ＶＵ） ポンプアップ排水管 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管（ ・ ＶＰ ・ ＶＵ ） ・ 排水用リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管（ＲＥＰ－ＶＵ） ・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管（ＲＳ－ＶＵ） リサイクルビニル管の適用範囲（ＲＦ－ＶＰ）：屋内の無圧の排水配管用 （ＲＥＰ－ＶＵ）：無圧排水用途の硬質塩化ビニル管 （ＲＳ－ＶＵ）：埋設部で無圧の一般流体輸送配管用 (2)屋外 樹間 <					

【特記事項】	西 沢 建 築 設 計 事 務 所 一 級 建 築 士 No. 117422 西 沢 雅 彦		令和 4 年度 安 乗 保 育 所 改 修 工 事	機械設備		M—02
				特記仕様書（2）	A3：N/S	

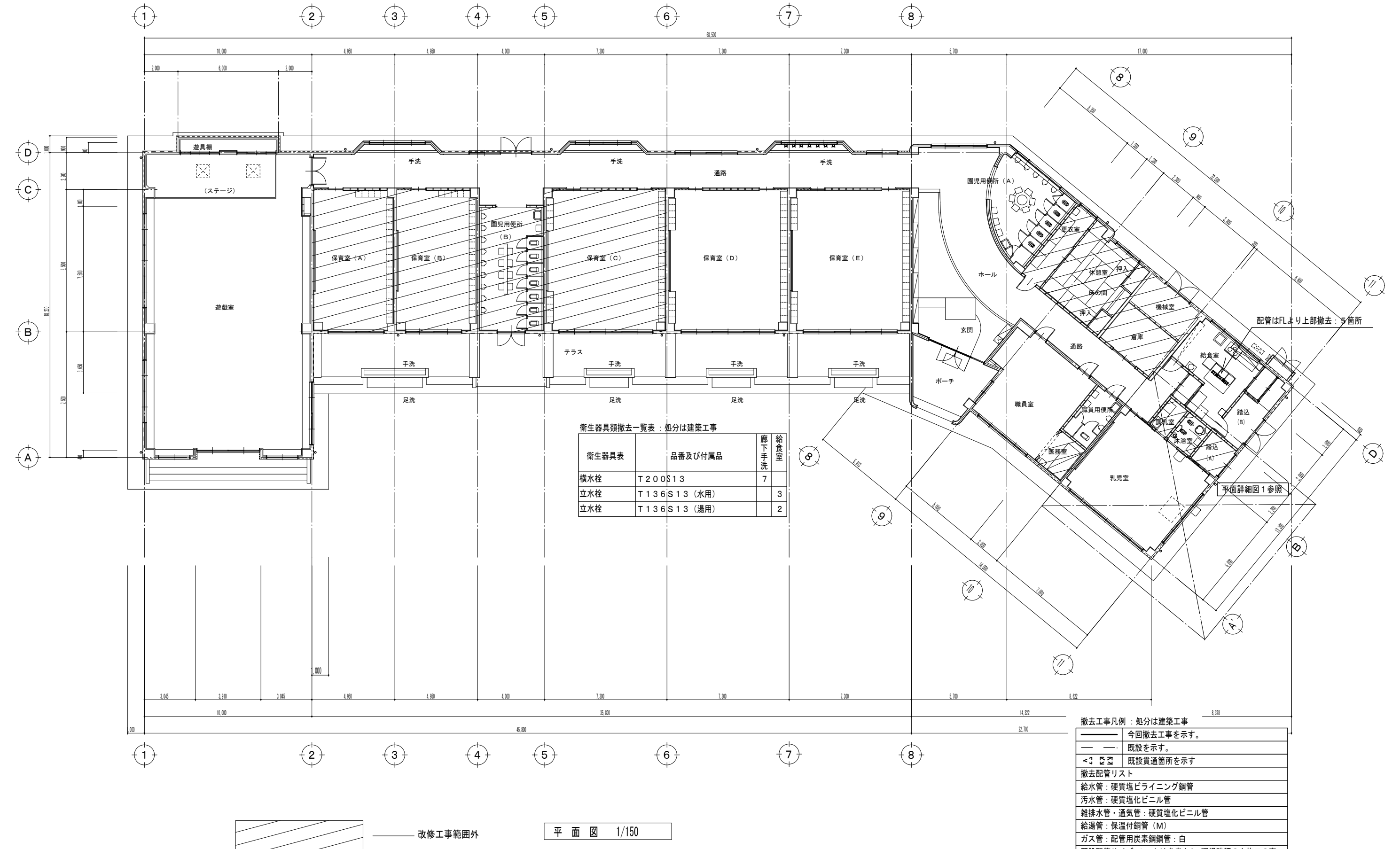
凡 例			
記 号	名 称	記 号	名 称
—— —	給水管	ㄥ	給水栓
————	汚水・排水管	ㄥ	混合水栓
-----	通気管	ㄥ ㄥ	弁類 J I S 1 0 k g / c m ²
—— I ——	給湯管	ㄥ	床上掃除口
—— G ——	ガス管	ㄥ	排水金物
—— R ——	冷媒管	ㄥ	空調室内機
—— D ——	ドレン管	ㄥ	空調室外機
————	今回施工を示す	●	空調リモコンスイッチ
- - - - -	既設を示す		

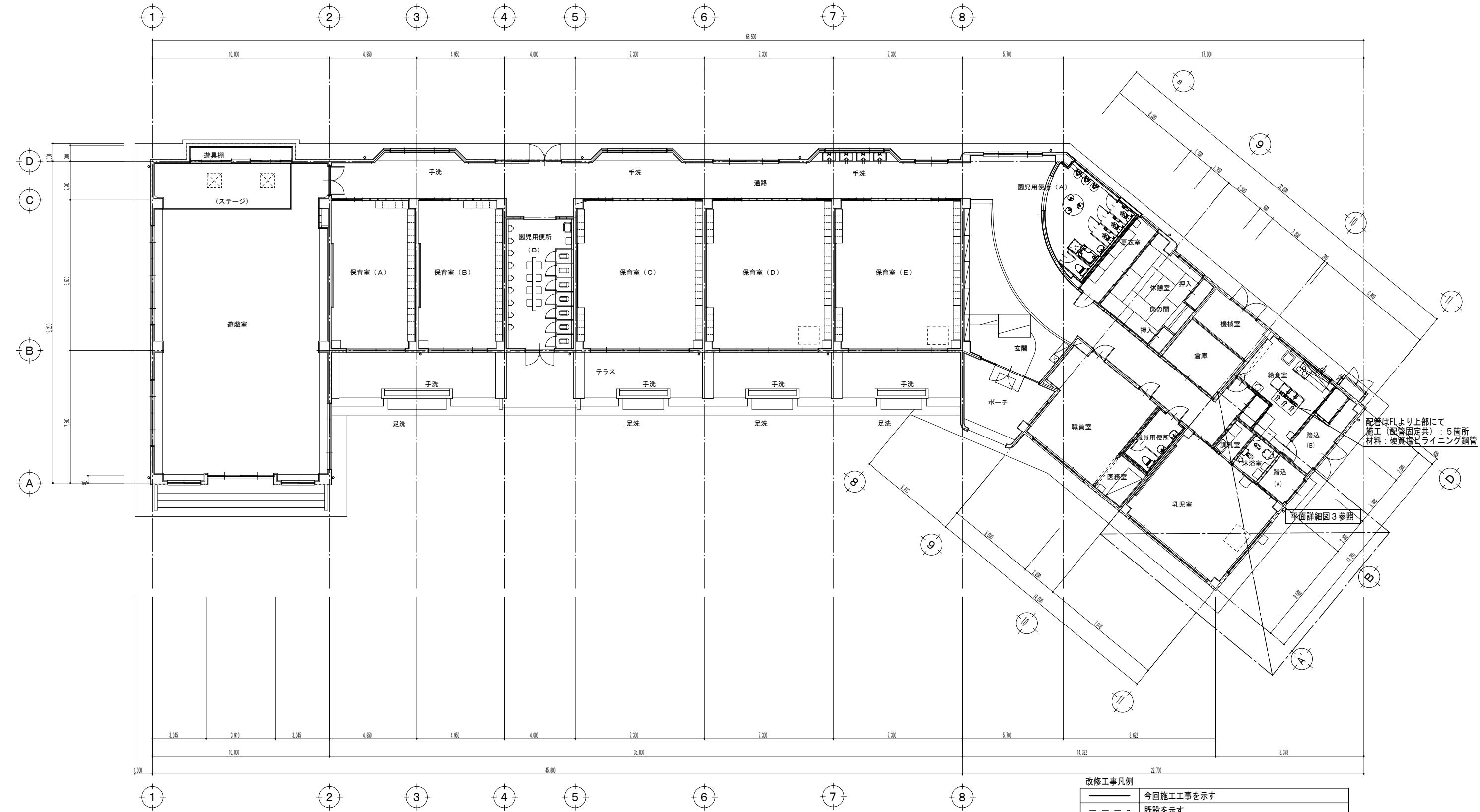
衛 生 器 具 表					
名 称	T O T O品番	L I X I L品番	合 計	給 食 室	廊 下 手 洗 い
立水栓（水用）	T 1 3 6 S U N R 1 3 C	LF-14F-13	3	3	
立水栓（湯用）	T 1 3 6 S U N R 1 3 C, T H Y 4 2 3 H R	LF-14F-13+41-36（H）（1P）	2	2	
横水栓	T 2 0 0 B S Q 1 3 C	LF-7KRZ-13	4		4

空 調 機 器 表											形式 ヒートポンプ式
記 号	機器名称	形 式 ・ 仕 様		電 気 容 量					台数	設 置 場 所	
				相 (φ)	電圧 (V)	圧縮機 (kW)	送風機 内 (kW) 外 (kW)				
ACP- 1	ヒートポンプ式 エアコン	形 式	天井吊下げ形	3	200	1. 65	0. 094	0. 071	3	保育室D、E、乳児室	
		冷房能力	7. 1 (1. 7～8. 0) kW							参考品番：	
		暖房能力	8. 0 (1. 3～10. 0) kW							RCSA08043MUZG	
		冷房消費電力	2. 05 kW								
		暖房消費電力	2. 15 kW							室外機重量：48 Kg	
		低温暖房消費電力	2. 74 kW							室内機重量：30 Kg	
		付 属 品	化粧パネル、標準フィルター、リモコンスイッチ								
			他付属品一式								
		基 礎	室外機：重塩害仕様、防護ネットセット、転倒防止金具 防振ゴム・市販コンクリート架台								
注 記											
			運転特性、能力はJIS条件による。 電源容量値は参考とする。			機器は同等品以上とする。					
			空調機トップランナー基準改定仕様とする。			機器の製作仕様は国土交通省仕様とする。					
			冷媒ガスはオゾン破壊係数ゼロとする。			但し該当しない機器については製造業者標準仕様による。					
			室外機－室内機間の2次側配線は冷媒管と抱き合わせの上本工事とする。								
			リモコン配線共本工事とする。								

換 気 機 器 表									
記 号	機器名称	形 式 ・ 仕 様		電 気 容 量			台数	備 考	
				相 (φ)	電圧 (V)	消費電力 (W)			
FE- 1	有圧換気扇	形 式	低騒音形	1	100	65. 0	1	設置場所：給食室	
		風 量	1500m3/h					参考品番：EWF- 30BSA2	
		羽 根 径	30 cm						
		静 圧	40 Pa						
		付 属 品	SUS製ウェザカバー（防鳥網付）、不燃枠、 その他付属品						
電源容量は参考数値とする。 機器は同等品以上とする。									

【特記事項】	西 沢 建 築 設 計 事 務 所 一 級 建 築 士 No. 117422 西 沢 雅 彦		令和４年度 安乗保育所改修工事	機械設備	A3：N/S	M—03
				凡例・器具機器表		



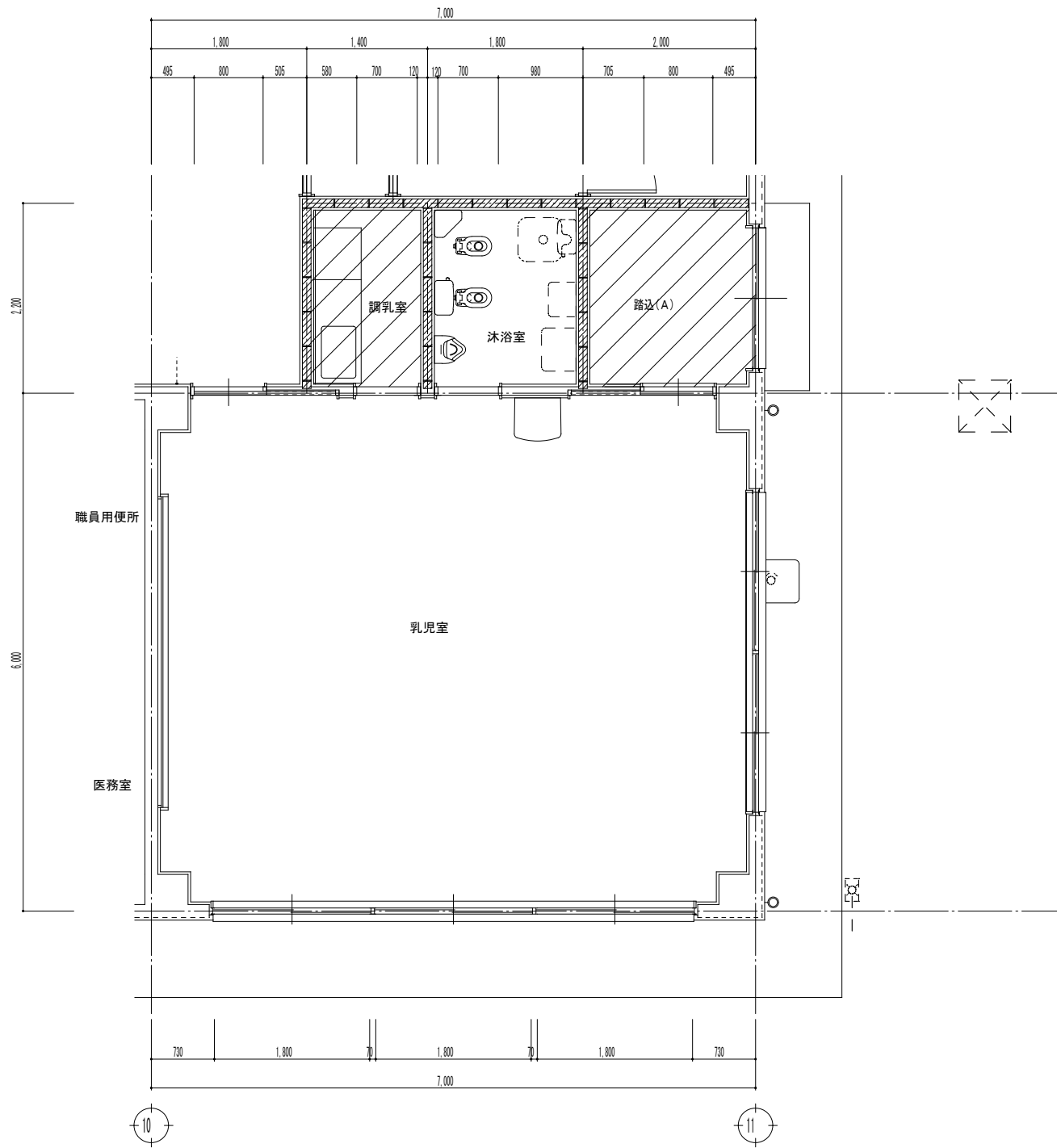


平面図 1/150

改修工事凡例	
	今回施工工事を示す
	既設を示す
	既設配管接続箇所を示す
	コア抜き貫通箇所を示す
	既設貫通箇所を示す
躯体貫通箇所は既設スリーブを優先に使用すること。	
梁貫通箇所は鉄筋探査を必要とする。	
※今回改修工事にあたって、施工上当然と思われる工事は本工事に含む。	
土間復旧及仕上げ補修は建築工事とする。建築図参照	

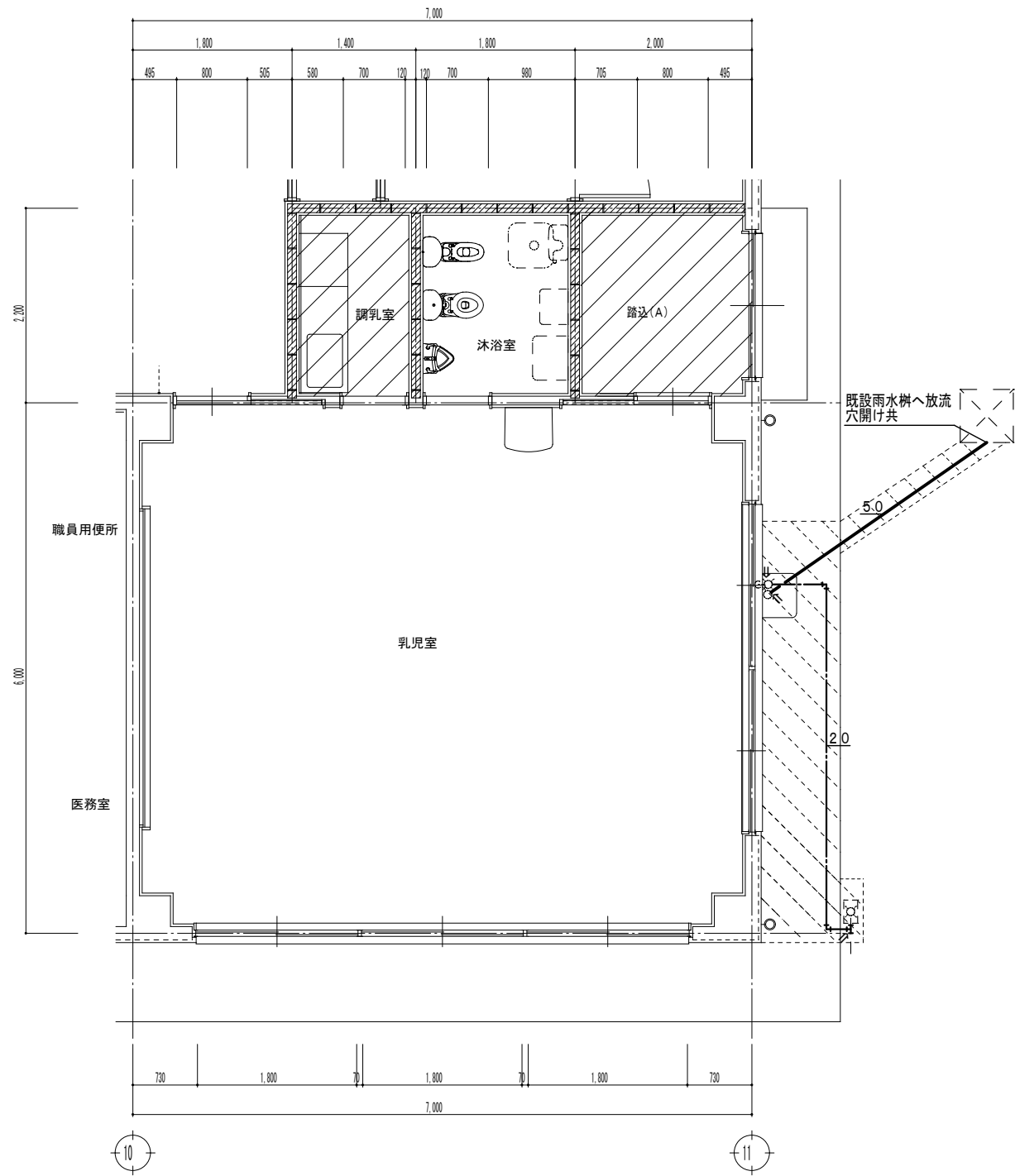
【改修図】

【特記事項】	西 沢 建 築 設 計 事 務 所 一 級 建 築 士 No. 117422 西 沢 雅 彦	令和 4 年 度 安 乗 保 育 所 改 修 工 事	機械設備	A2 : 1/150 A3 : 1/211	M—05
			給排水衛生 平面図 改修後		



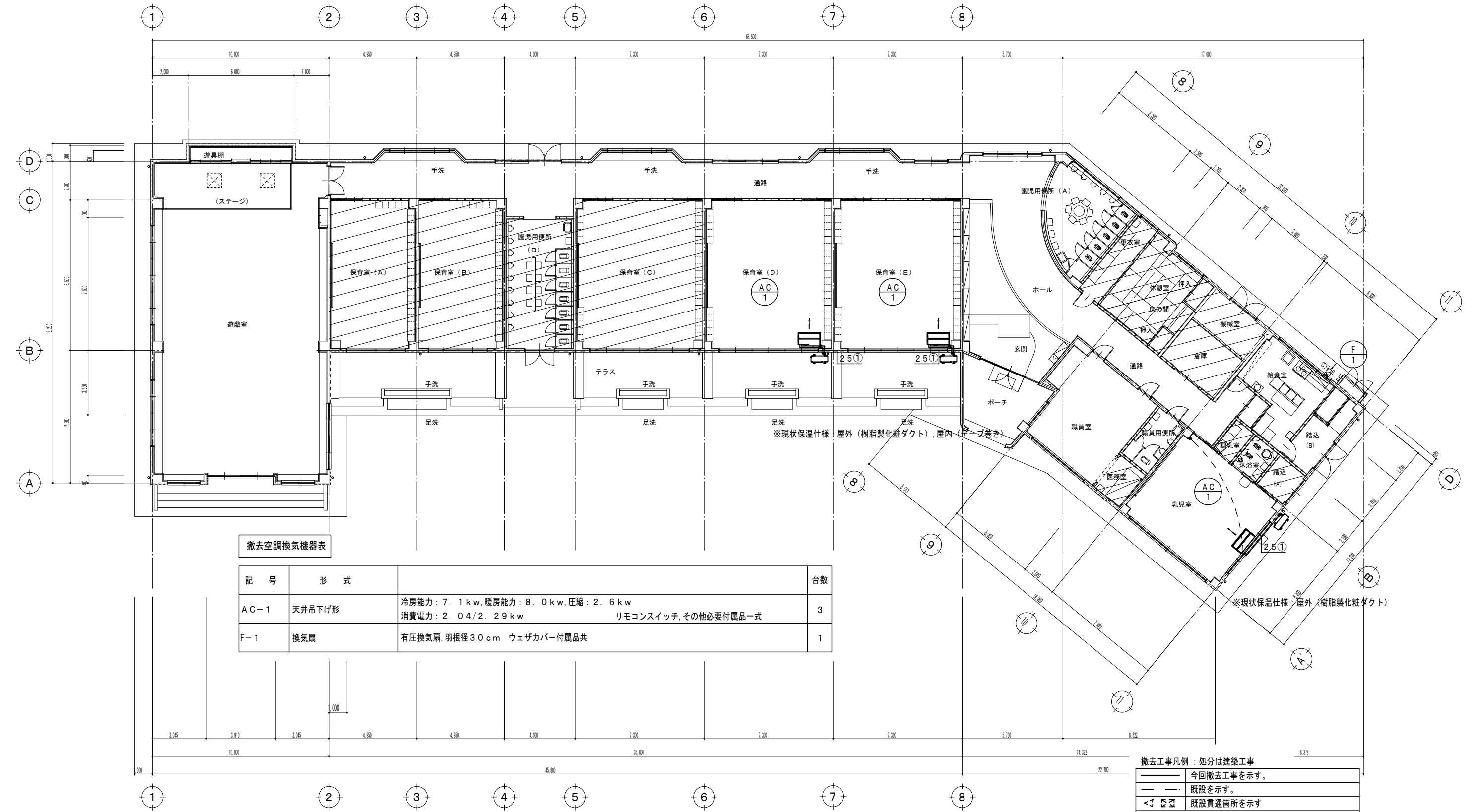
現況平面詳細図 1/50

撤去工事凡例：処分は建築工事	
	今回撤去工事を示す。
	既設を示す。
	既設貫通箇所を示す
撤去配管リスト	
給水管：硬質塩ビライニング鋼管	
汚水管：硬質塩化ビニル管	
雑排水管・通気管：硬質塩化ビニル管	
給湯管：保温付鋼管（M）	
ガス管：配管用炭素鋼鋼管：白	
既設配管サイズ、ルートは参考とし、現場確認の上施工の事。	
既存梁・床・壁貫通配管の撤去は手はつり補修とする。	
土間はつり及び仕上げの撤去は建築工事とする。建築図参照	



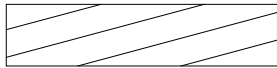
改修平面詳細図 1/50

改修工事凡例	
	今回施工工事を示す
	既設を示す
	既設配管接続箇所を示す
	コア抜き貫通箇所を示す
	既設貫通箇所を示す
躯体貫通箇所は既設スリーブを優先に使用すること。	
梁貫通箇所は鉄筋探査を必要とする。	
※今回改修工事にあたって、施工上当然と思われる工事は本工事に含む。	
土間復旧及仕上げ補修は建築工事とする。建築図参照	



撤去空調換気機器表

記 号	形 式		台数
AC-1	天井吊下げ形	冷房能力：7.1kw, 暖房能力：8.0kw, 圧縮：2.6kw 消費電力：2.04/2.29kw リモコンスイッチ, その他必要付属品一式	3
F-1	換気扇	有圧換気扇, 羽根径30cm ウェザカパー付属品共	1



改修工事範囲外

平面図 1/150

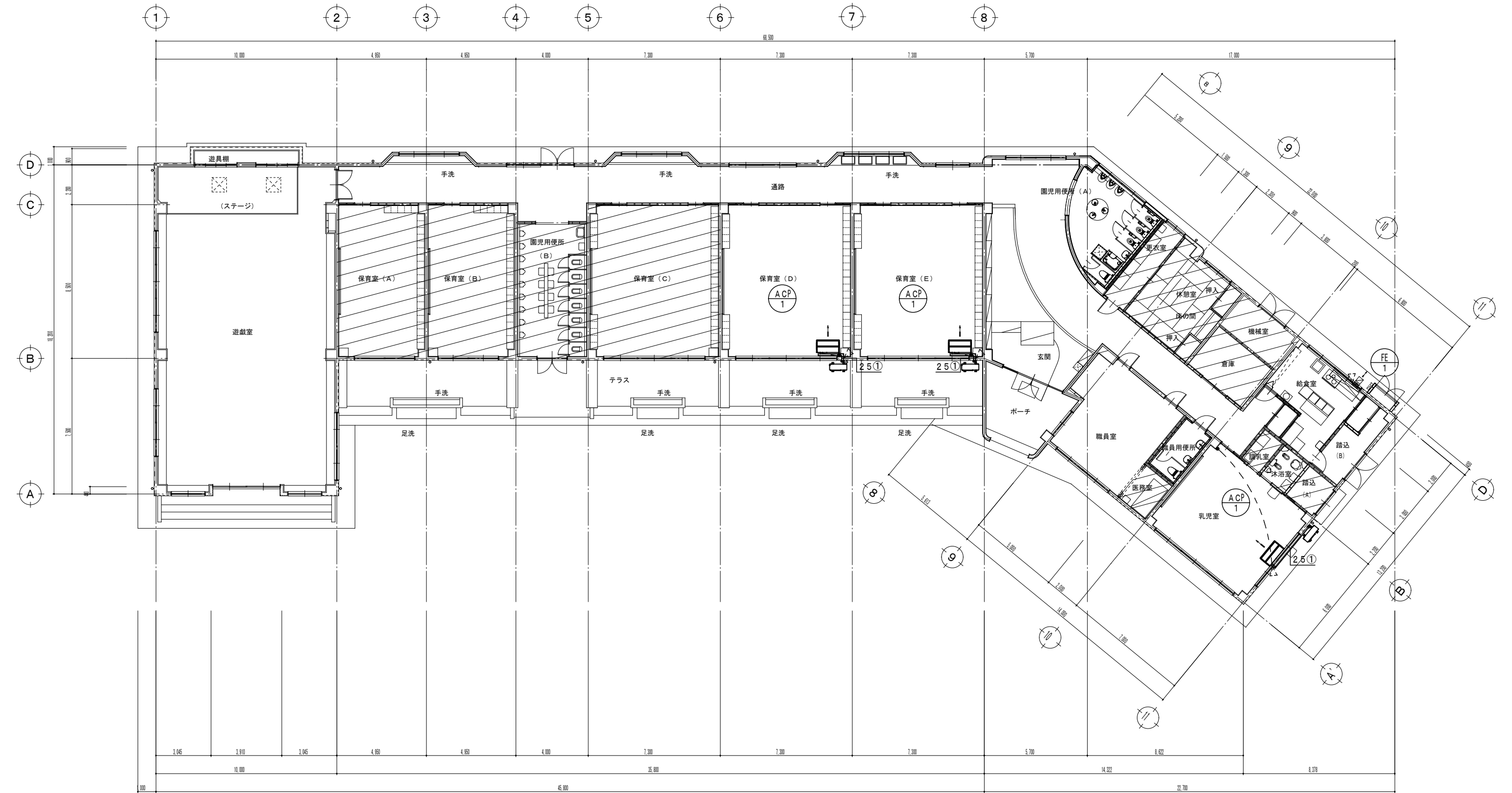
参考配管サイズ

記 号	ガ ス 管	液 管	連絡配線
①	15.9φ	9.5φ	CVV-2'-3C
* 連絡配線は冷媒共巻きとする			
●	空調リモコンスイッチ		
—	CVV1.25'-2C		

撤去工事凡例：処分は建築工事

——	今回撤去工事を示す。
— —	既設を示す。
◁ □ ▷	既設貫通箇所を示す
撤去配管リスト	
給水管：硬質塩ビライニング鋼管	
污水管：硬質塩化ビニル管	
雑排水管・通気管：硬質塩化ビニル管	
給湯管：保温付銅管（M）	
ガス管：配管用炭素鋼管：白	
既設配管サイズ、ルートは参考とし、現場確認の上施工の事。	
既存梁・床・壁貫通配管の撤去は手はつり補修とする。	
土間はずり及び仕上げの撤去は建築工事とする。建築図参照	

【改修前】



改修工事範囲外

平面図 1/150

参考配管サイズ

記号	ガス管	液管	連絡配線
①	15.9φ	9.5φ	EM-CEE-2'-3C
*連絡配線は冷媒共巻きとする			
●	空調リモコンスイッチ		
—	EM-CEES1.25'-2C 露出:メタルモールA型		

改修工事凡例

——	今回施工工事を示す
- - - -	既設を示す
⇒	既設配管接続箇所を示す
◀ ◻	コア抜き貫通箇所を示す
<1 ◻ ◻	既設貫通箇所を示す

躯体貫通箇所は既設スリーブを優先に使用すること。
梁貫通箇所は鉄筋探査を必要とする。
※今回改修工事にあたって、施工上当然と思われる工事は本工事に含む。
土間復旧及仕上げ補修は建築工事とする。建築図参照

【改修図】

【特記事項】	西 沢 建 築 設 計 事 務 所 一 級 建 築 士 No. 117422 西 沢 雅 彦	令和4年度 安乗保育所改修工事	機械設備	A2: 1/150 A3: 1/211	M—08
			空調 平面図 改修後		

[illegible]

【特記事項】	西 沢 建 築 設 計 事 務 所 一 級 建 築 士 No. 117422 西 沢 雅 彦	令和 4 年度 安乗保育所改修工事		K — 01	
			概略工事工程表（参考図）		N/S

